



story  
CARIBU, MARLEY comic  
KAWAGUCHI, KAIJI

# HARD&LOOSE

Volume

ACTION COMICS

ハード&ルーズ

2

かわぐちかいじ  
「作」狩撫麻礼

FUTABASHA



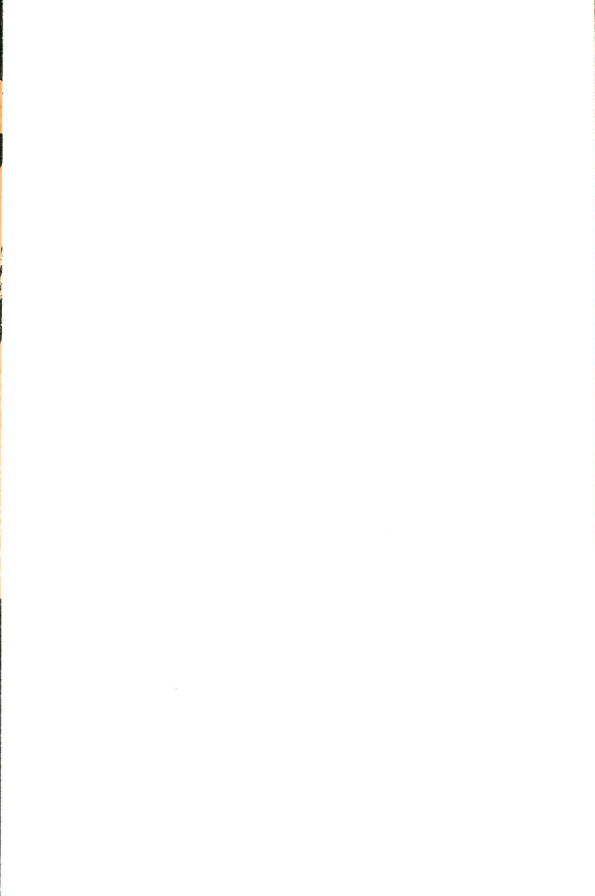
ACTION COMICS  
FUTABASHA

# HARD&LOOSE

story  
CARIBU, MARLEY comic  
KAWAGUCHI, KAIJI

双葉社 ● 定価550円(本体534円) ● 雑誌50140-35

ISBN4-575-81875-5 C0079 P550E







ACTION COMICS  
FUTABASHA

# HARD & LOOSE

*Volume*

*story* CARIBU, MARLEY *comic* KAWAGUCHI, KAIJI





# HARD&

## HARD & LOOSE Vol.2 / CONTENTS

File9	アホとロマンの肉袋	5
File10	増殖	35
File11	蜜の味[TASTE OF HONEY]	65
File12	影を撃つ	93
File13	時を駈ける女たち	121
File14	台風と赤鬼	149
File15	銀幕の亡命者	177
File16	バビロン・システム	205

Design=YOSHIYUKI SEKI+YUKIO HOSHINO(VOLARE inc.)

# LOOSE

FILE 9

# アホとロマンの肉袋













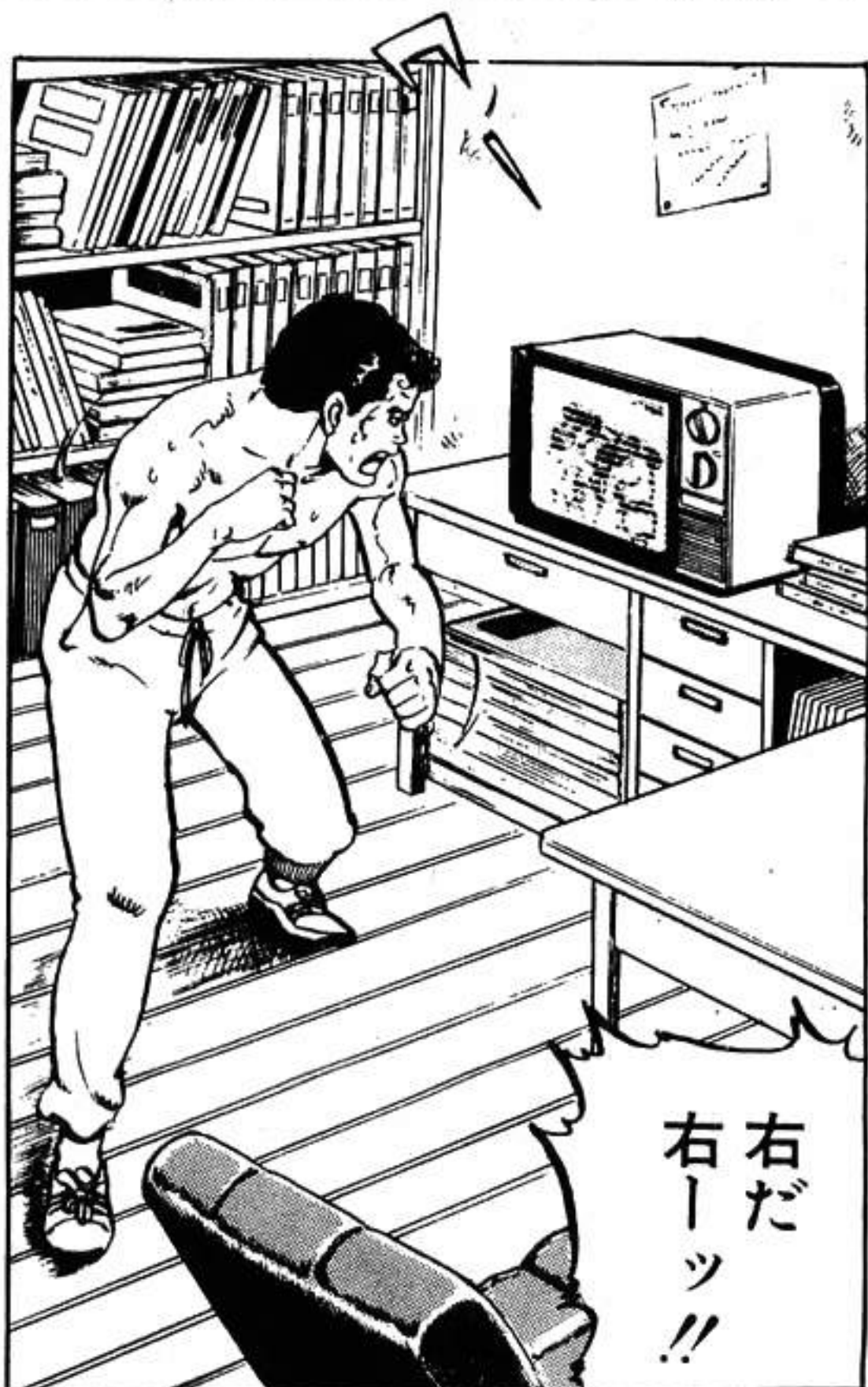




アホとロマンの肉袋











プロレス対ボクシング  
……!!?



ああの野村  
総合探偵社の

野村さん……??



都内で2000とも3000社とも  
いわれている探偵業界の  
最大手のオーナーから  
深夜の奇妙な依頼  
……



あの…試合を観せて  
もらってしかも  
金をくれるってゆーのは  
どーゆーことで……



ハア…明日の夜  
京王プラザホテル  
コンコルドルーム

日当は2万……??









プロレスとボクシング  
本当はどっちが強い!?



しかも観客には  
日当まで……

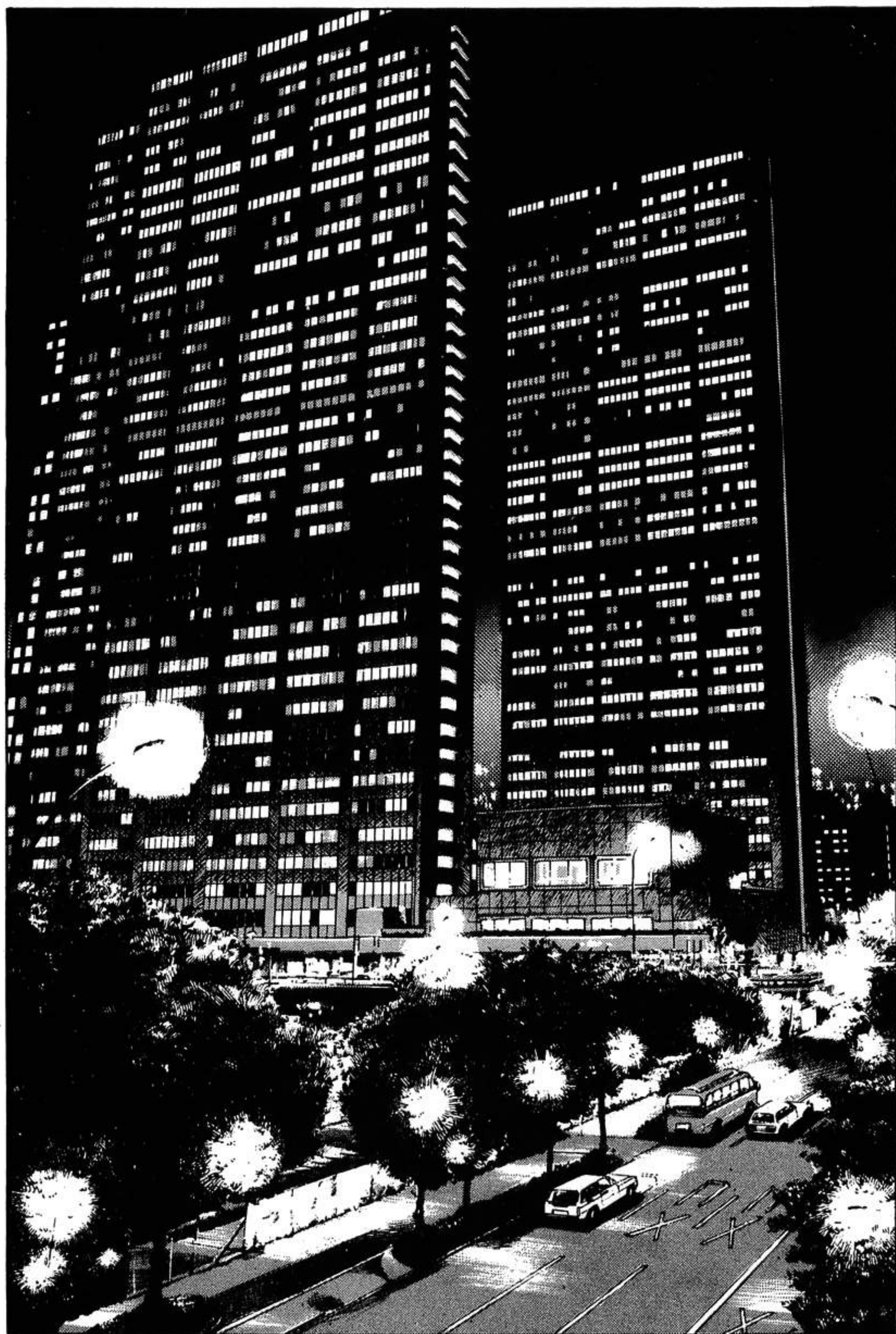
詳細は不明ながら  
都内のホテルの宴会場を  
借り切って明日の夜  
その決着がつけられる  
らしいのだ



早く明日に  
なあれ〜

ま……とにかく

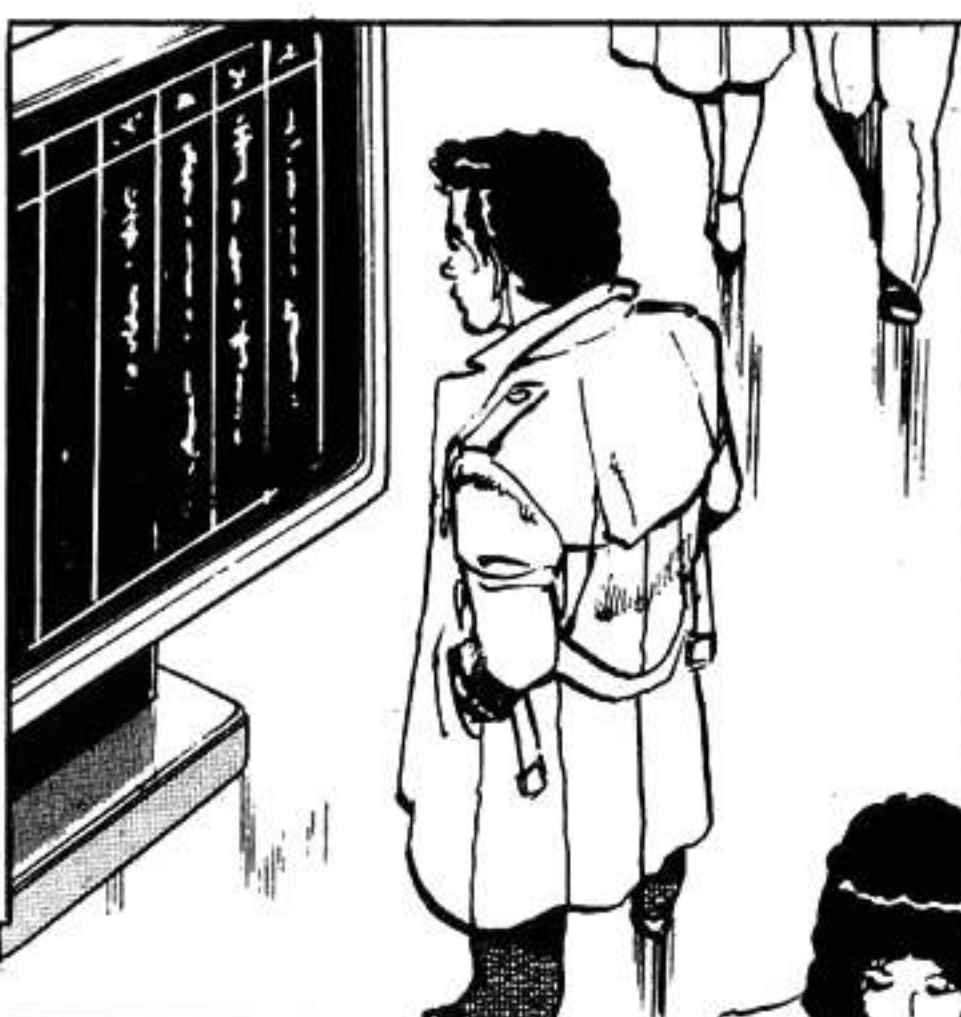








社出版記会パーティ  
宇田義男先生後援会  
青山学院大学テニス部



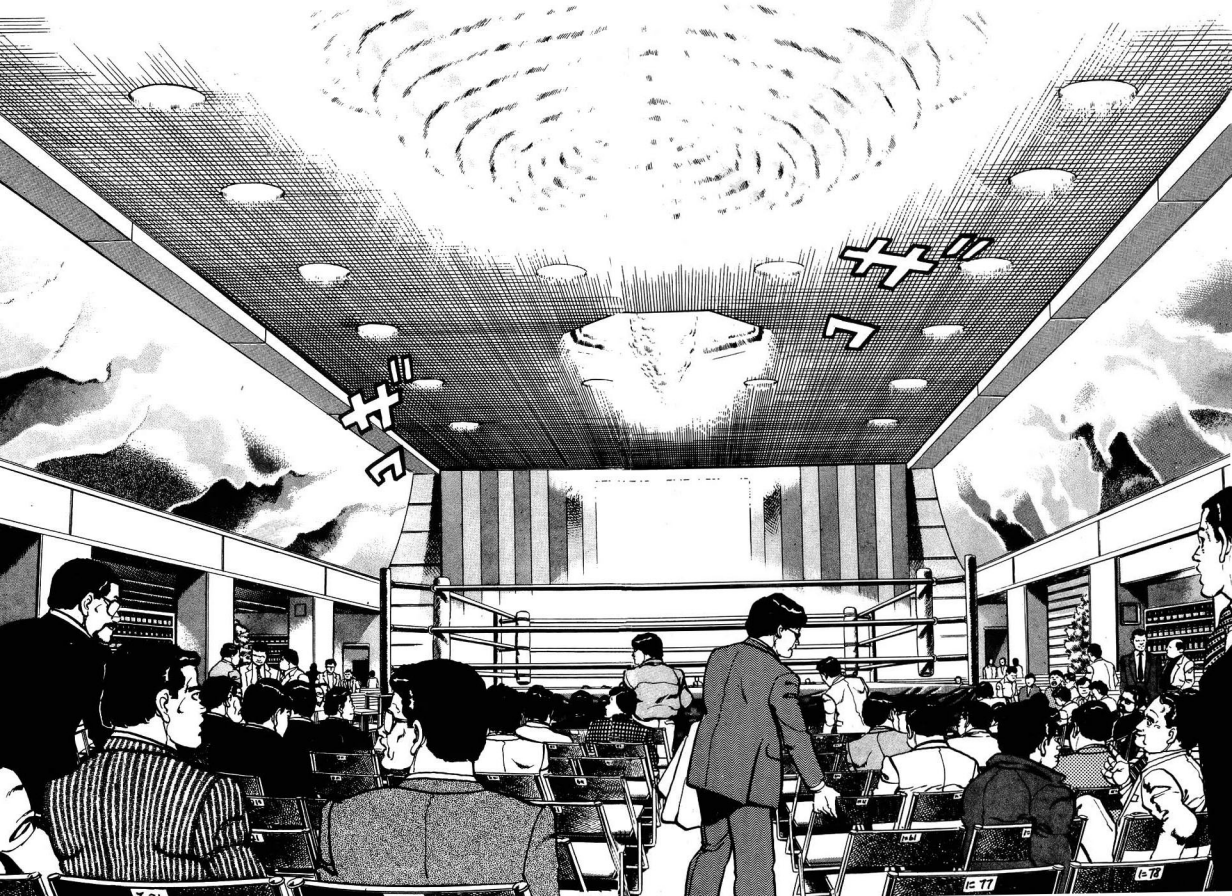




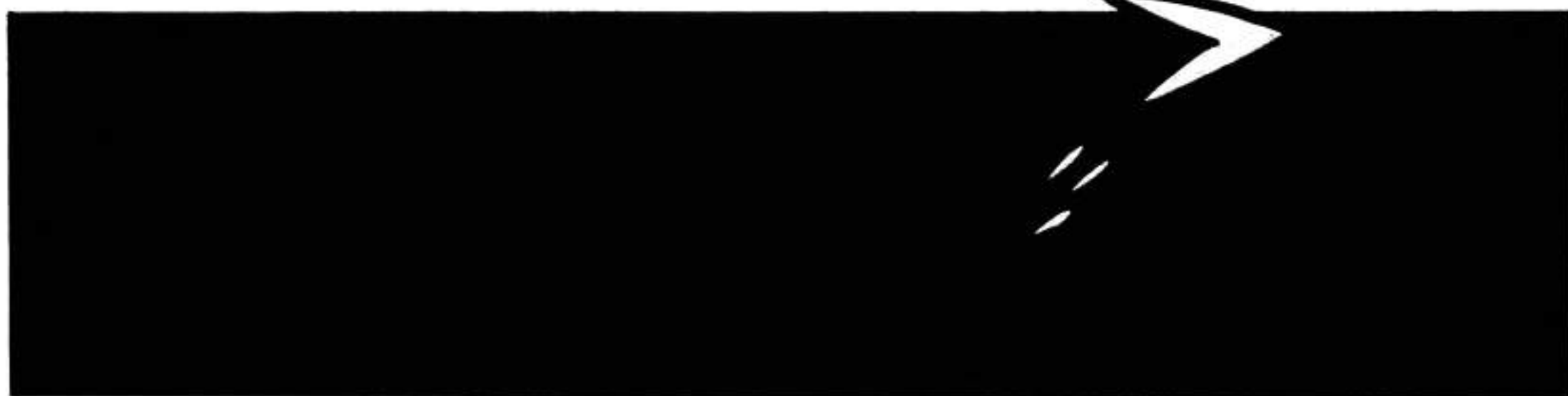






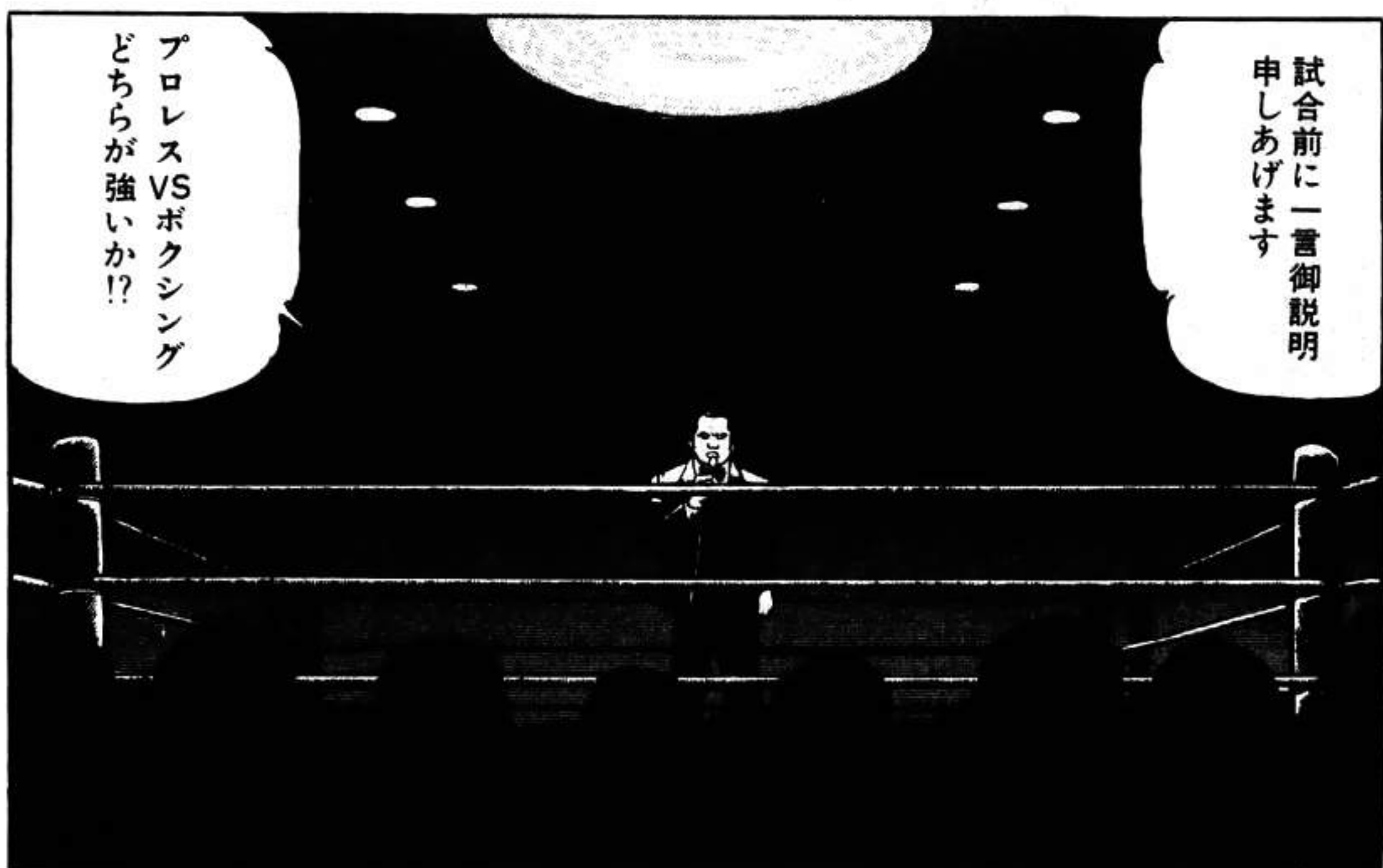






野村総合  
探偵社の  
野村です

本日は御多忙の折  
おこしいただきまして  
まことにありがとうございます



試合前に一言御説明  
申しあげます

プロレスVSボクシング  
どちらが強い!!







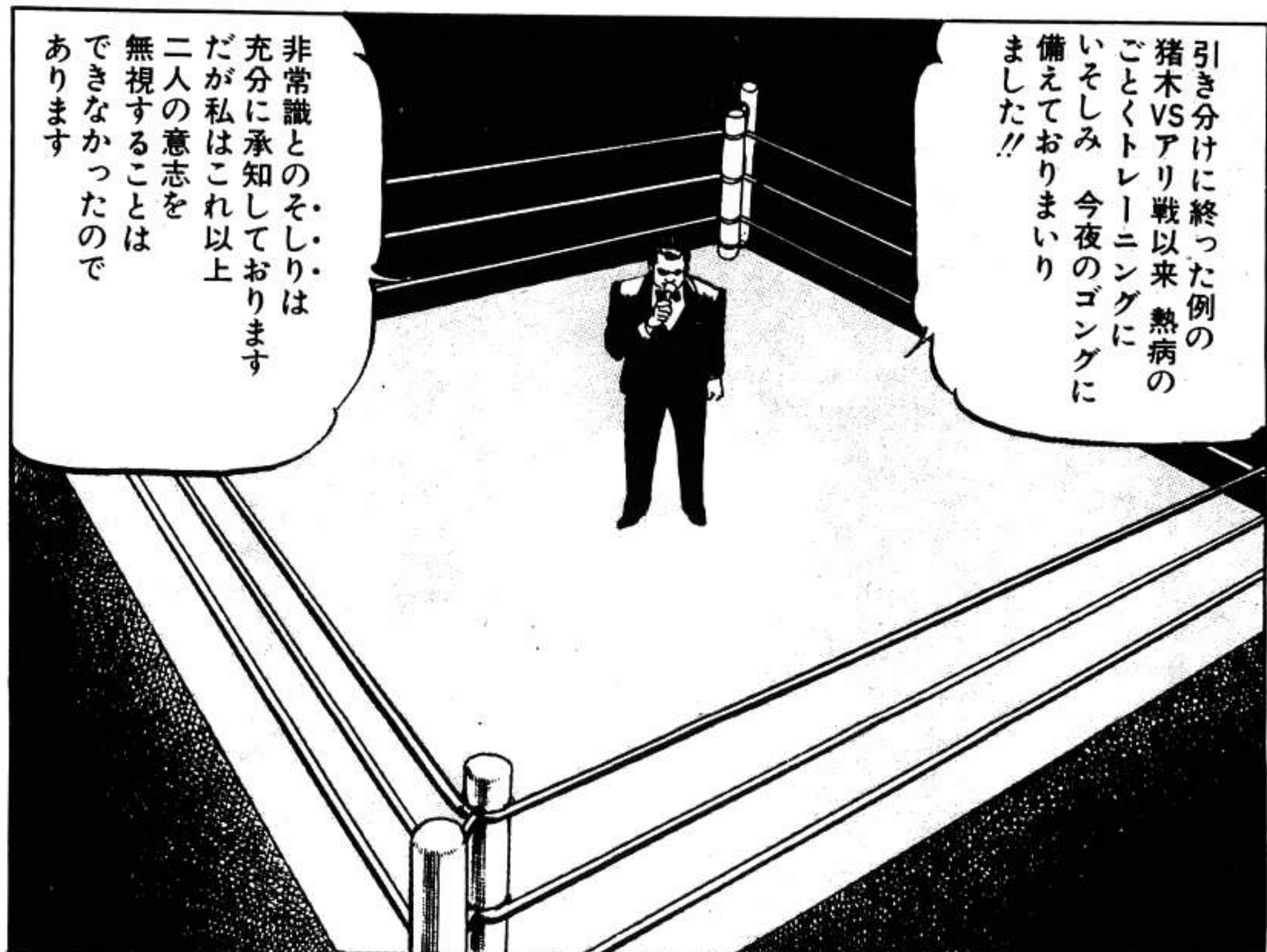
!! 今宵このリングで

互いの「信念の格闘技」  
にて決着をつける次第と  
相なりましたので  
ございます!!

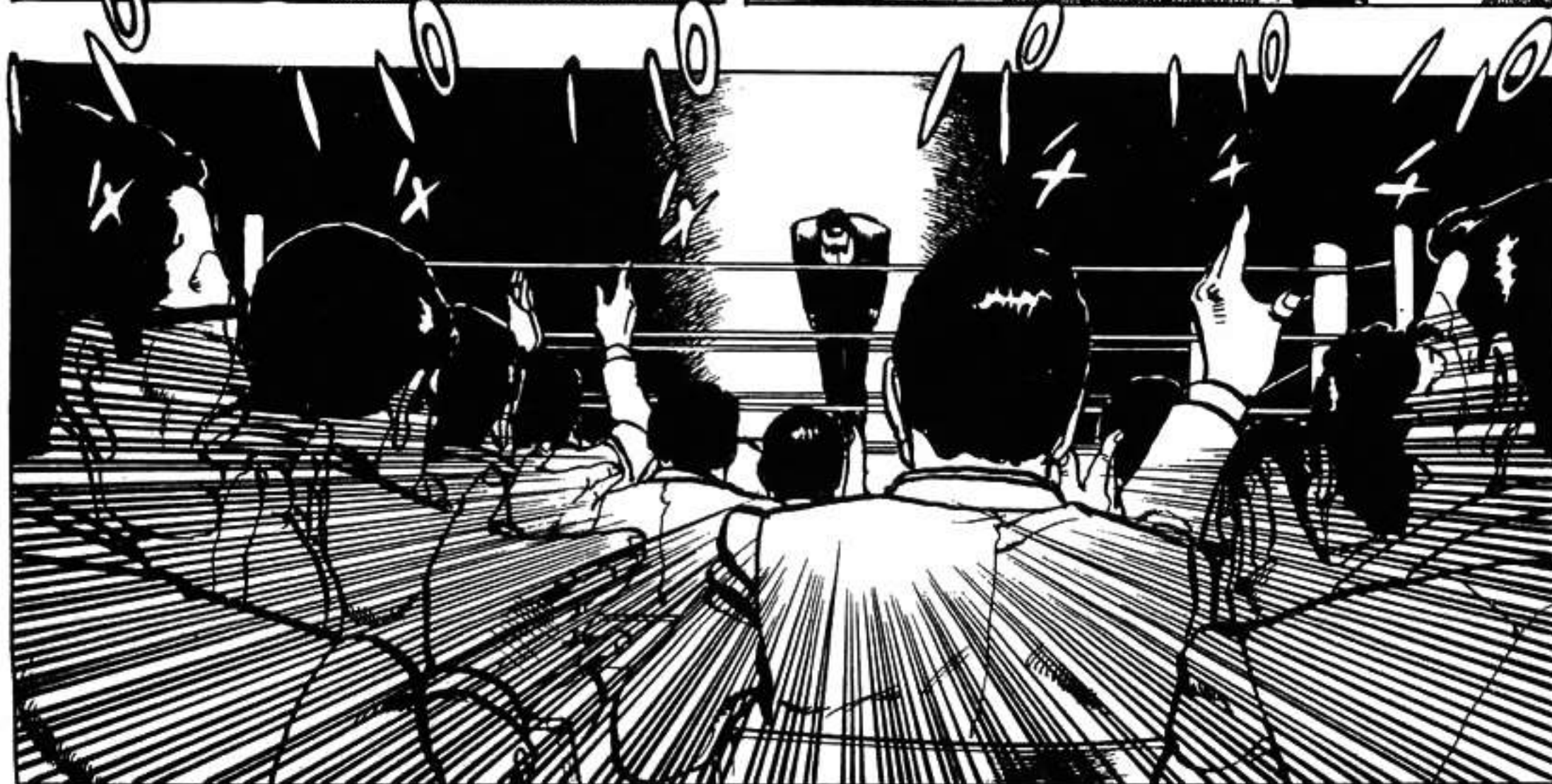


引き分けに終わった例の  
猪木VSアリ戦以来熱病の  
ごとくトレーニングに  
いそしみ 今夜のゴングに  
備えておりまいり  
ました!!

非常識とのそしりは  
充分に承知しております  
だが私はこれ以上  
二人の意志を  
無視することは  
できなかったのだ  
あります



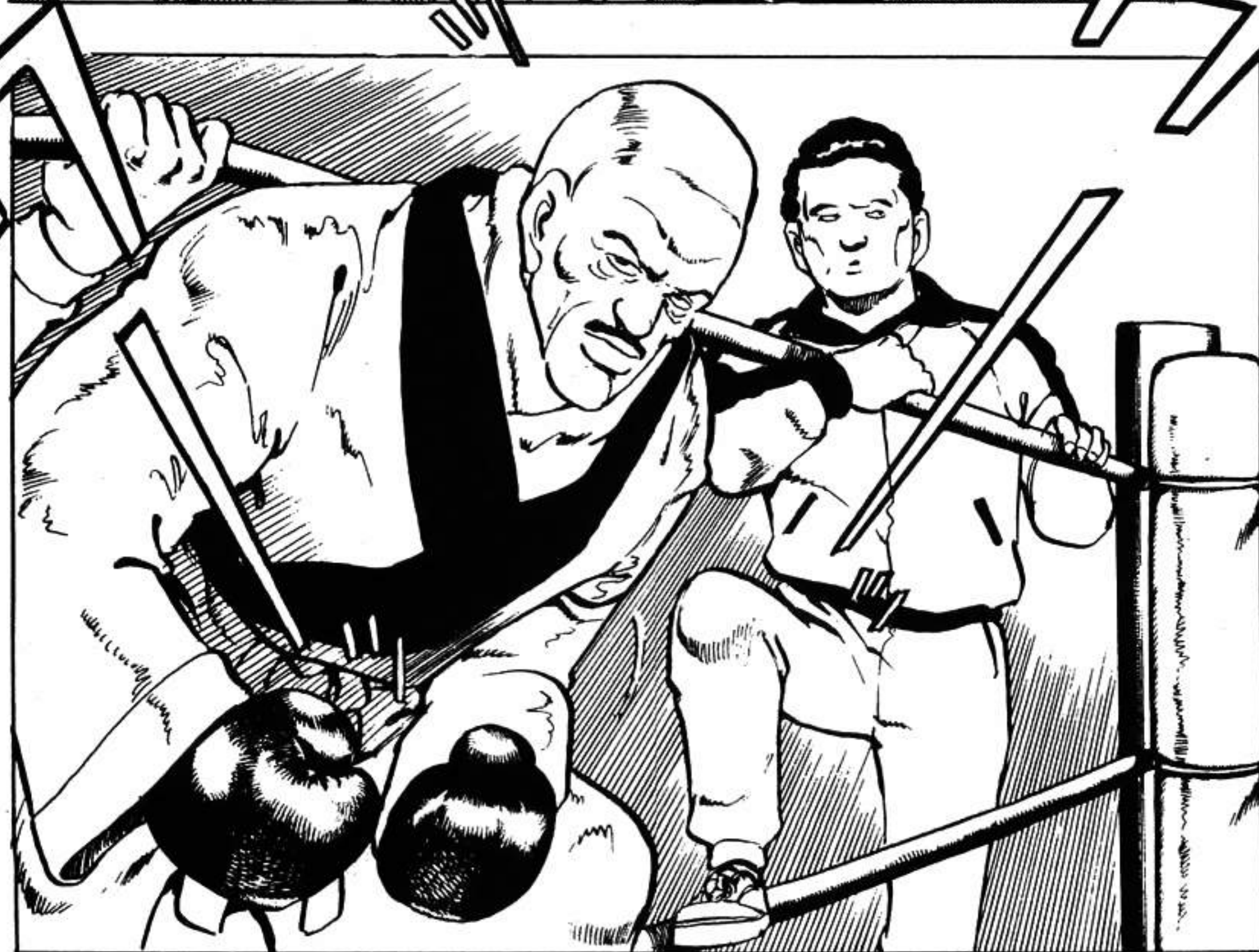
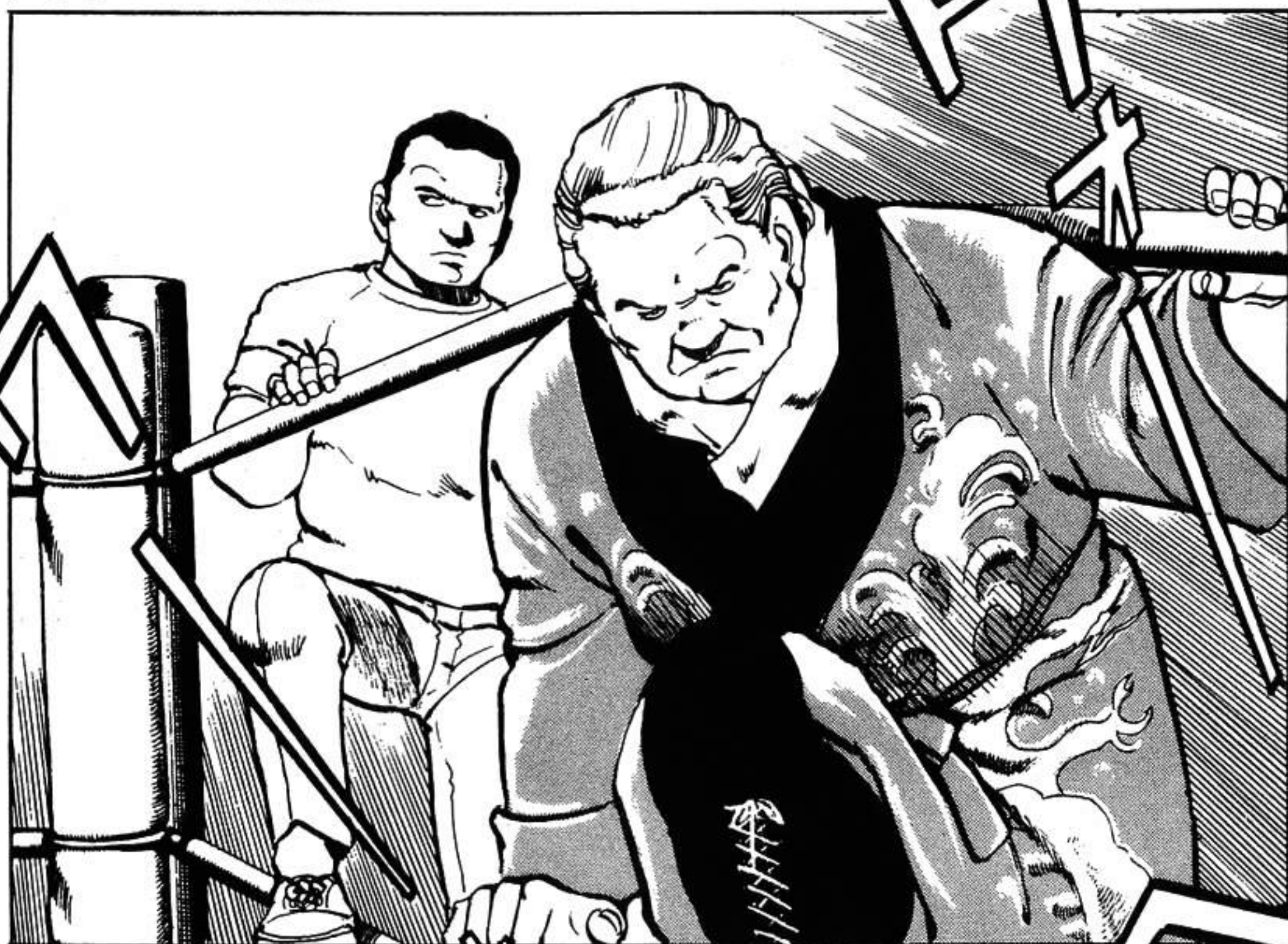










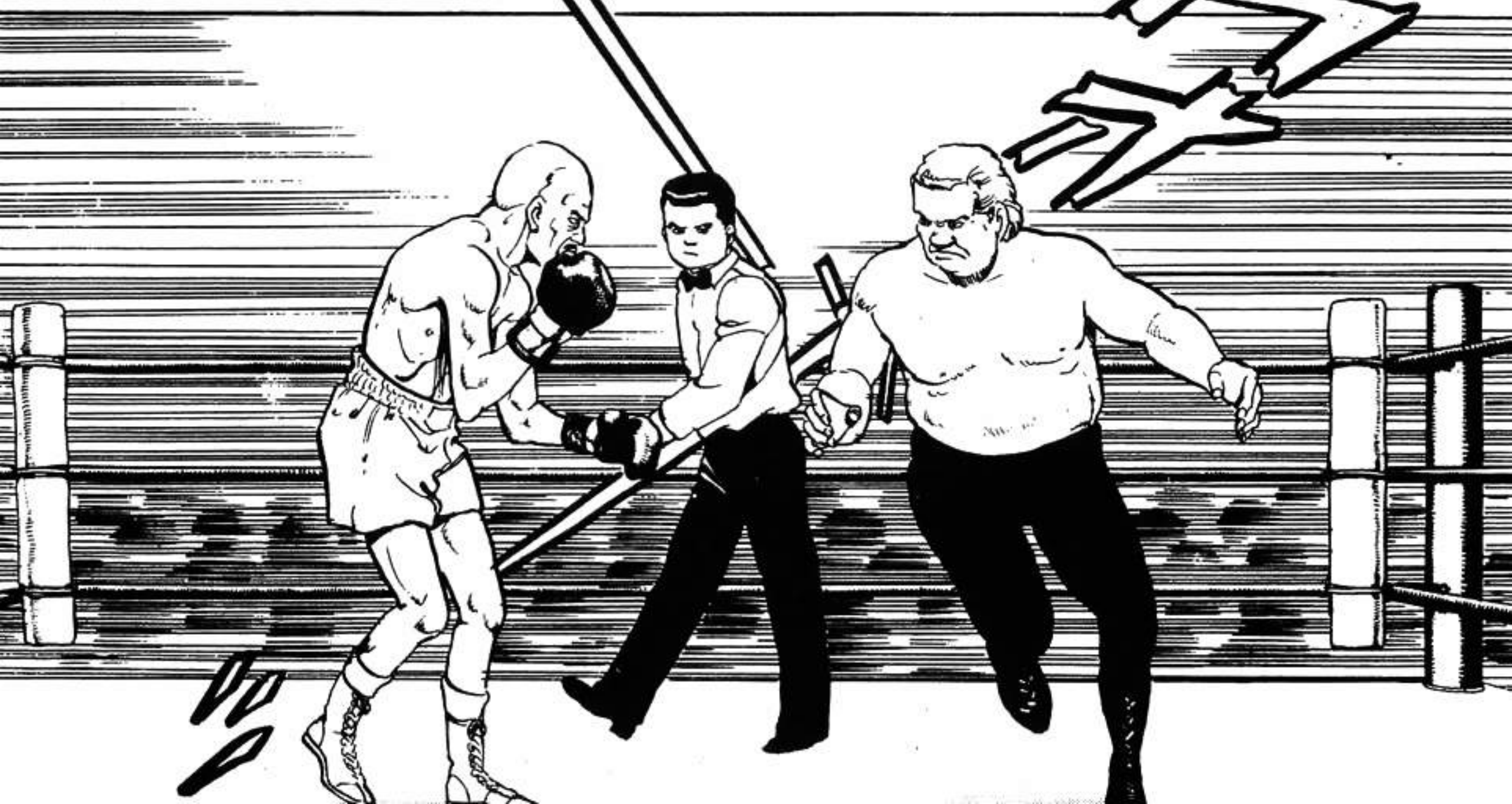




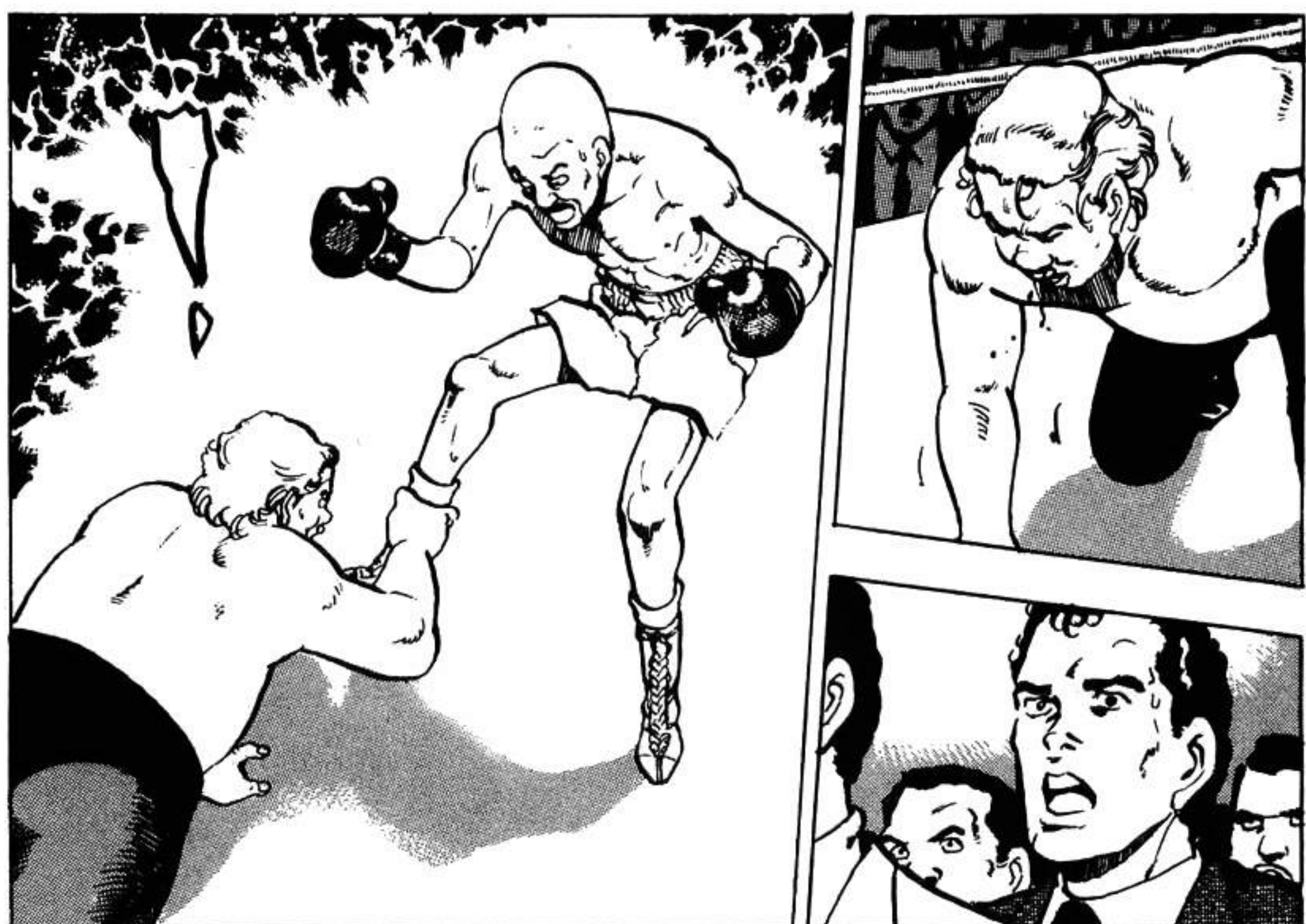




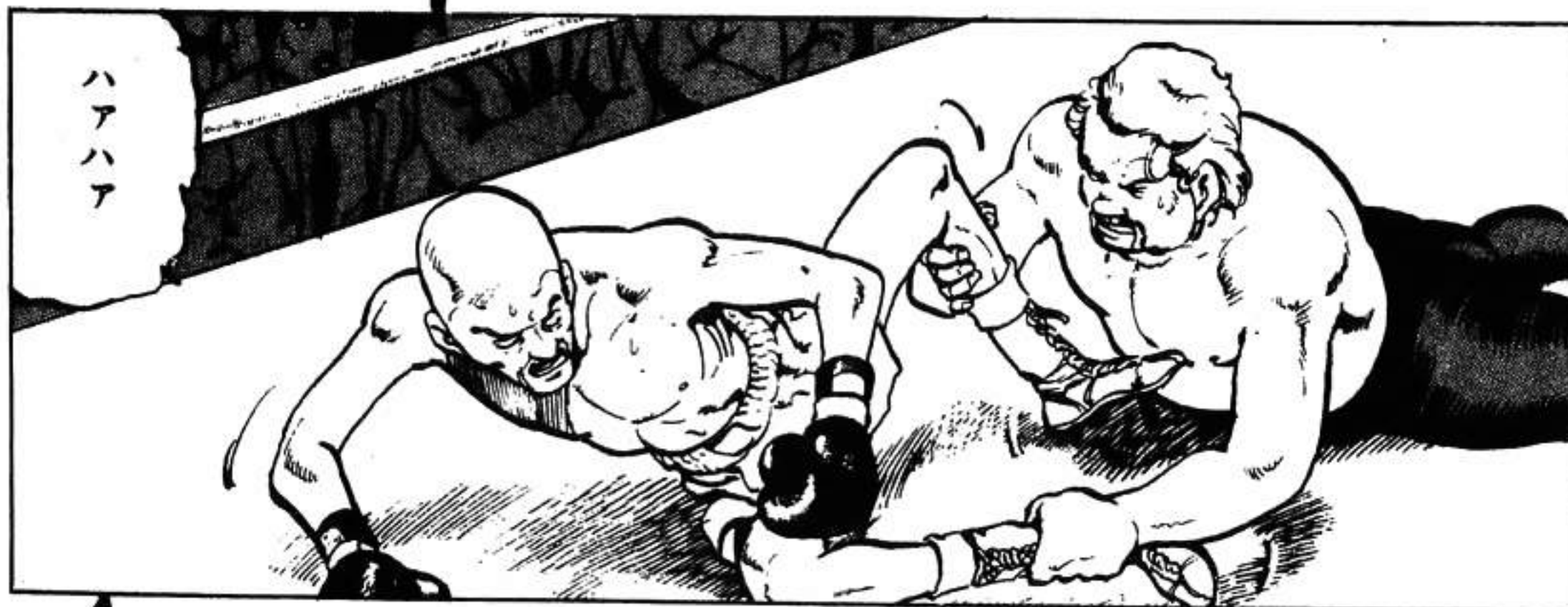
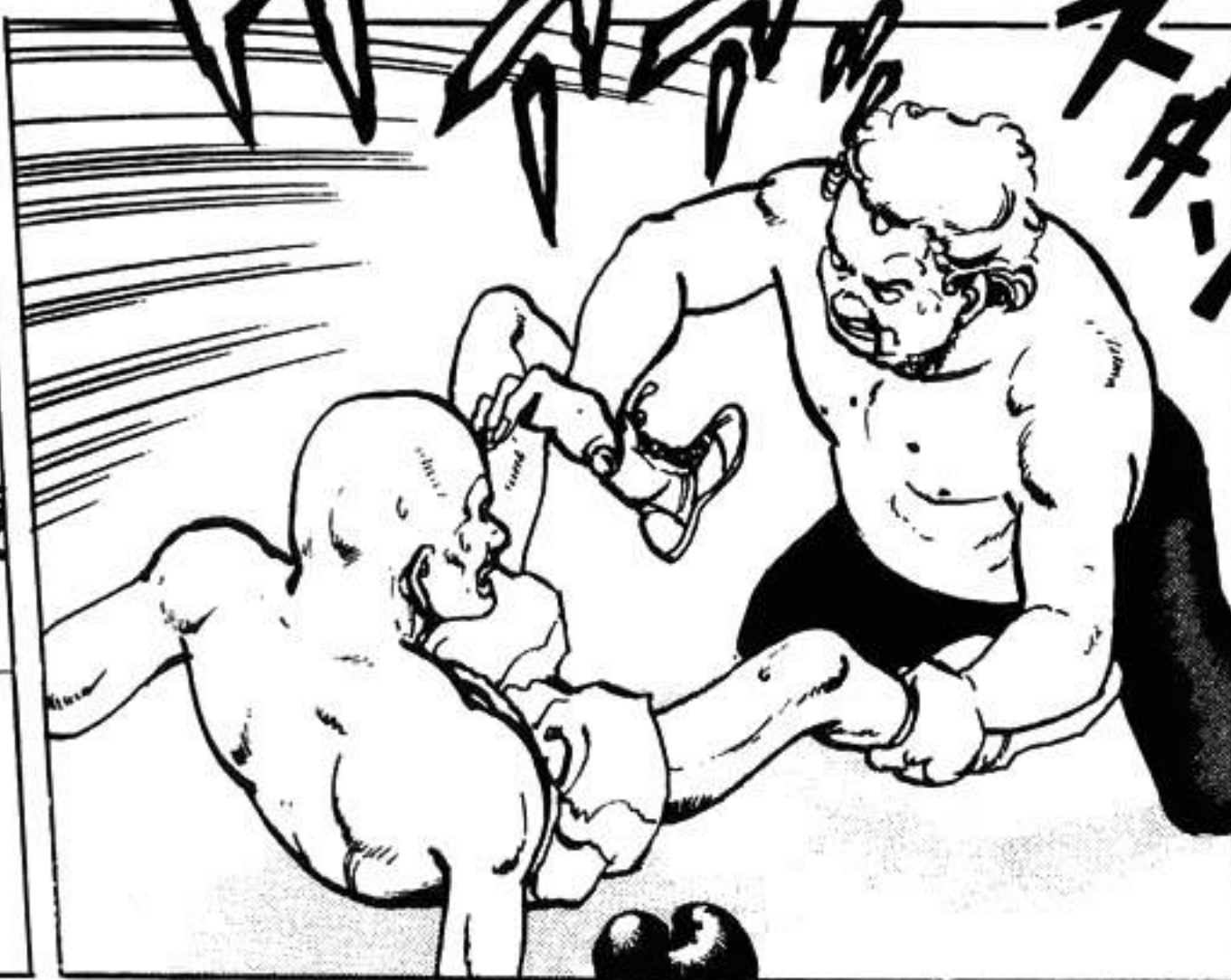
アホとロマンの肉袋



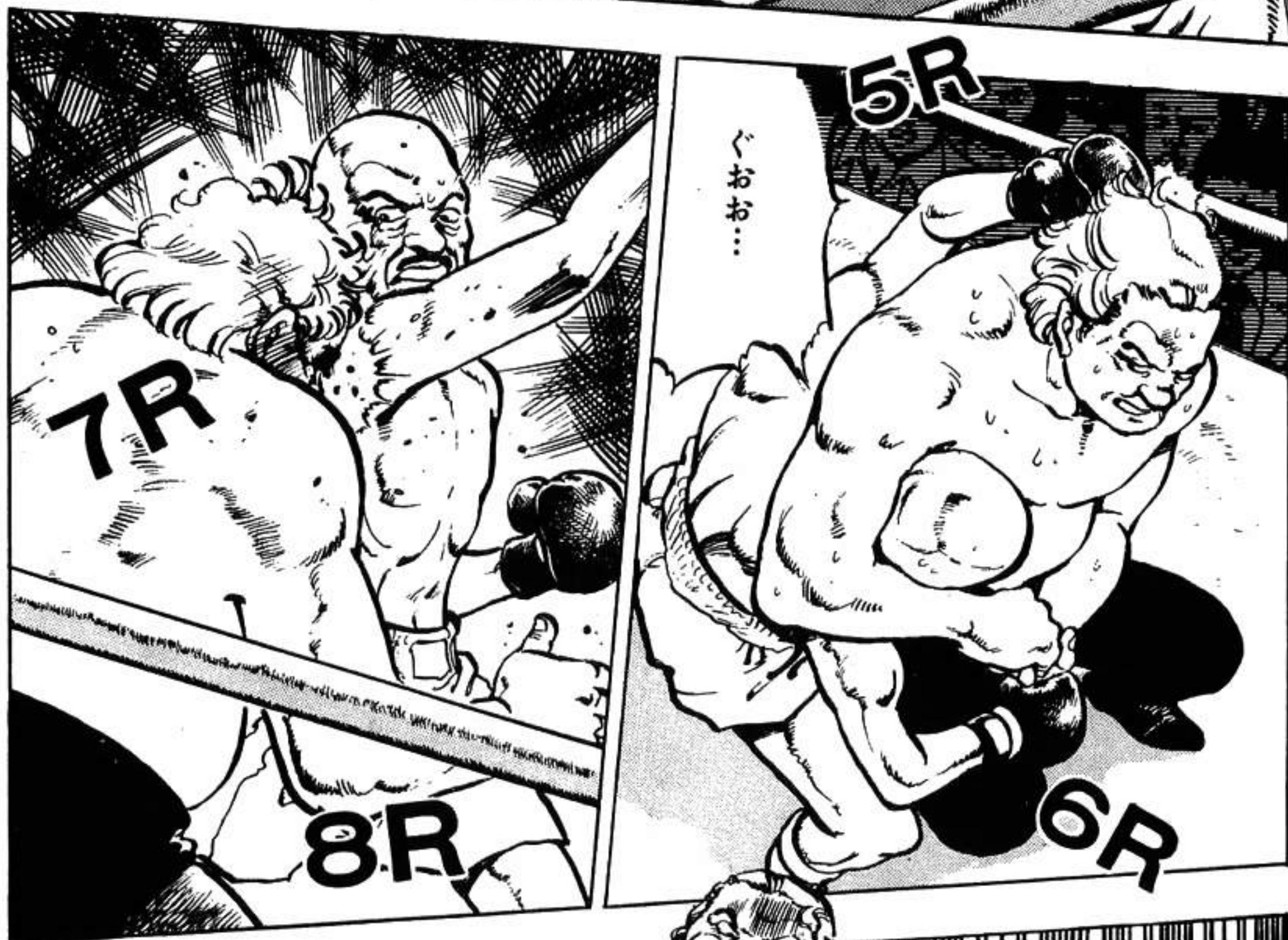
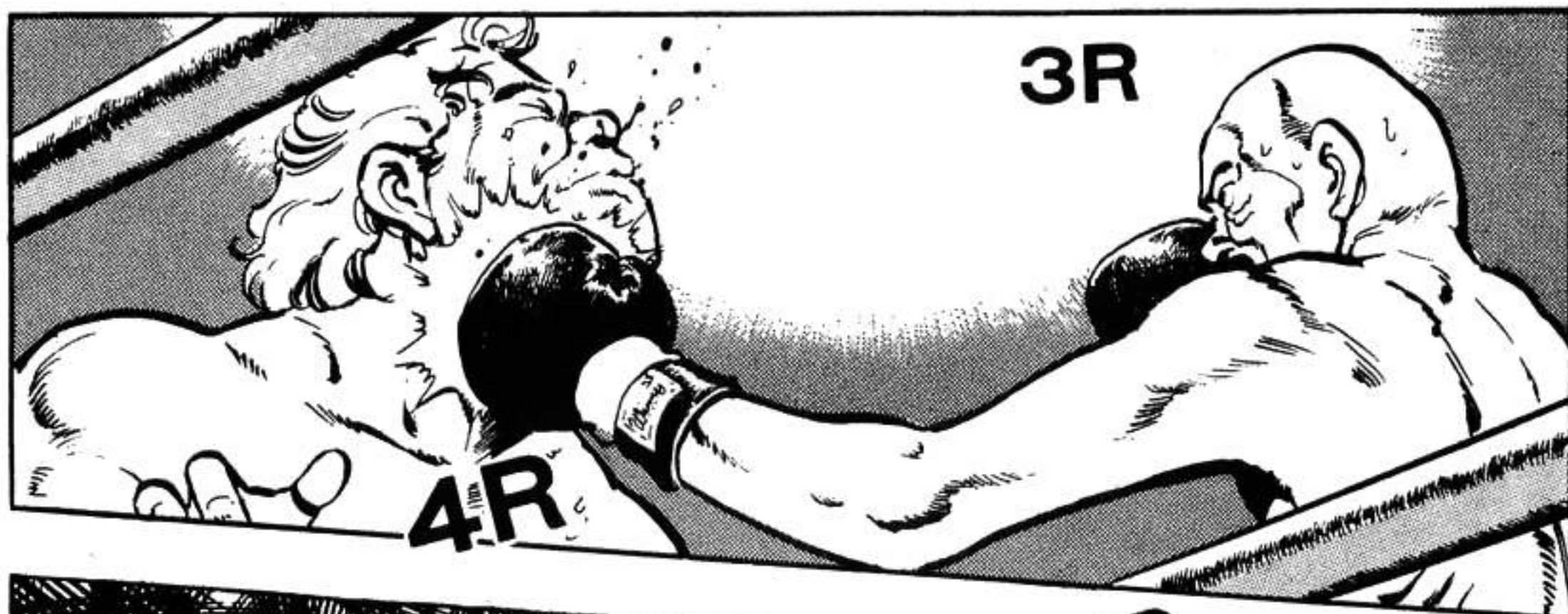






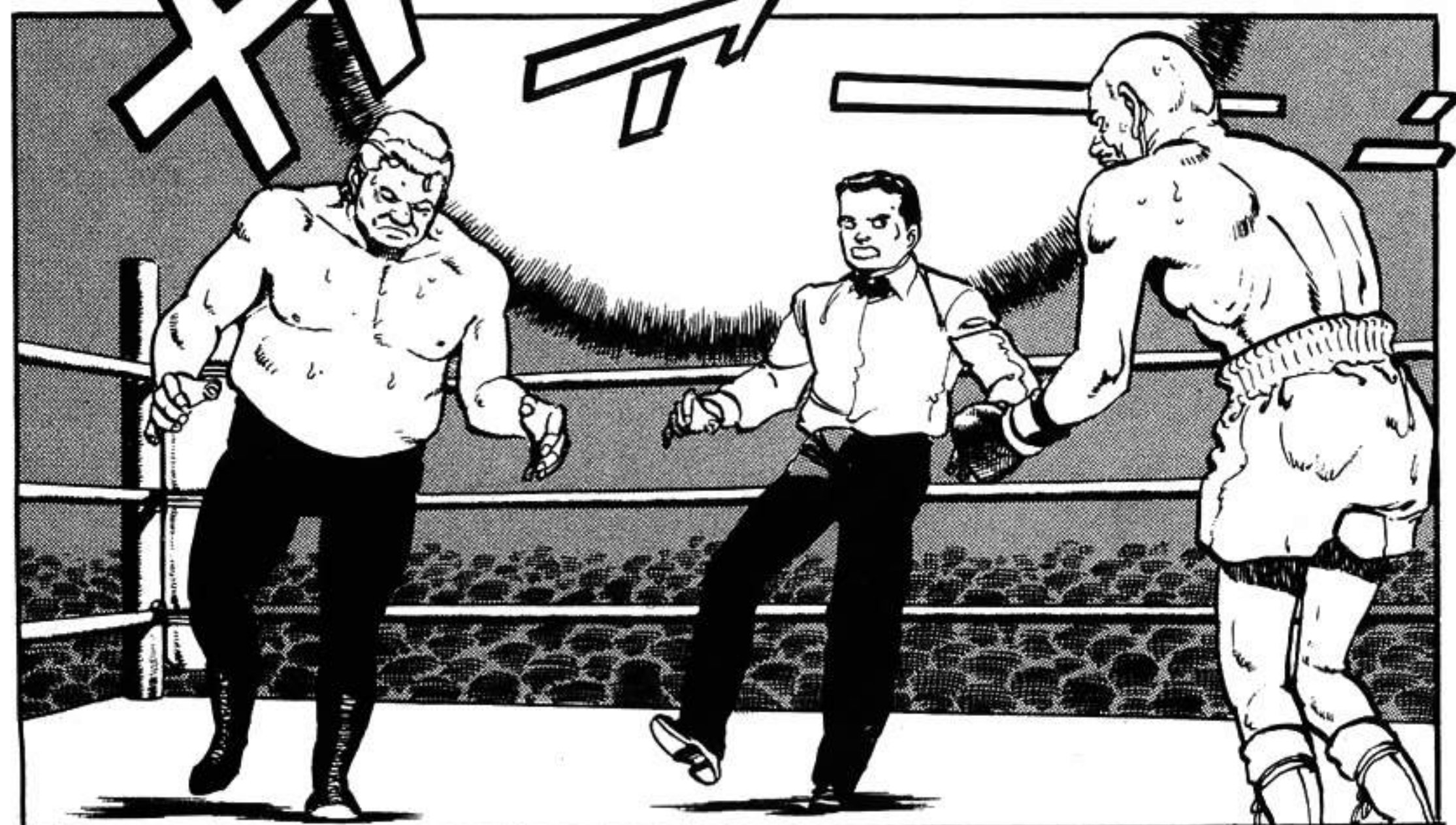








アホとロマンの肉袋





総ての男たちの少年の日々の  
最大の関心事……













# FILE10

## 増殖

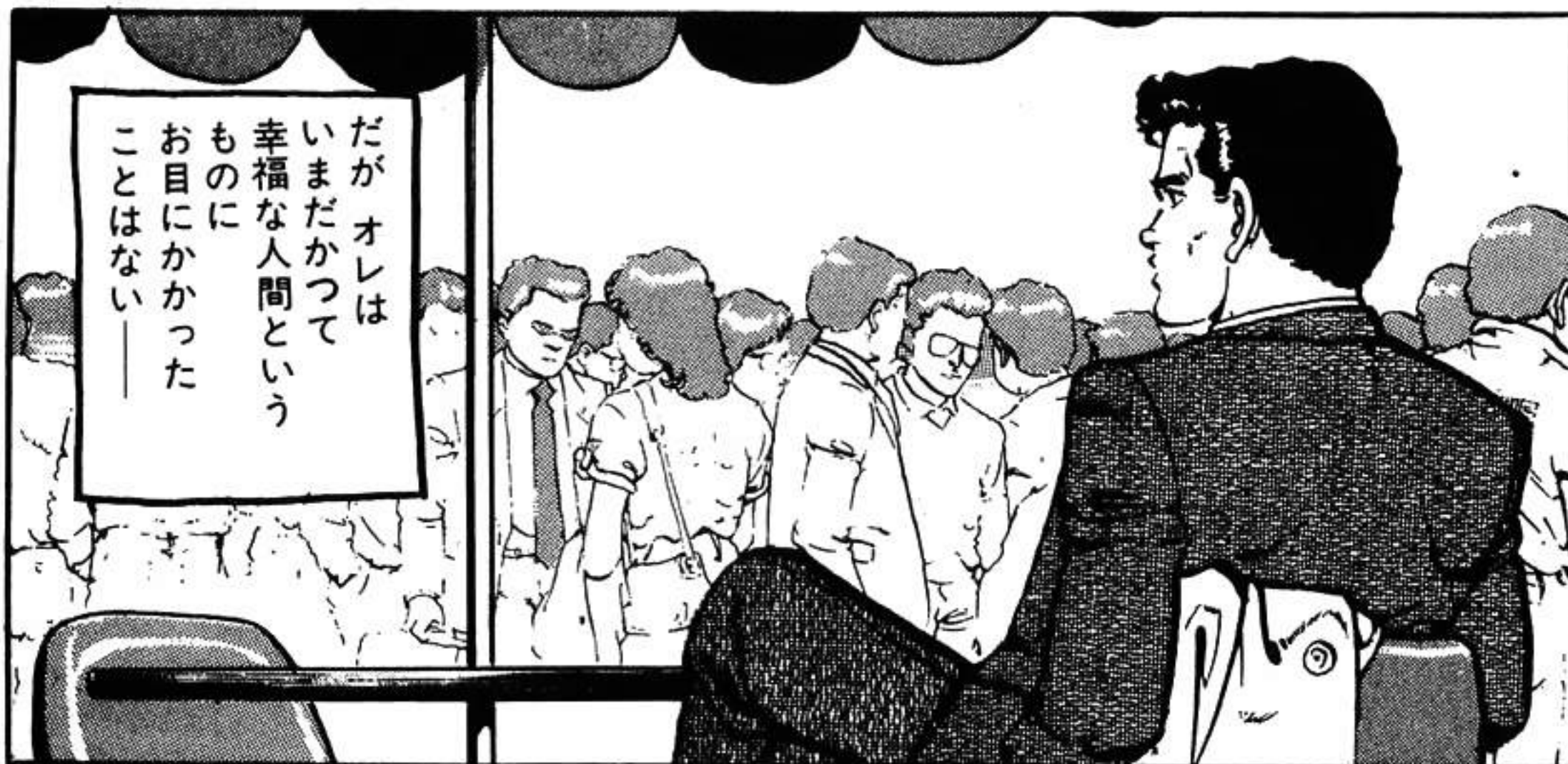




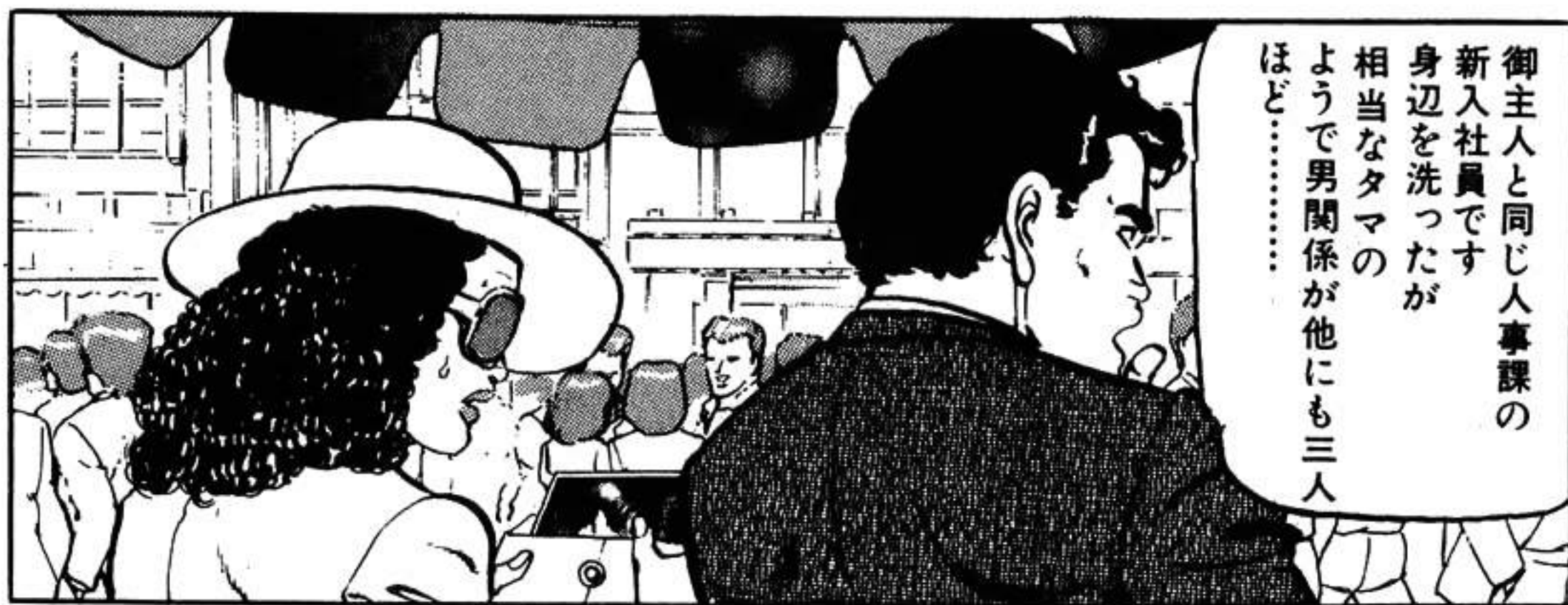
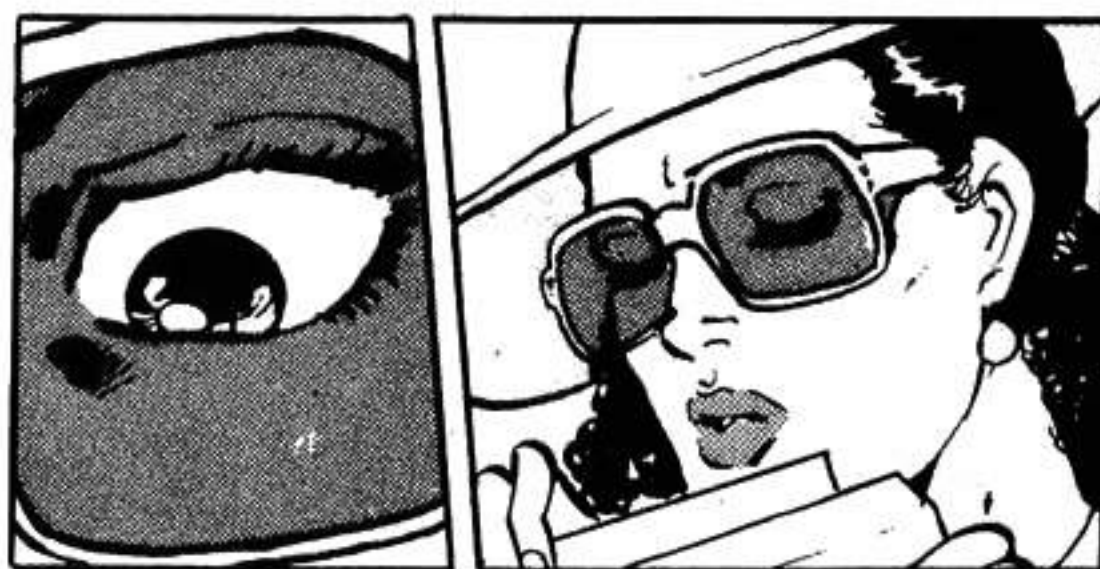


無神経と若さと  
低い夢が支える  
「幸福らしさ」が  
街に満ちあふれている





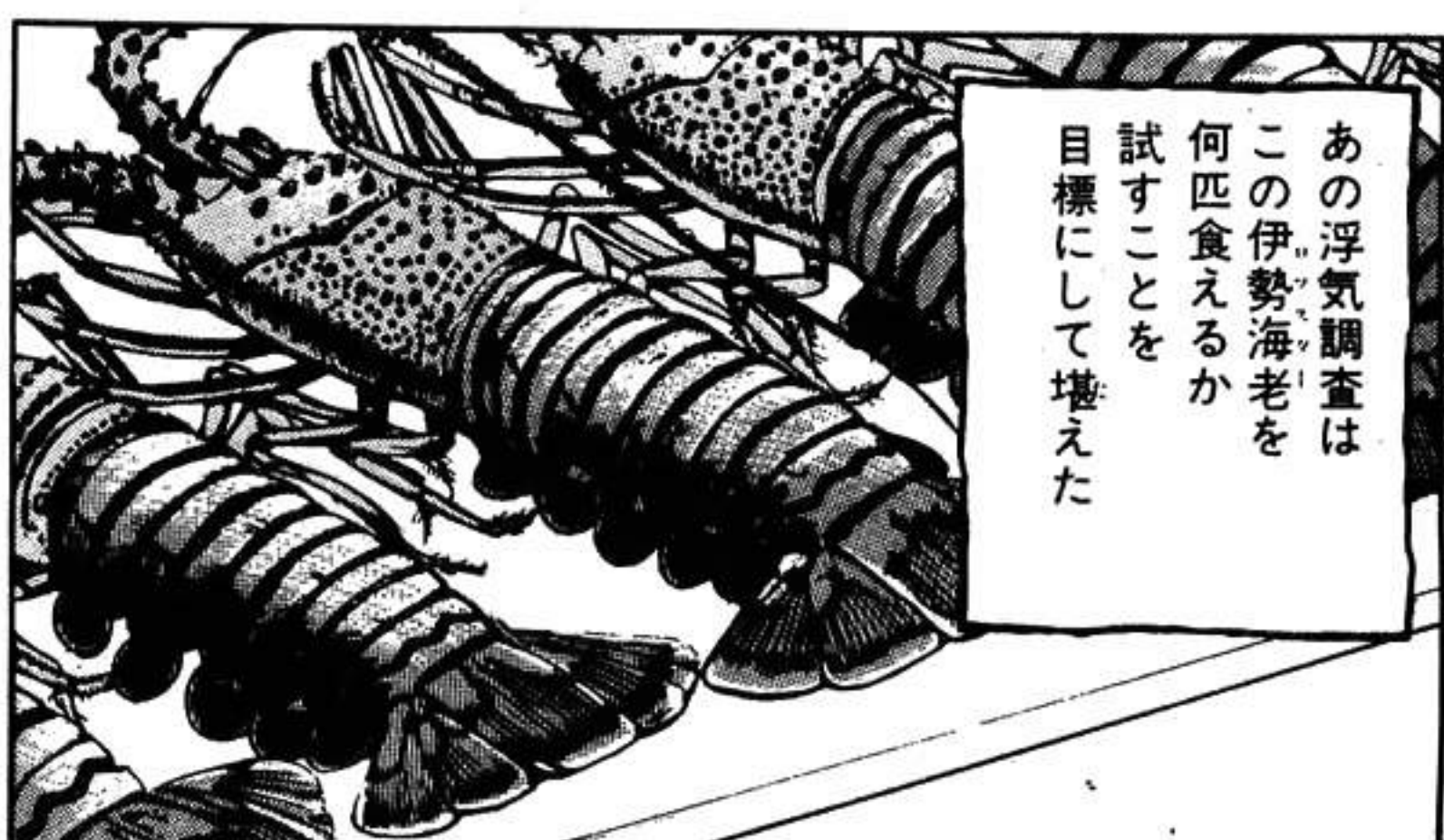




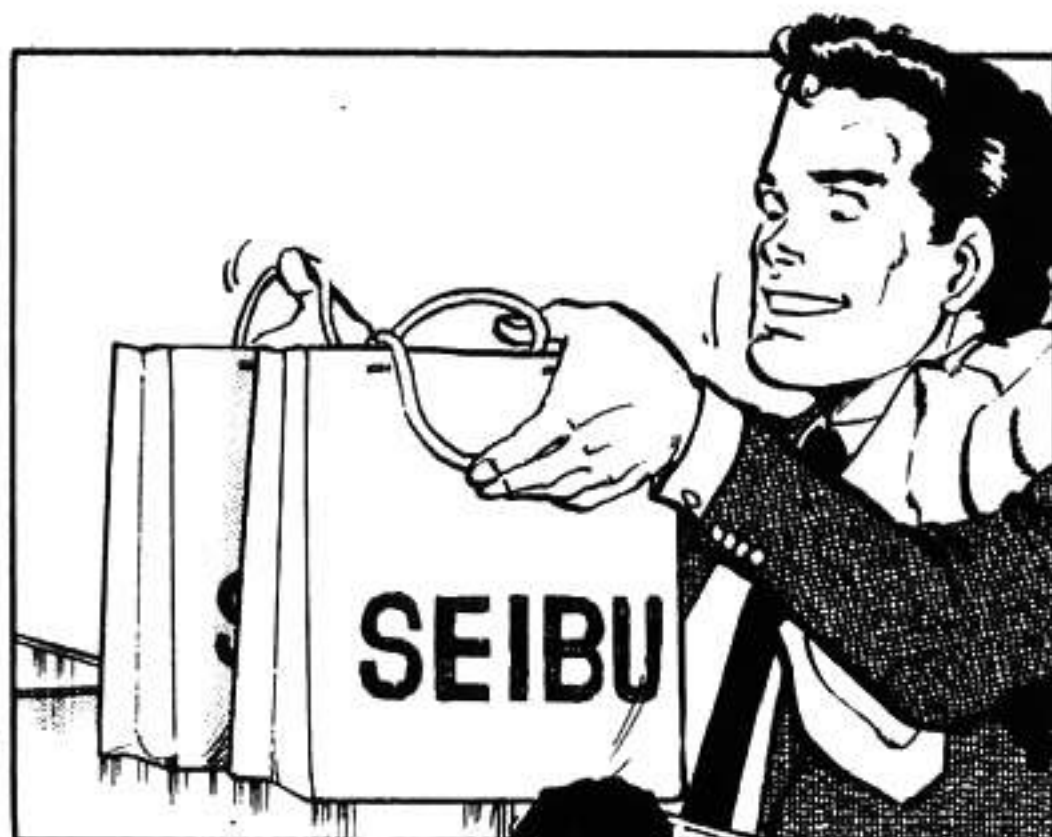














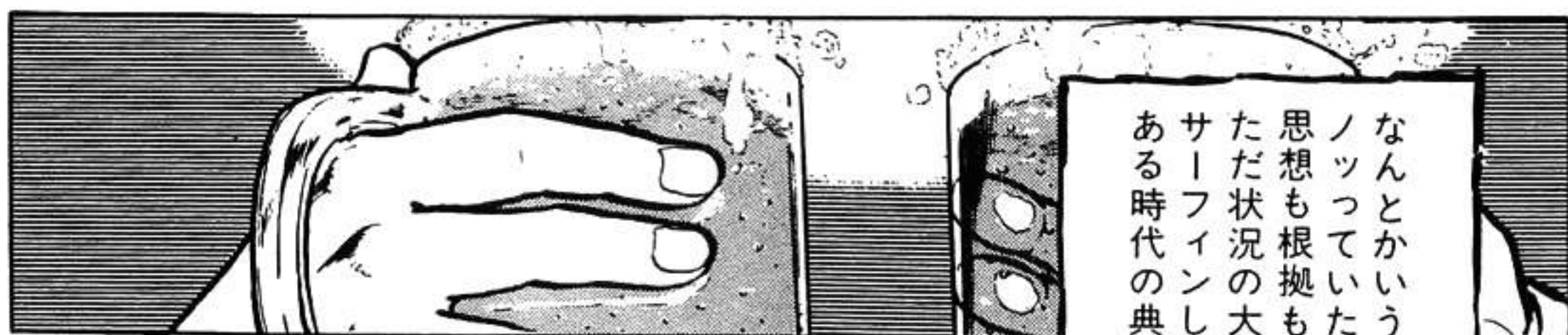






多分オレの顔はこわばっているのだろう 若い日のオレを知っている奴に街でバツタリ…常にこの瞬間を恐れていた

青春とは「恥」以外の何物でもない…あまりにも悲惨で思い出したくもないのがマ・ジメな正しい青春というものではないだろうか



なんとかいう新左翼の尻馬にノッっていたカスだ 思想も根拠もないくせにただ状況の大波とサーフィンしていただだけのある時代の典型……



こんな男に限ってあの時代を酒の肴に音楽界のカス男のニューミュージックシンガーのあの手口で語っているに違いないのだ…断言してもいい





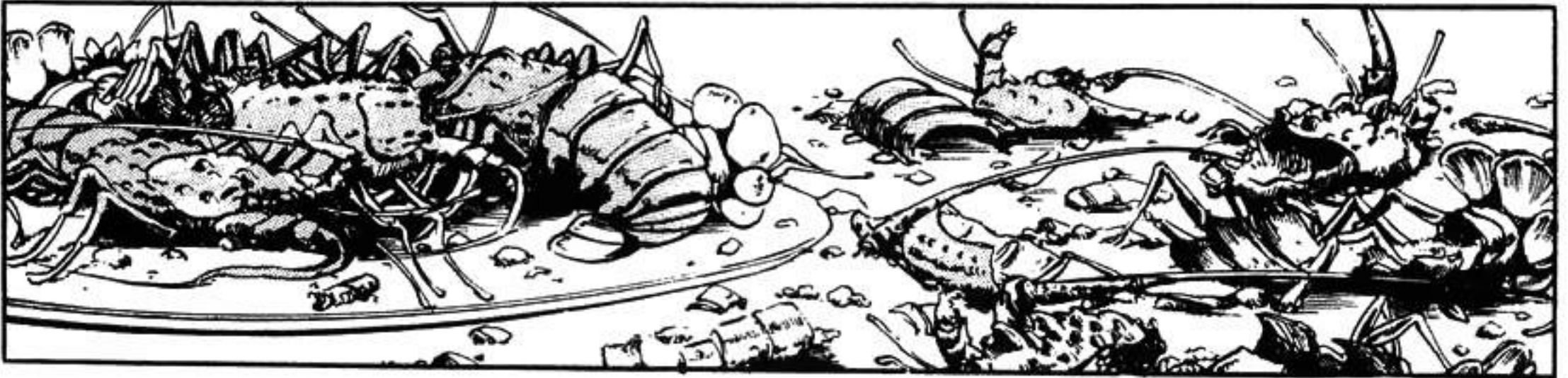
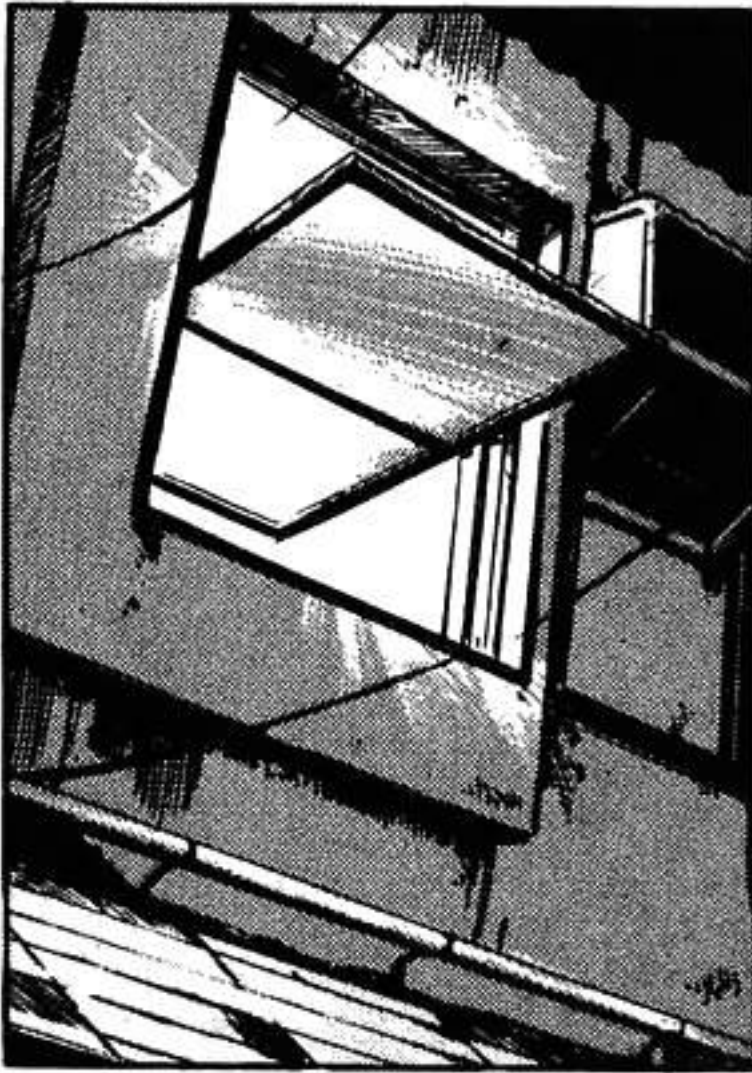




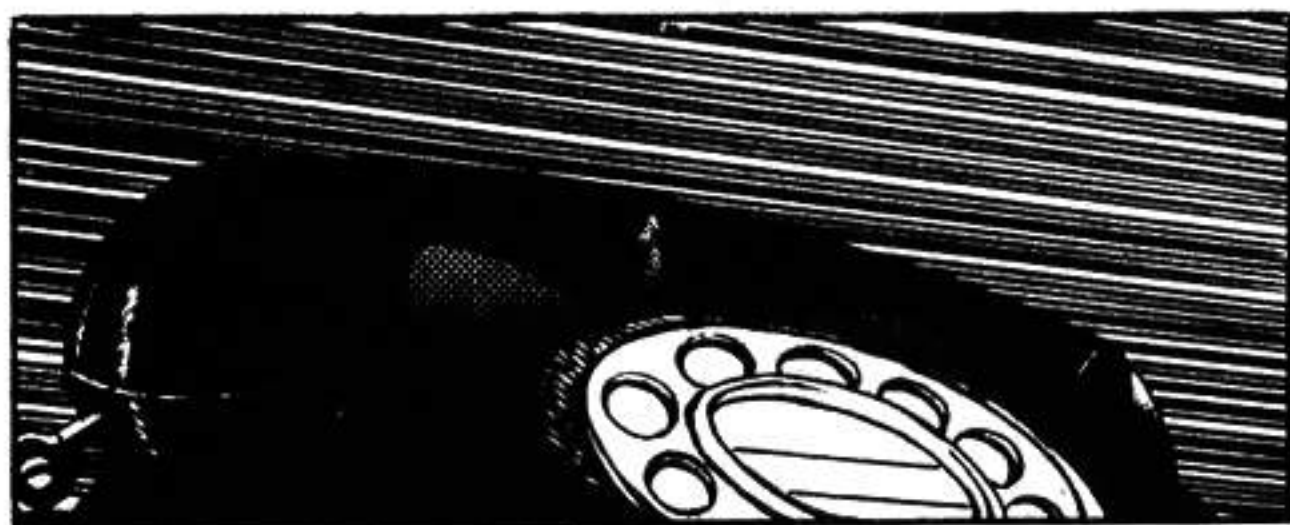




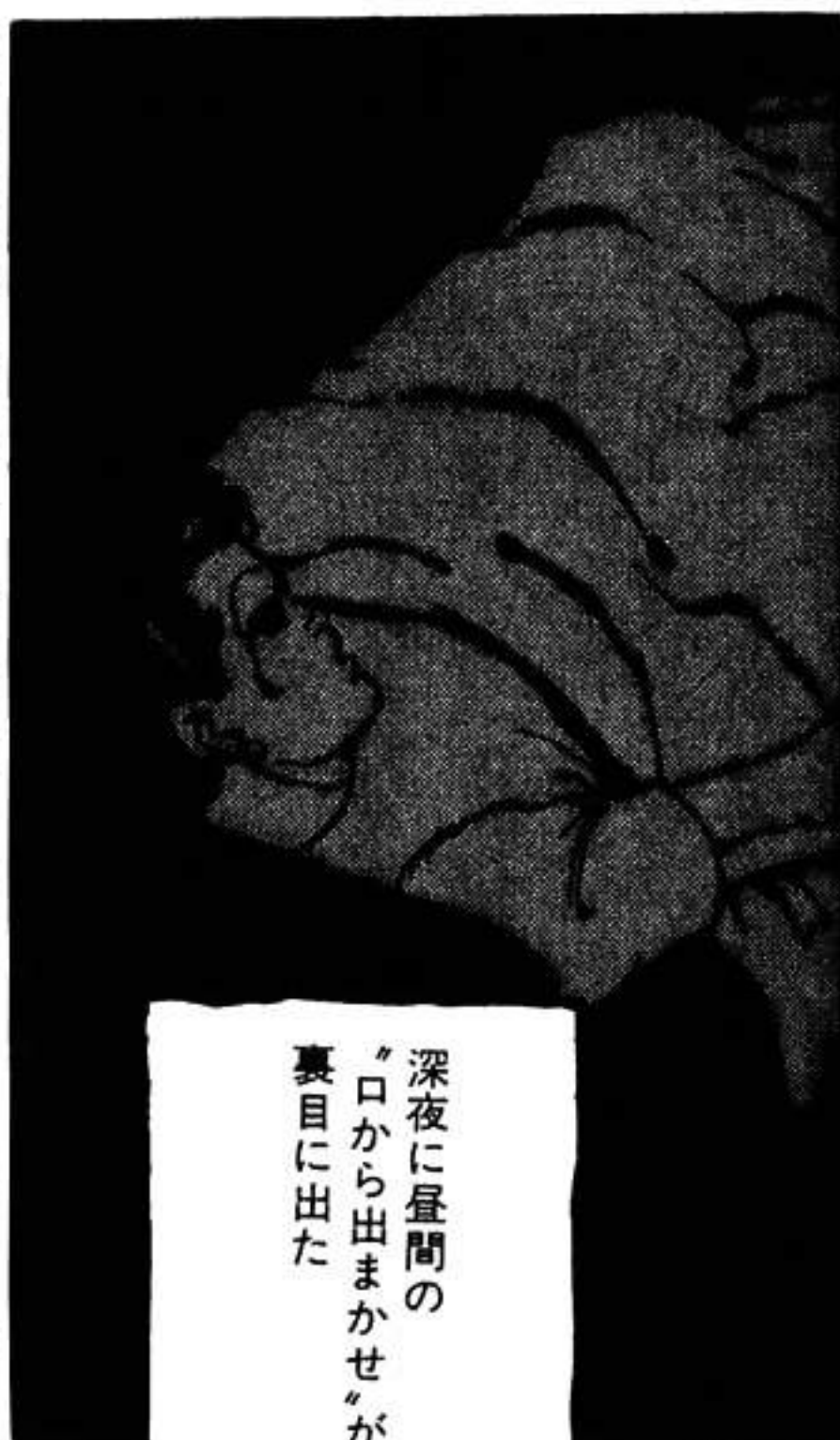




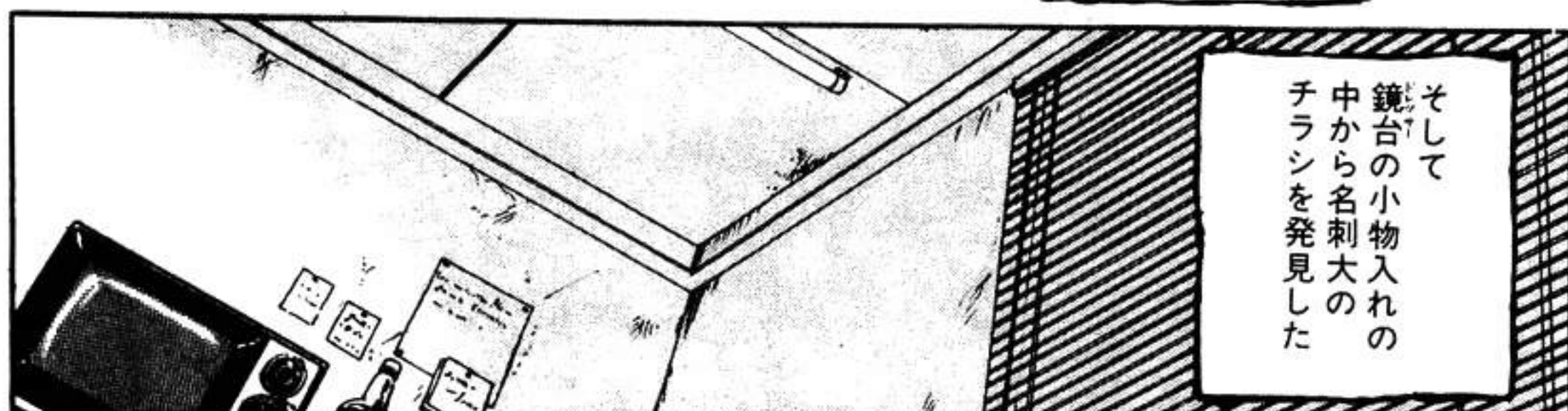




女房の紅茶に睡眠薬を  
隠し落し熟睡を見計って  
家捜しをしたのだそうだ



深夜に昼間の  
“口から出まかせ”が  
裏目に出た



そして  
鏡台の小物入れの  
中から名刺大の  
チラシを発見した



ハ〜〜ッただ  
ケンカを売っただけ  
なのに…



出張ホストクラブ  
のチラシを





自分で女房に  
問い詰めるという  
発想はねえのかね…

昨日は  
すまなかった  
頼む  
なんとかしてくれ  
お願いだ



二人が元の関係を取り戻す  
ただひとつの  
方法は互いの実在を  
賭けた魂の真の格闘  
以外にはない

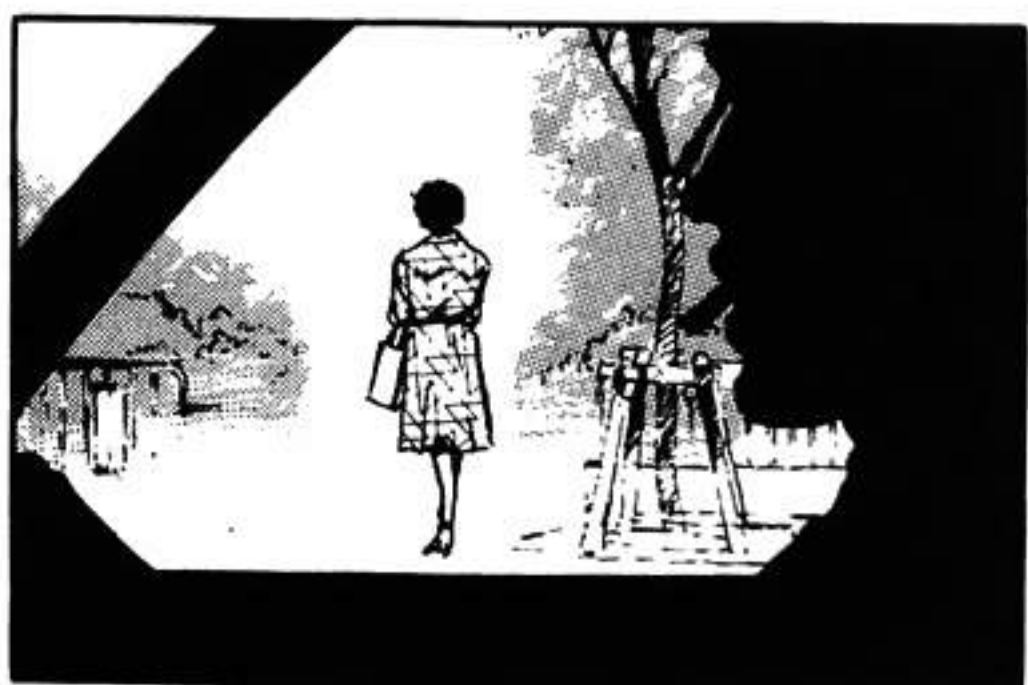
この男には無理だ

探偵に依頼した時点で  
その夫婦は  
すでに倫理的に  
崩壊している

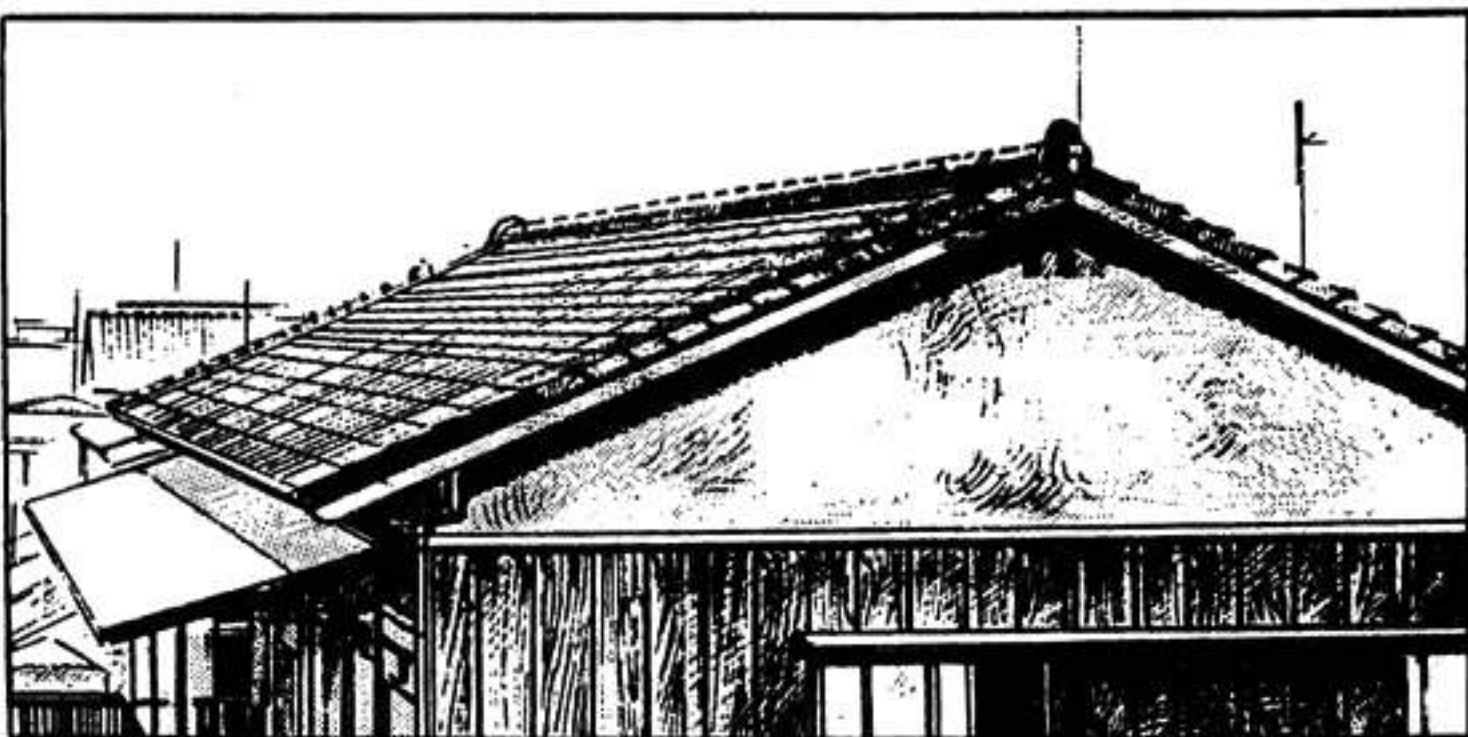
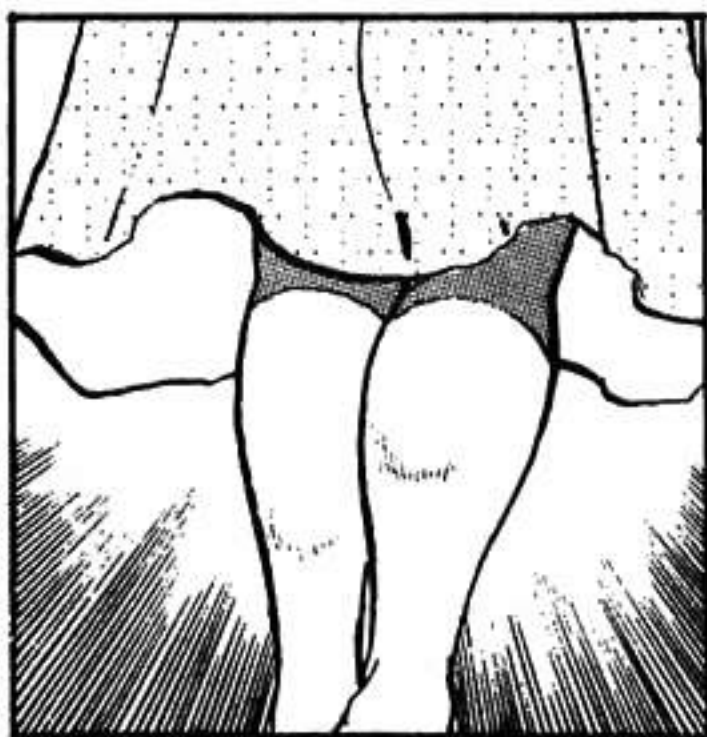














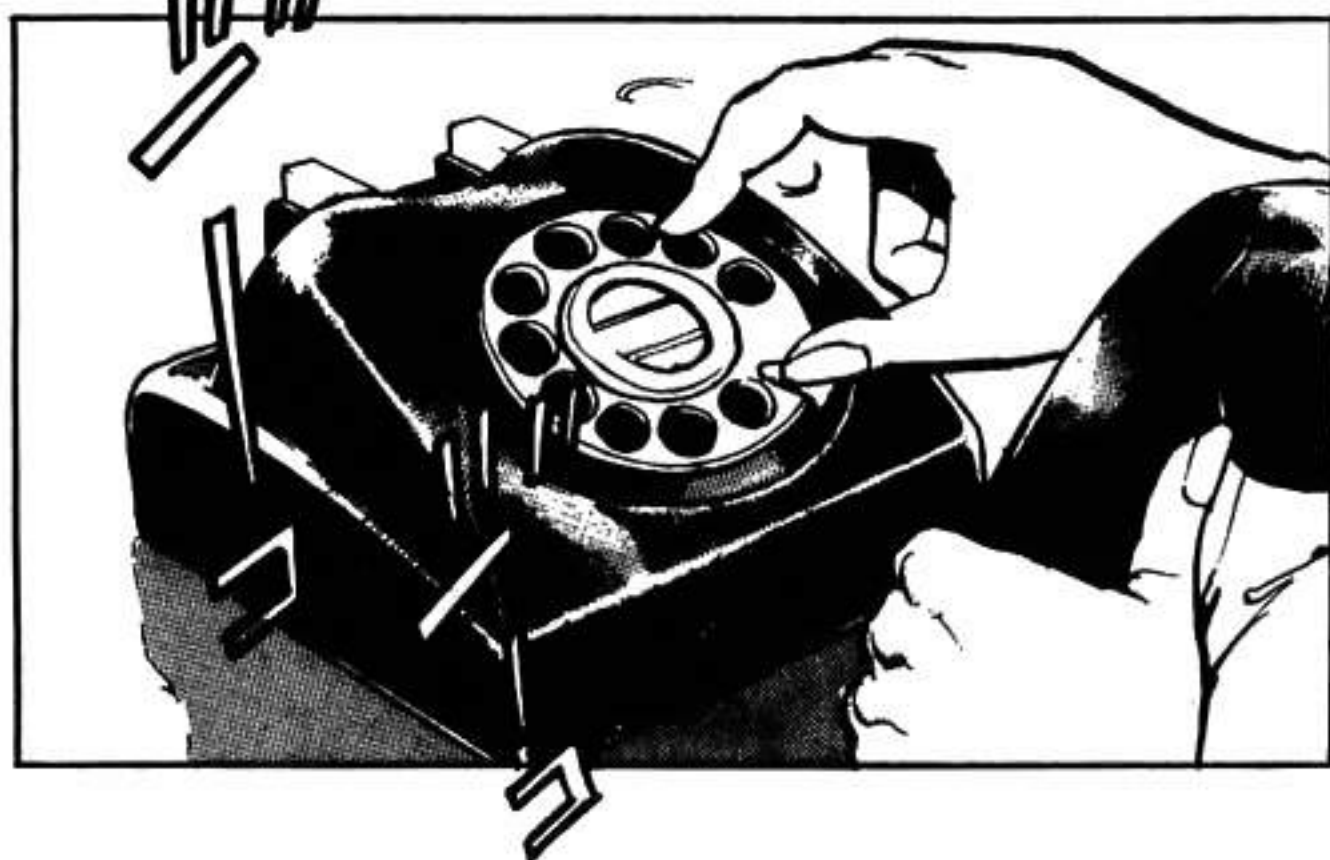


正確に一時間後…  
女は性のリビドーを美事に  
宙に放ったあの表情で  
鉄階段を降りて来た…



間違いいえ  
セックスだけの関係の  
最短時間だ…

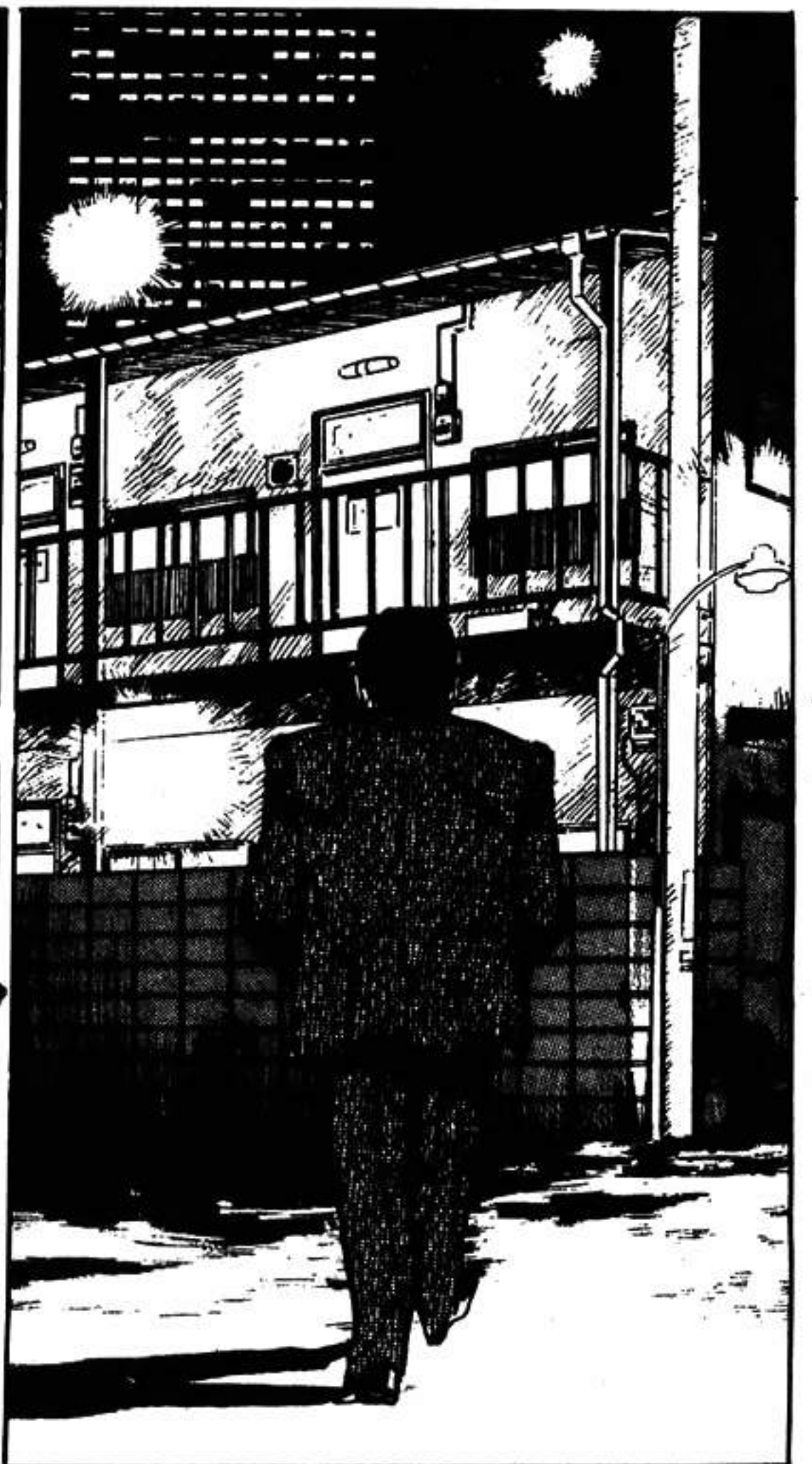
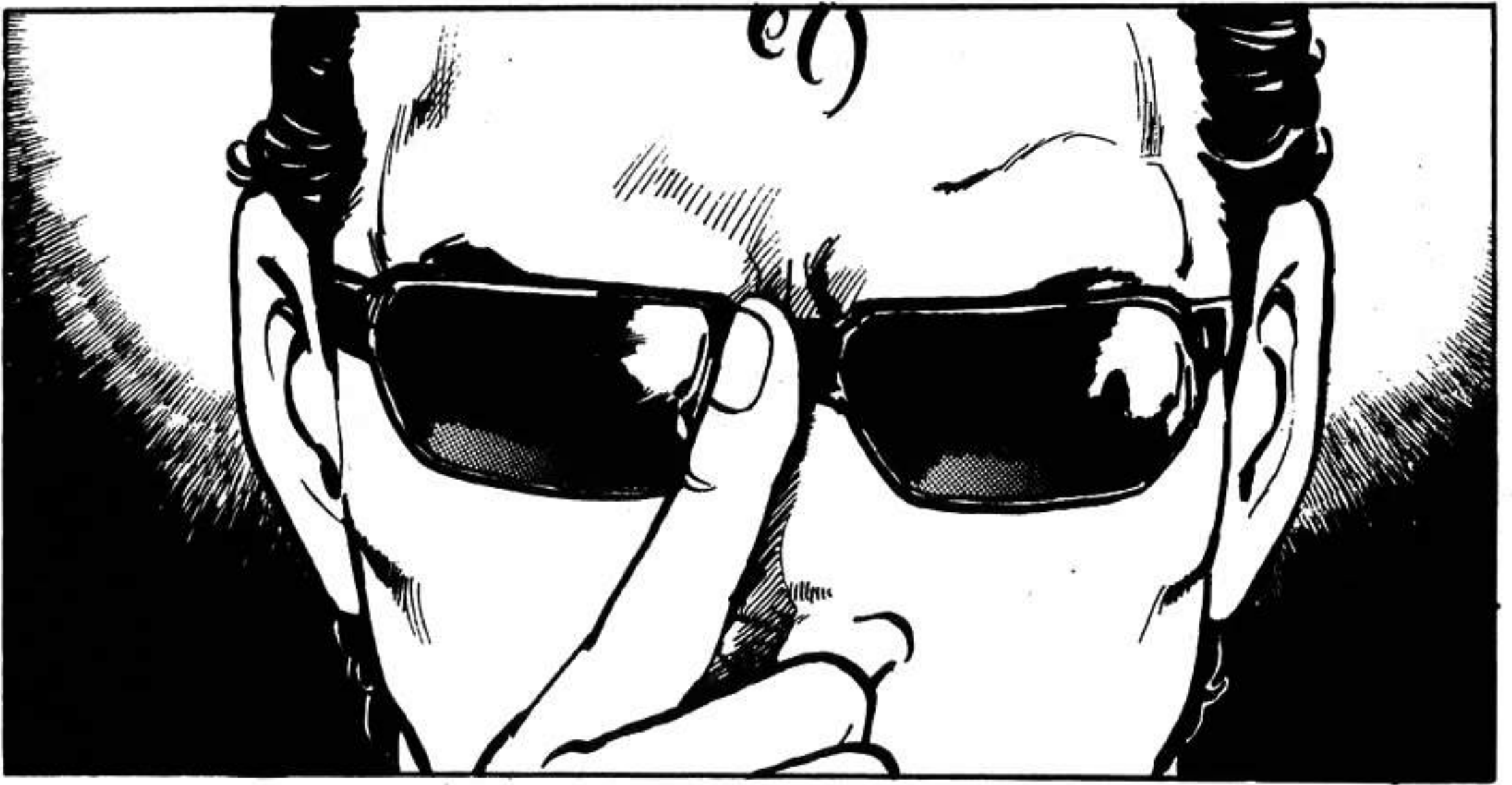




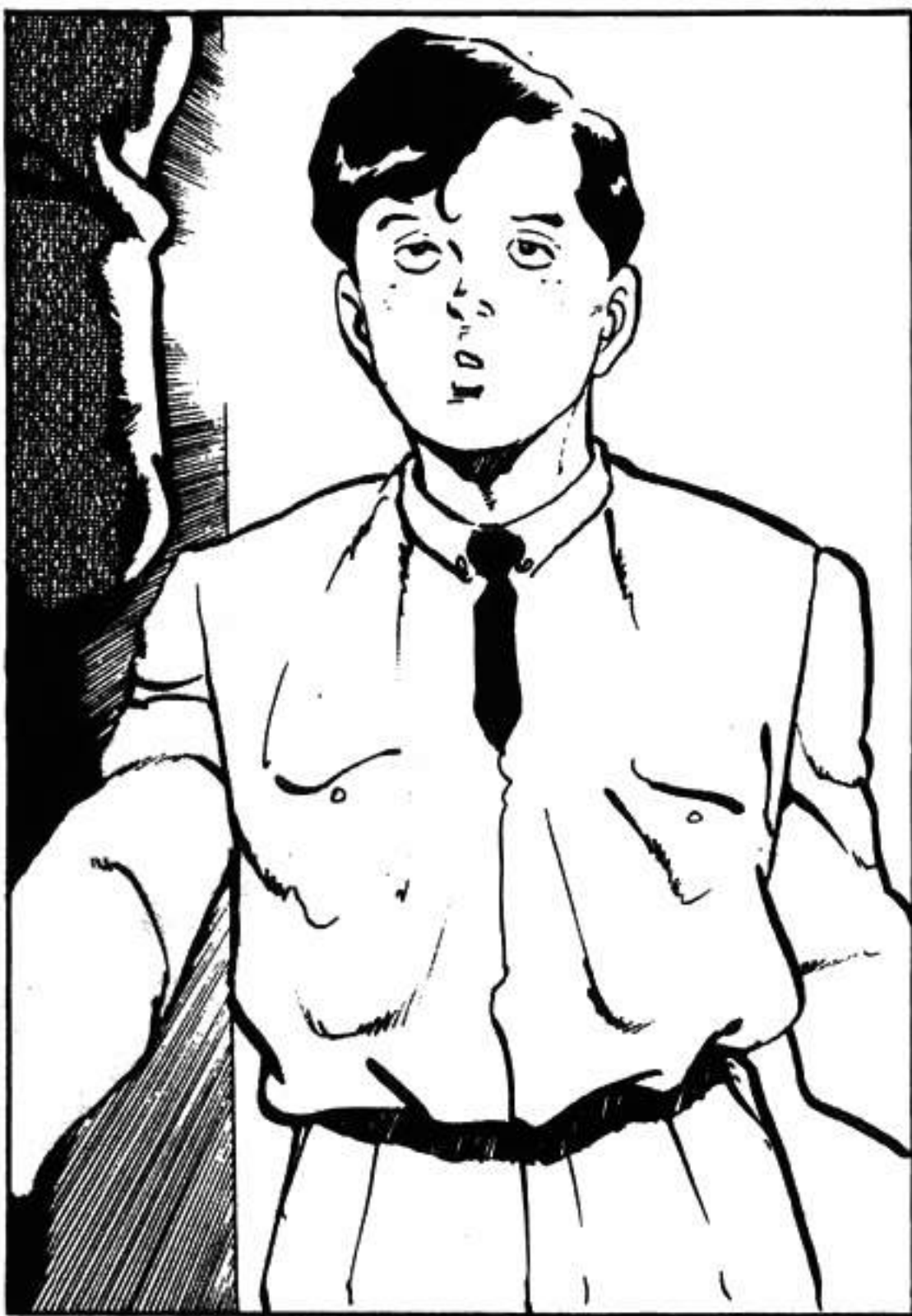
















なんの反抗心もない  
髪だけは美少年カットの  
その大学生の告白は  
圧倒的に時代を象徴する  
内容だった



街で見かけた好みの  
美貌の人妻風を  
尾行して住所を確め

自前の複写機で  
製作した  
ホストクラブ  
のチラシを……

もちろんこの部屋の  
電話番号だ

島村の妻から電話  
があったのは  
三ヵ月後だ

目的の女の郵便受けに  
投げ入れる……

最初のデートの時だけ  
料金を受け取りその日  
を最後に  
ホストを辞めた  
ことにする

密会の場所は  
以後この部屋に  
……





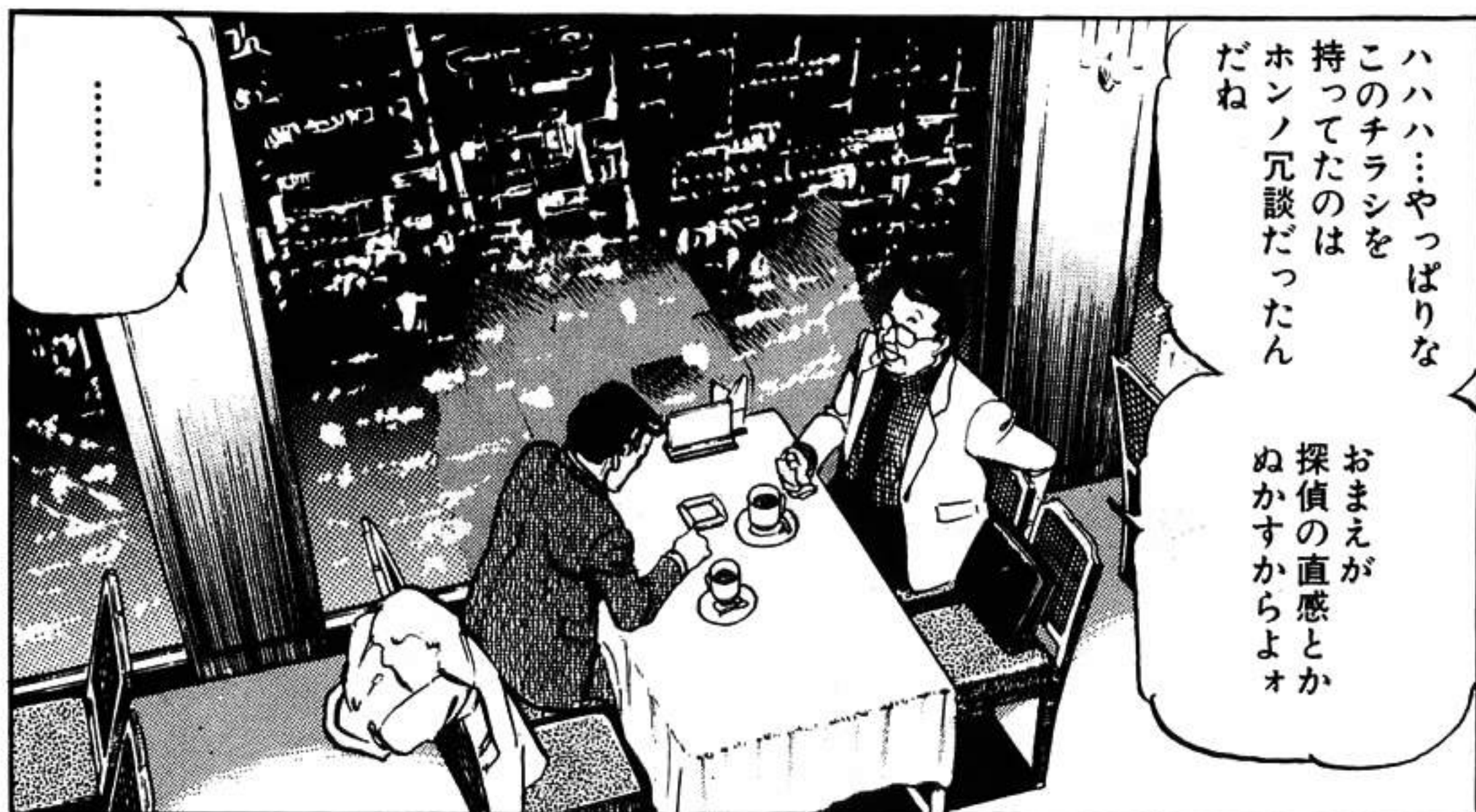








完敗だ カミさんは  
シロだった  
疑うんならその  
ホストクラブ  
へ電話してみな



ハハハ…やっぱりな  
このチラシを  
持ってたのは  
ホンノ冗談だったん  
だね

おまえが  
探偵の直感とか  
ぬかすからよオ



悪かったな



その後のあの夫婦の  
なりゆきは知らない  
：

いいではないか誰でも  
相應しい出来事しか  
起らぬものだ

ハードでルーズな  
俺の人生感





ロボットが  
ロボットを生み  
増殖し続け確実に  
人類を追いつめていく……



複製時代とは  
そういうことだ



ソウルミュージック  
が聴きたくなった  
：オーティス・レデ  
ィングを!!



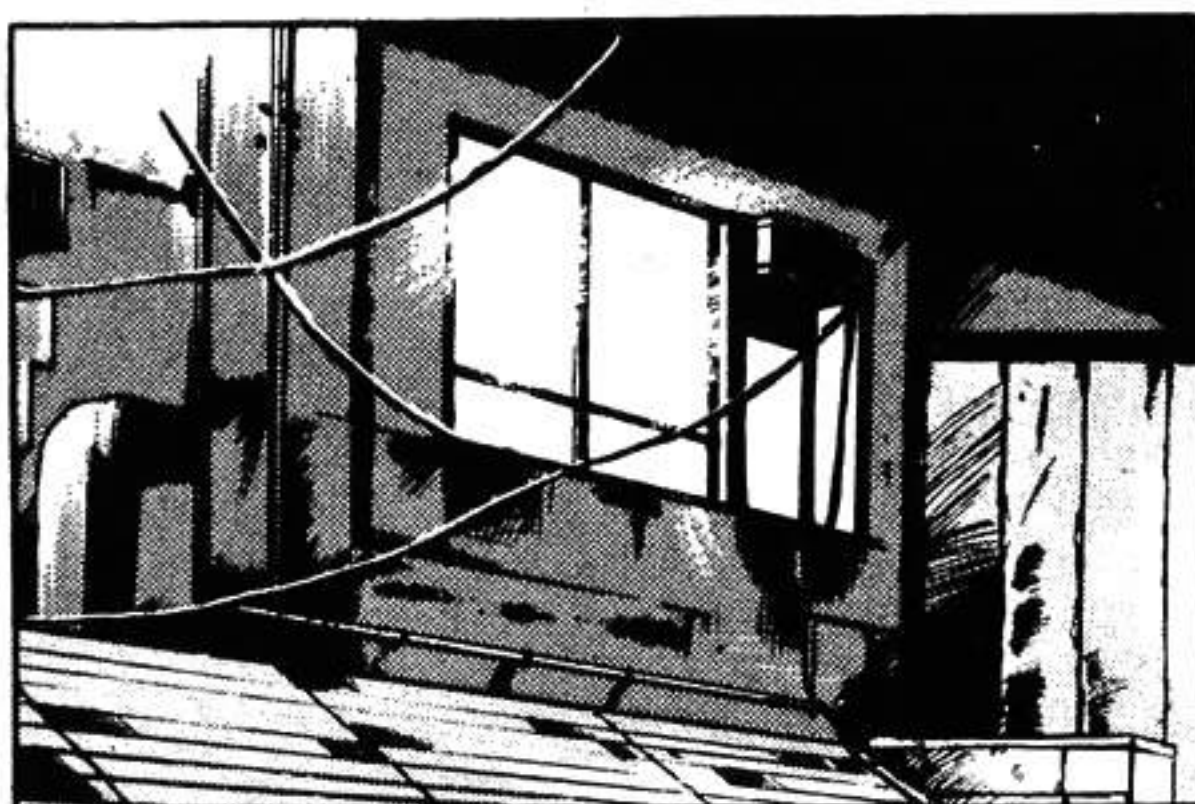
FILE11  
**蜜の味**  
《TASTE OF HONEY》



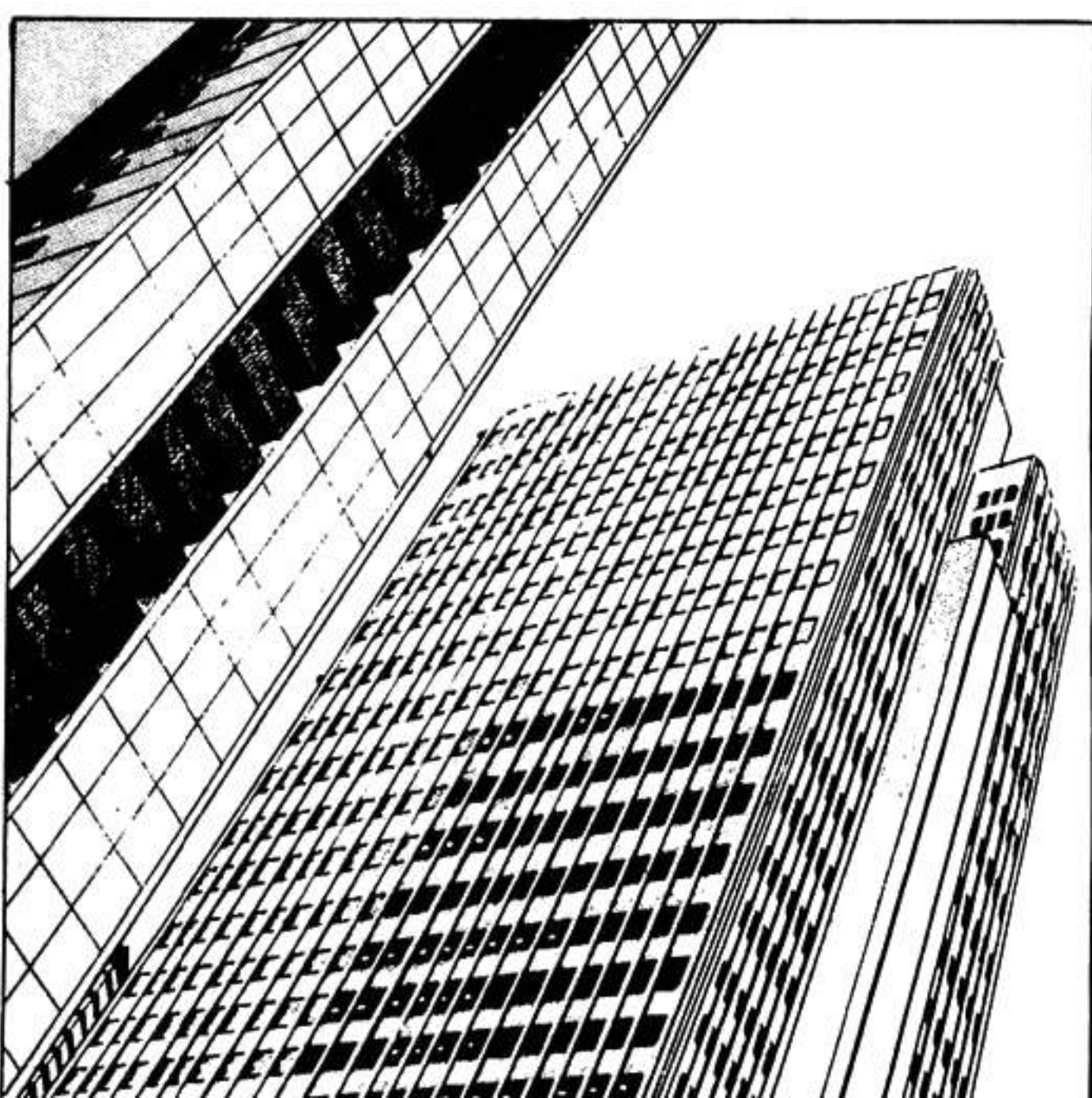






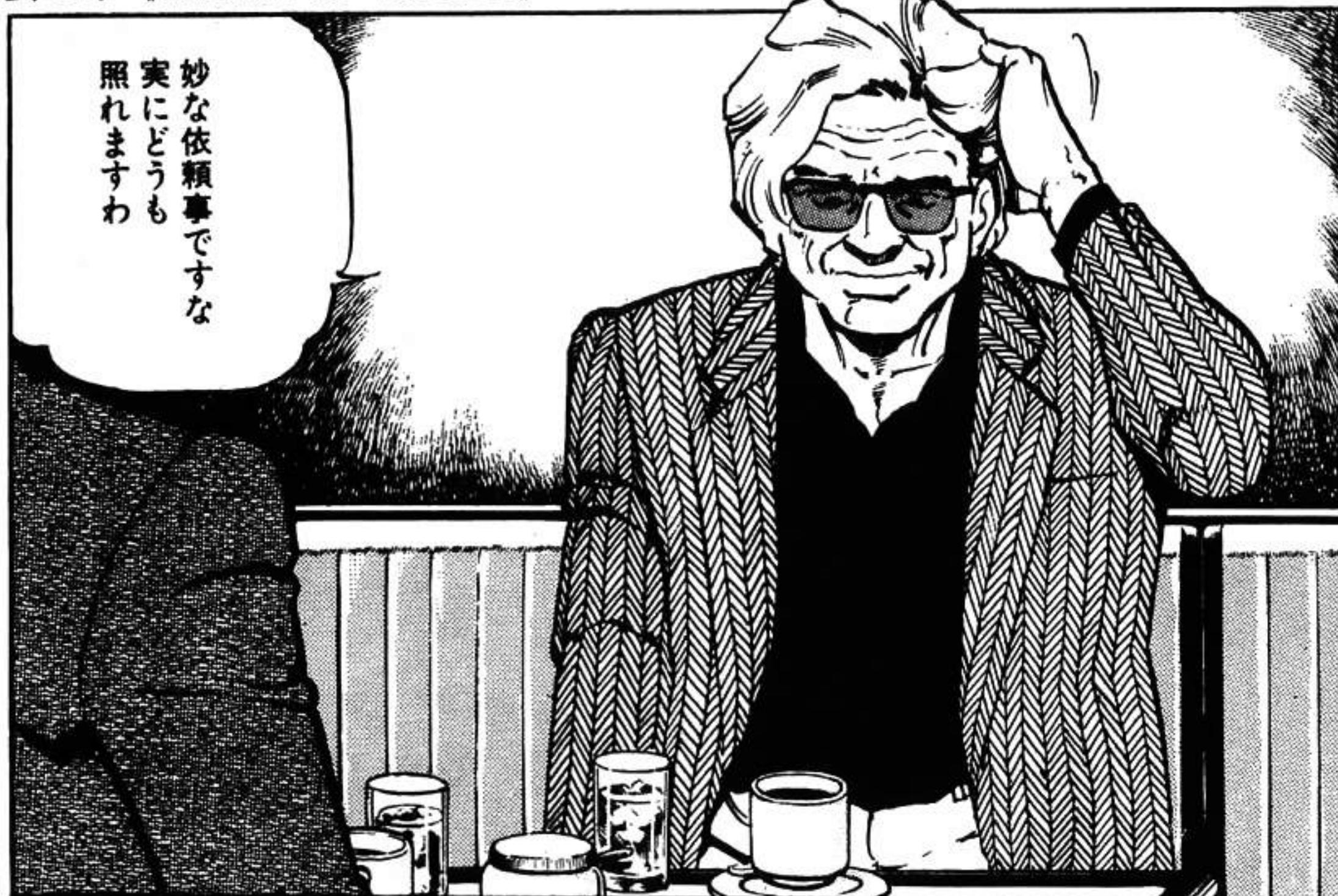








蜜の味 《TASTE OF HONEY》









# 蜜の味 《TASTE OF HONEY》









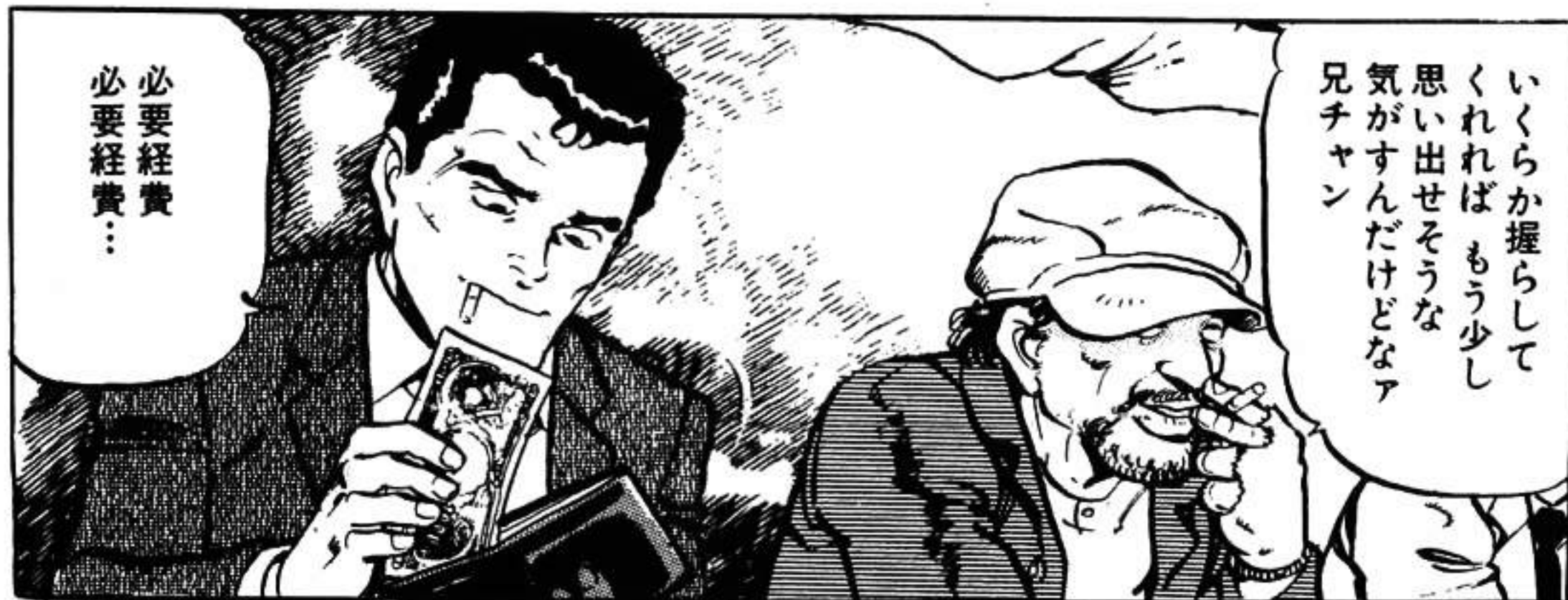
蜜の味 《TASTE OF HONEY》









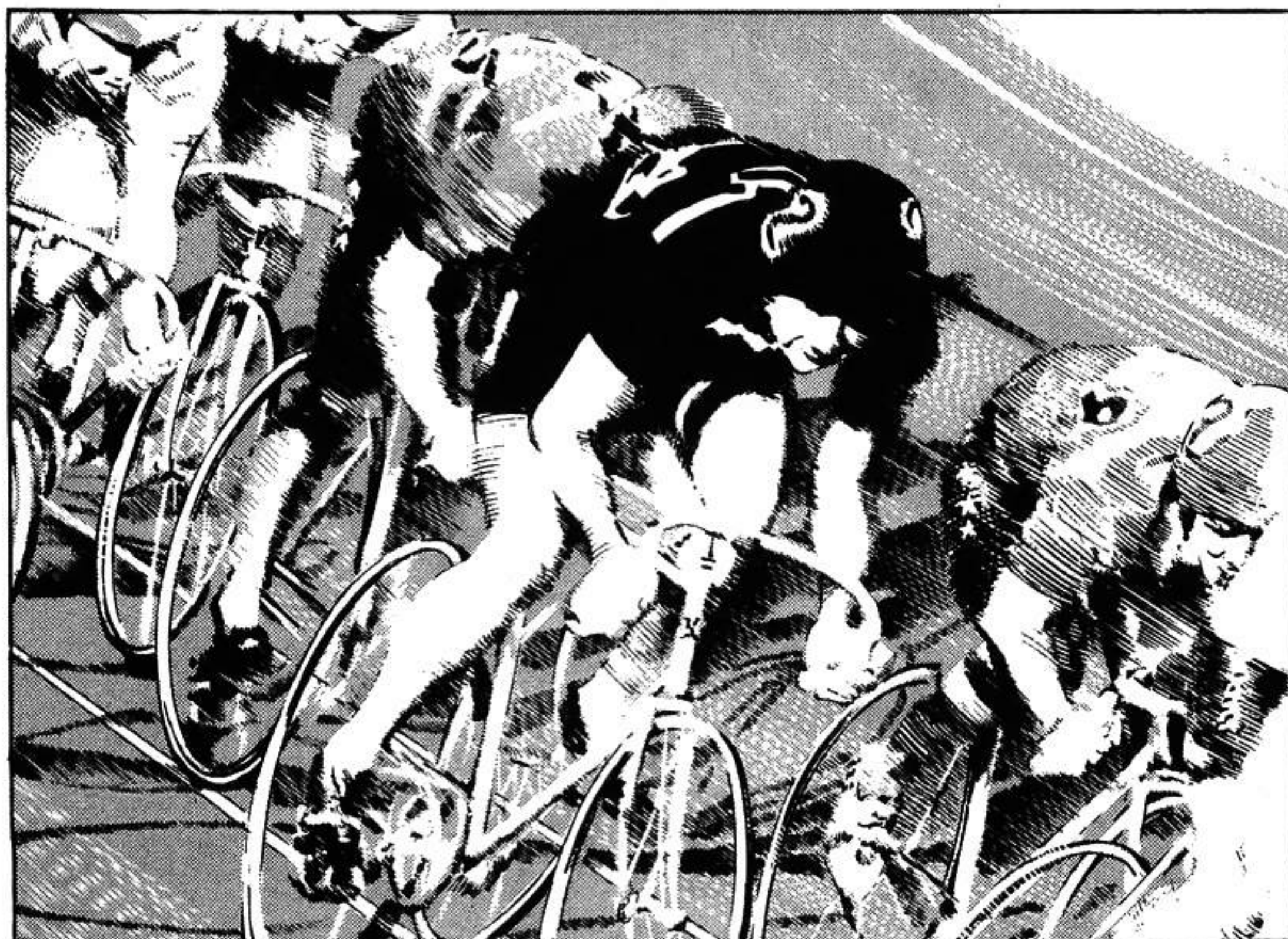




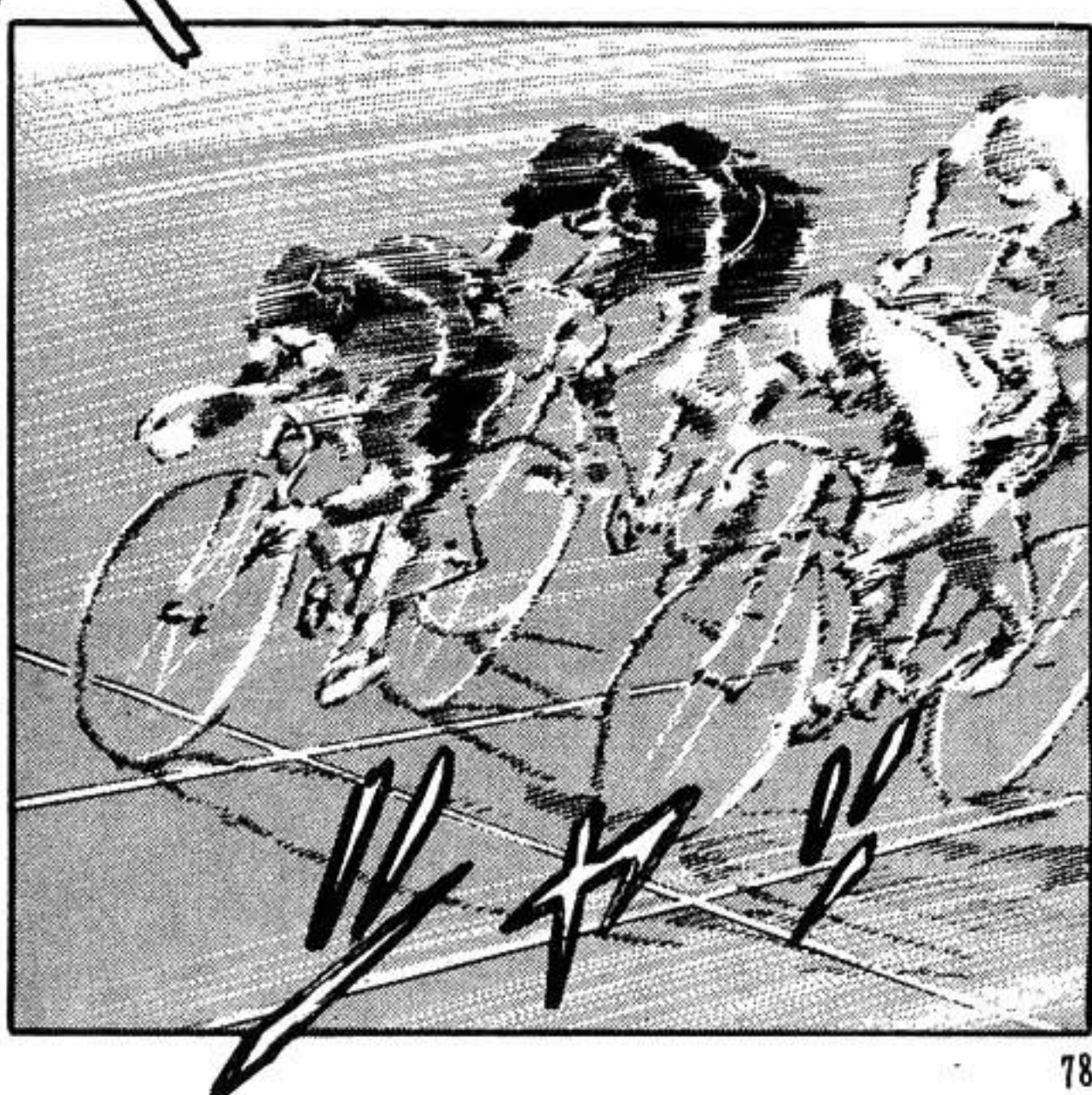
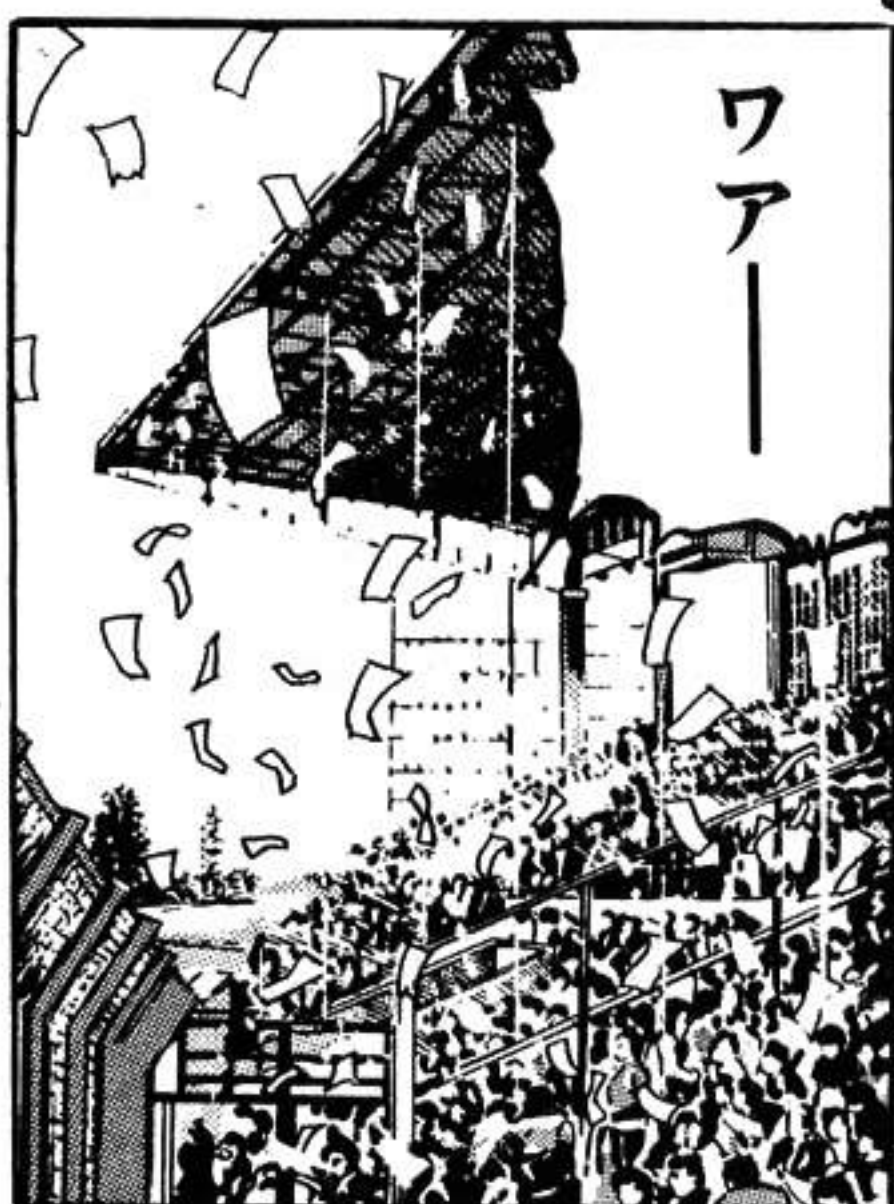




蜜の味 《TASTE OF HONEY》









蜜の味 《TASTE OF HONEY》

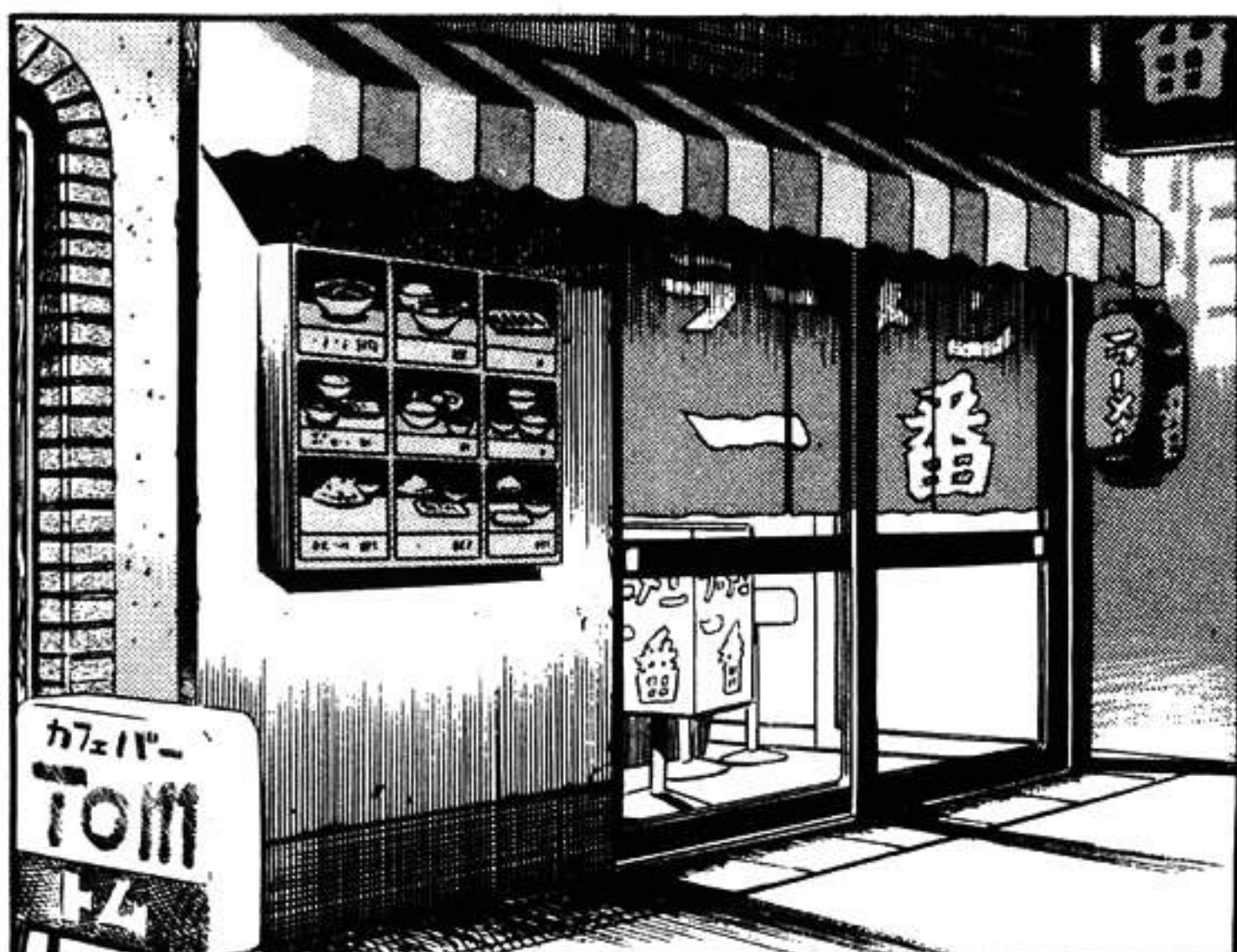
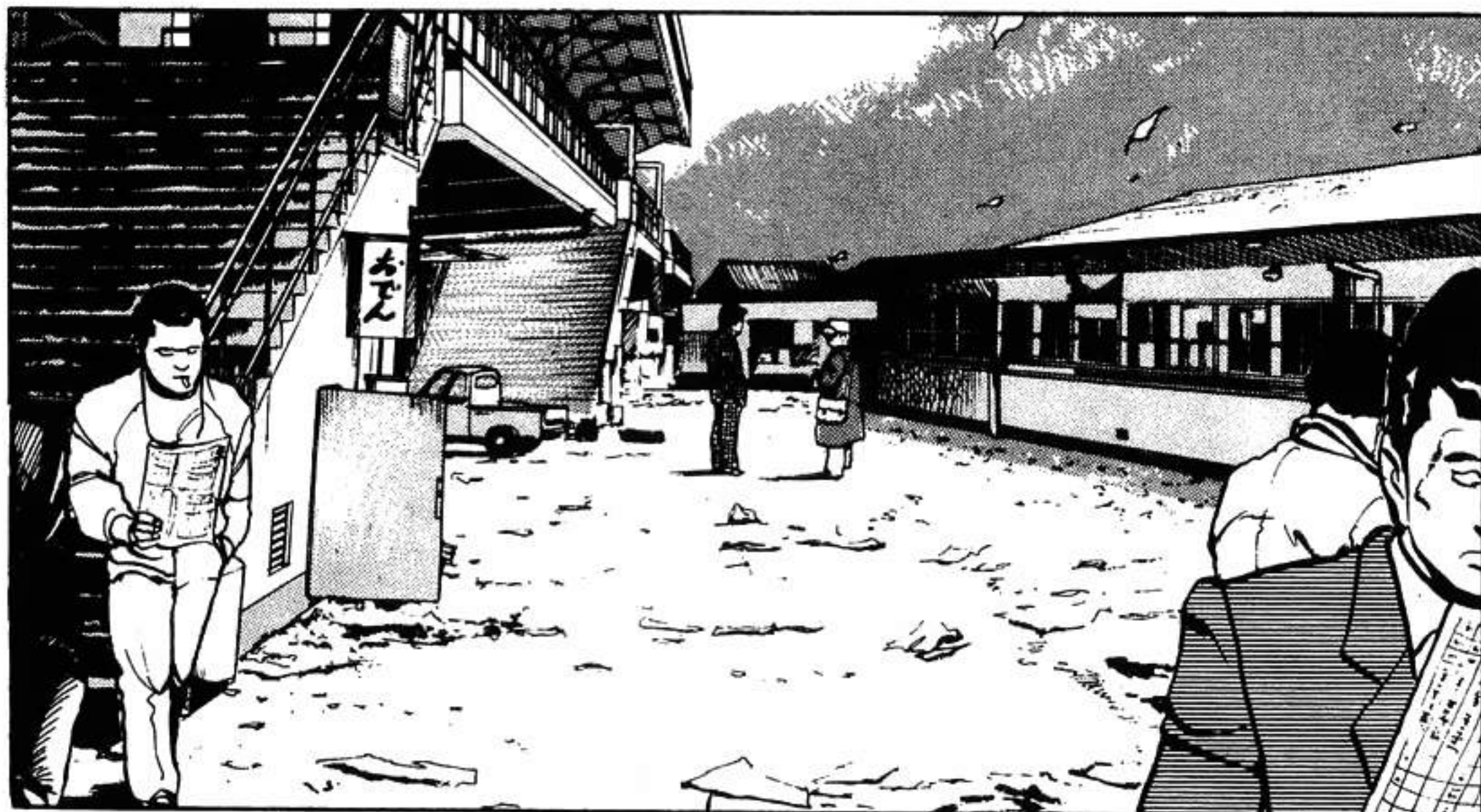




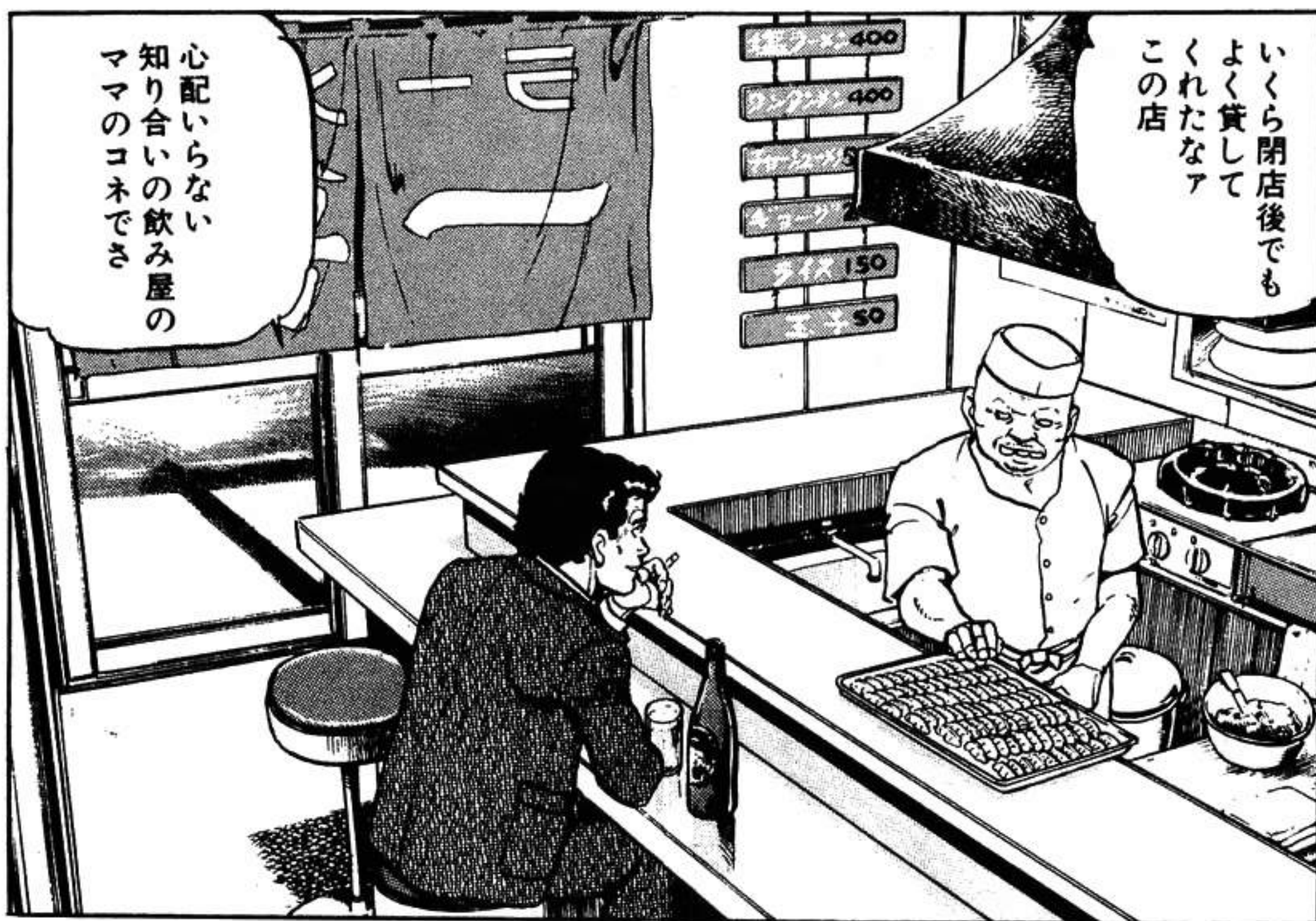




蜜の味 《TASTE OF HONEY》





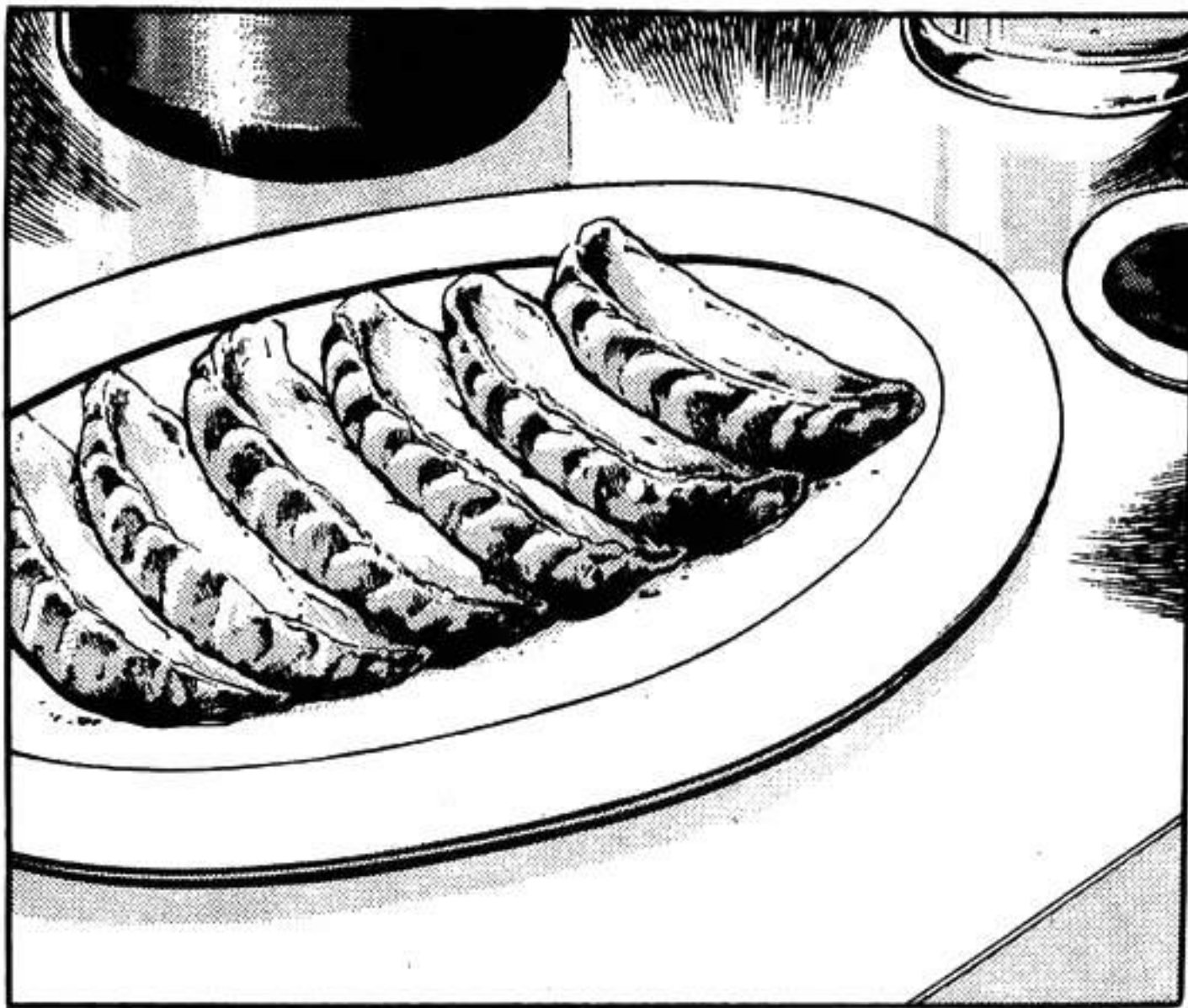




蜜の味 《TASTE OF HONEY》









蜜の味 《TASTE OF HONEY》









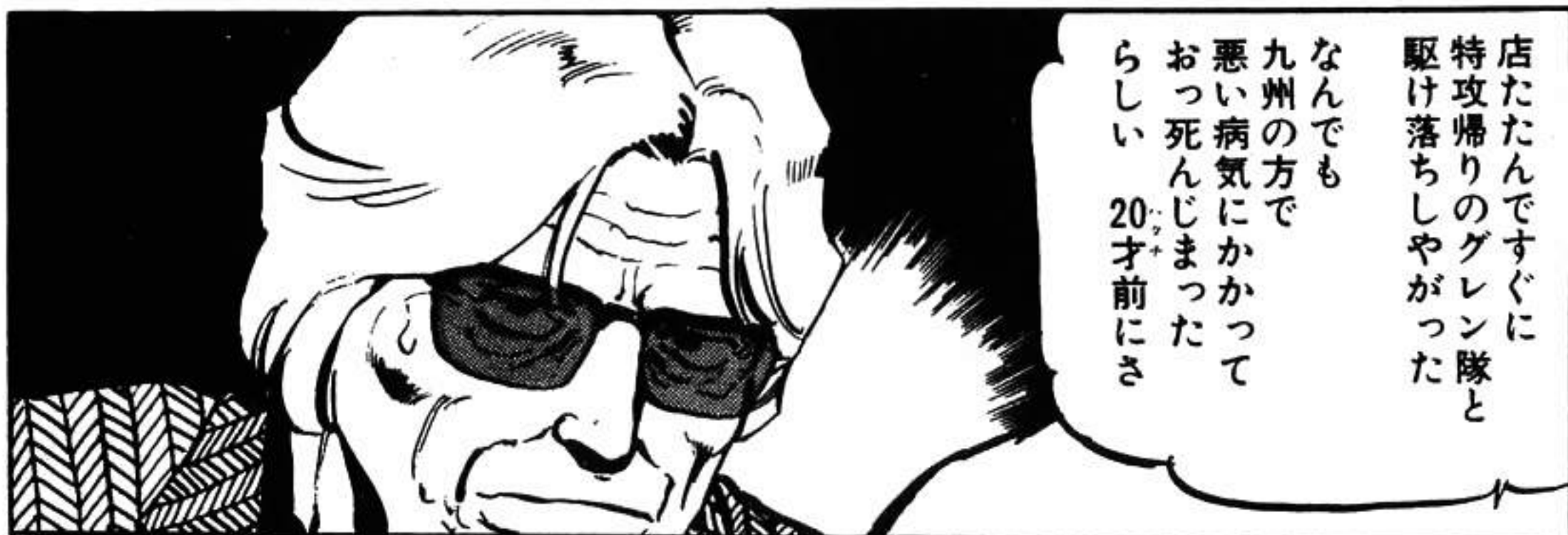
蜜の味 《TASTE OF HONEY》



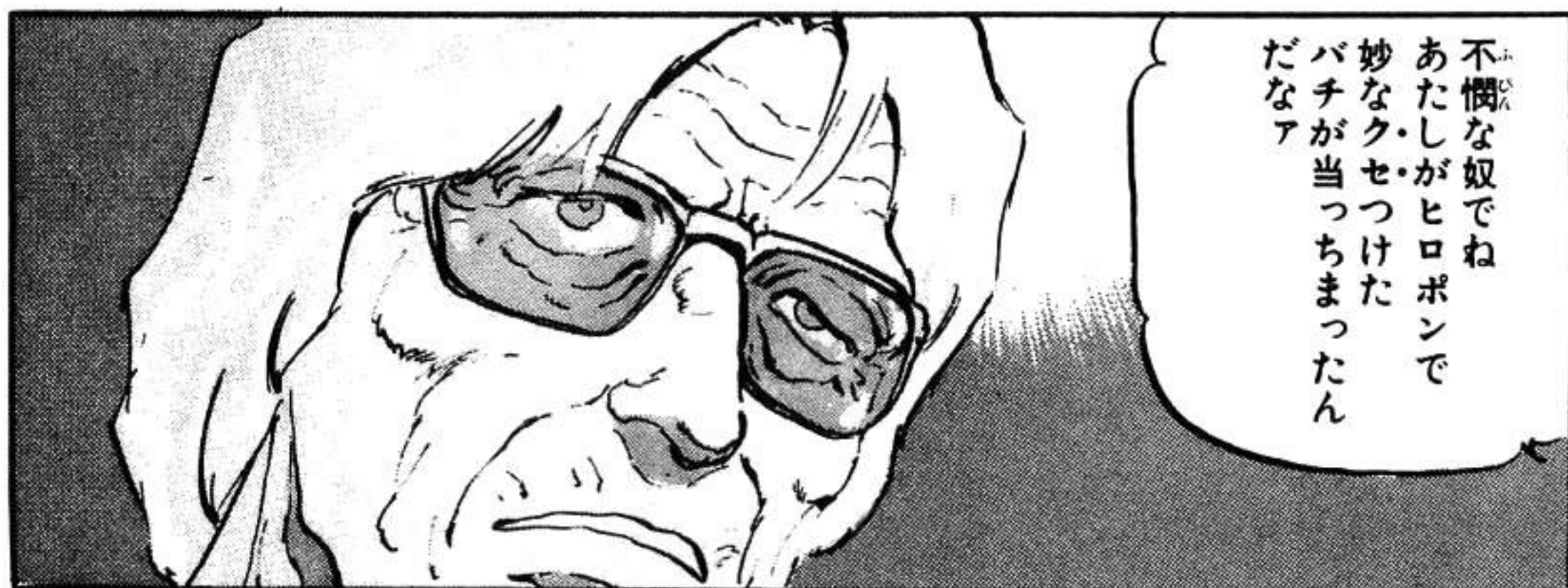
実は  
コレだったんだ



へへへ  
とうちゃんとうちゃん  
って呼ばせてたから  
皆んなあたしの子供だと  
思ってたらしいけど



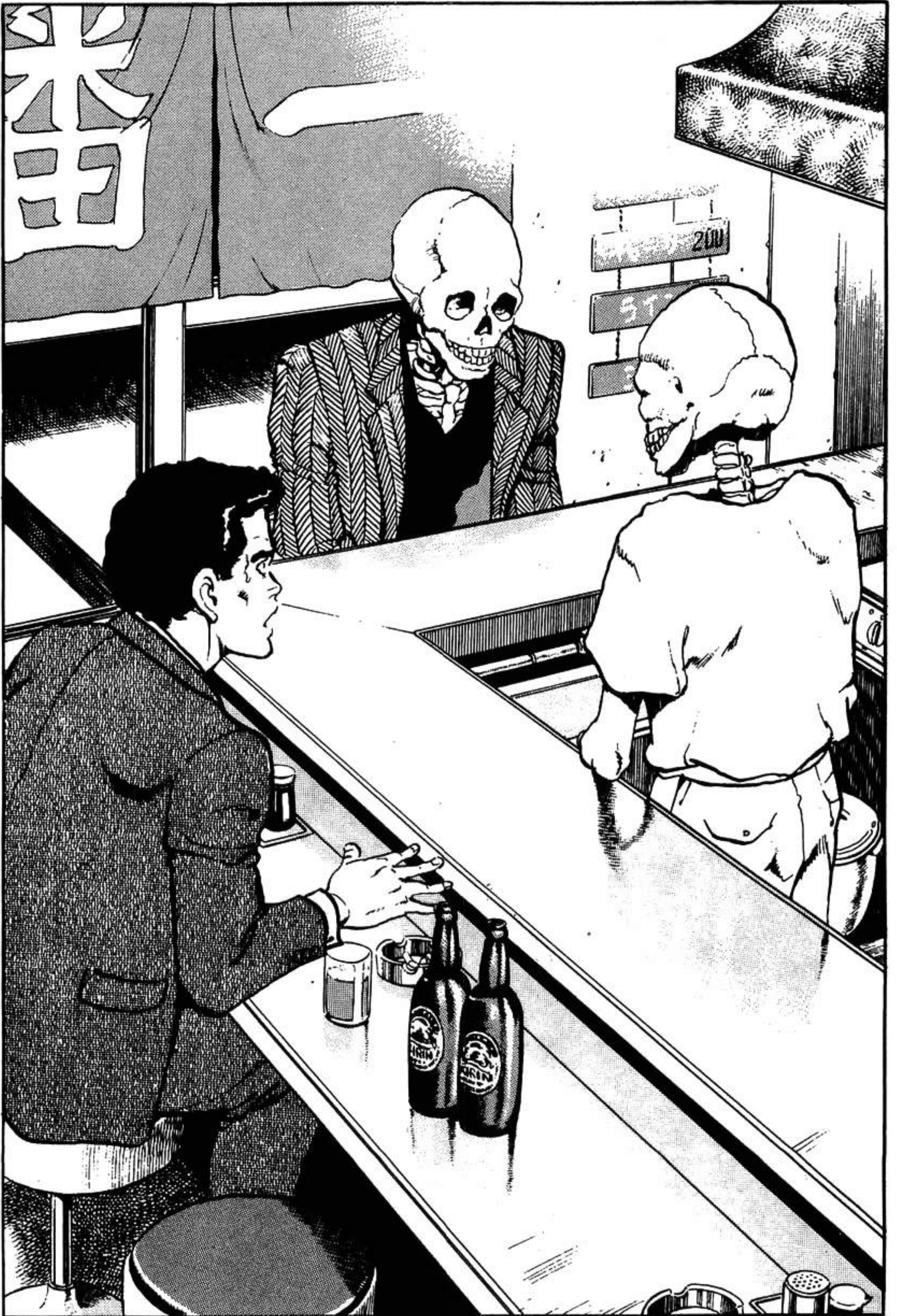
店たたんですぐに  
特攻帰りのグレン隊と  
駆け落ちしやがった  
なんでも  
九州の方で  
悪い病気にかかって  
おっ死んじまった  
らしい 20才前にさ



不憫な奴でね  
あたしがヒロポンで  
妙なクセつけた  
バチが当っちゃったん  
だなア

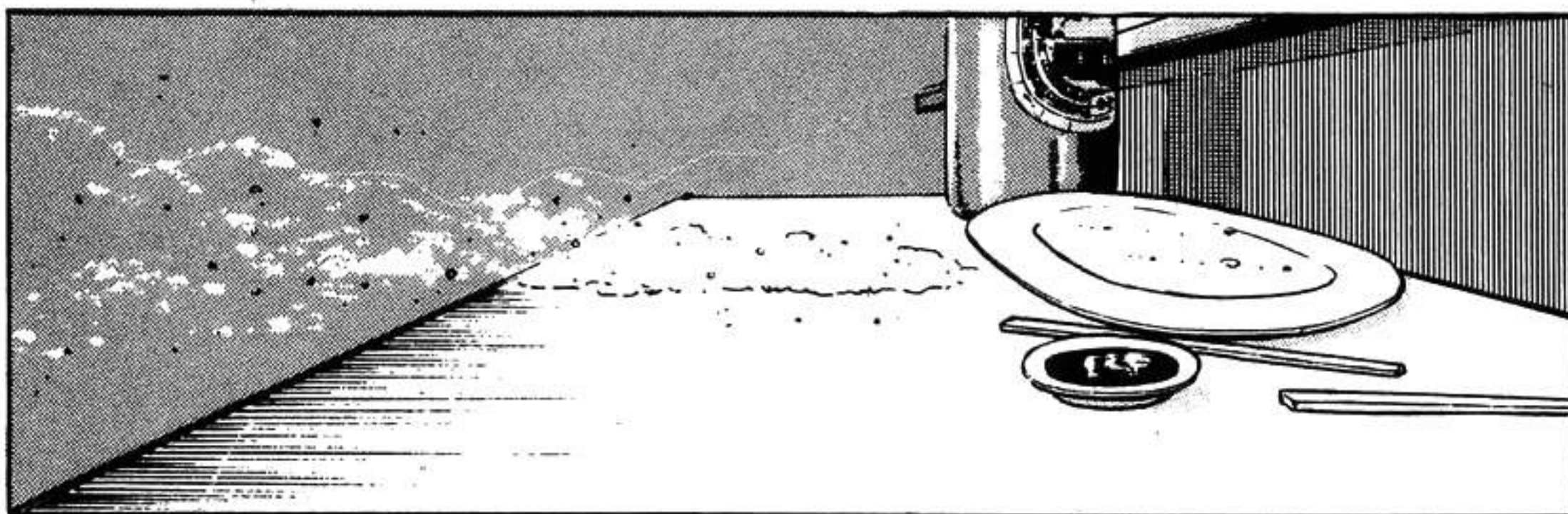
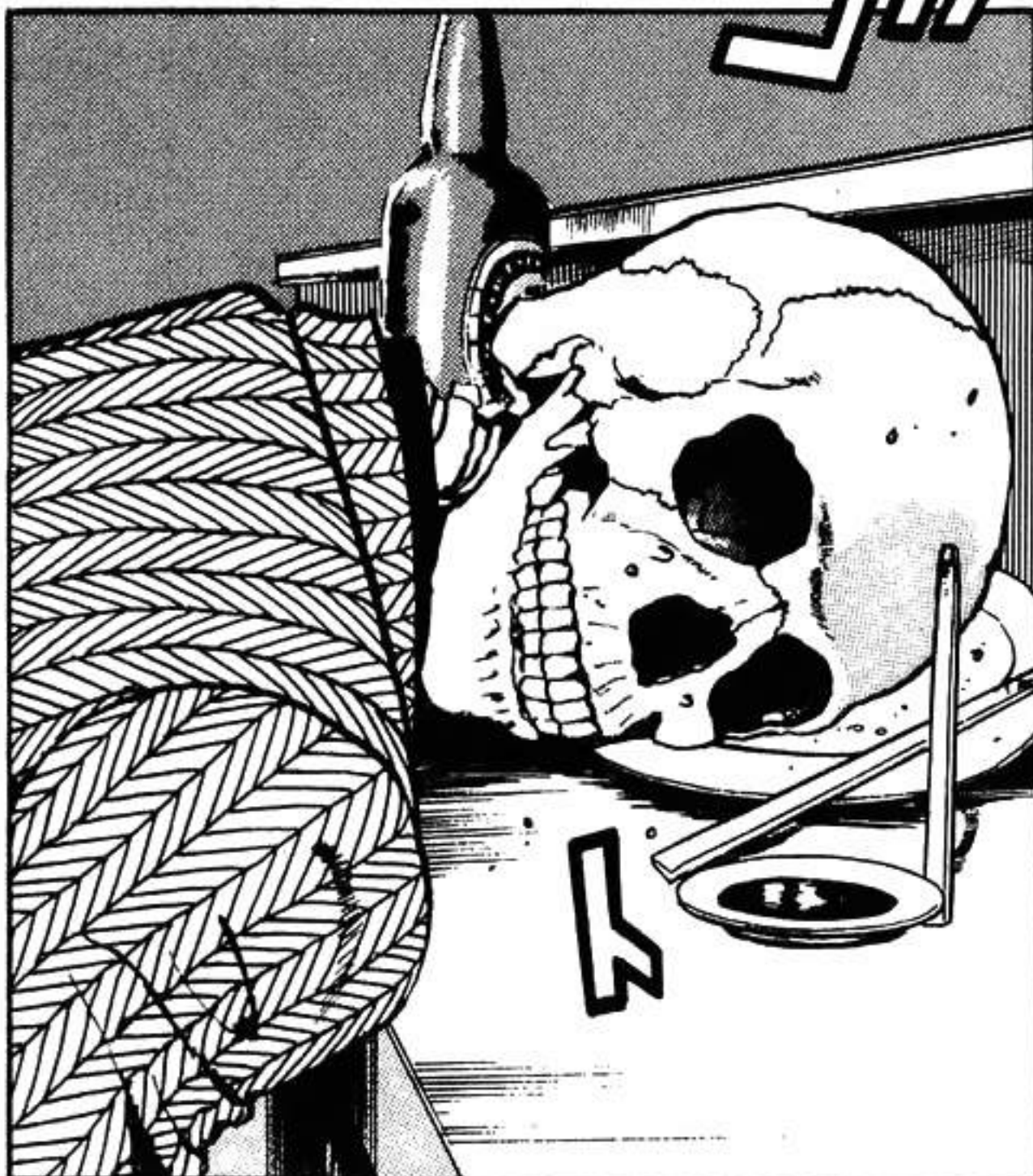
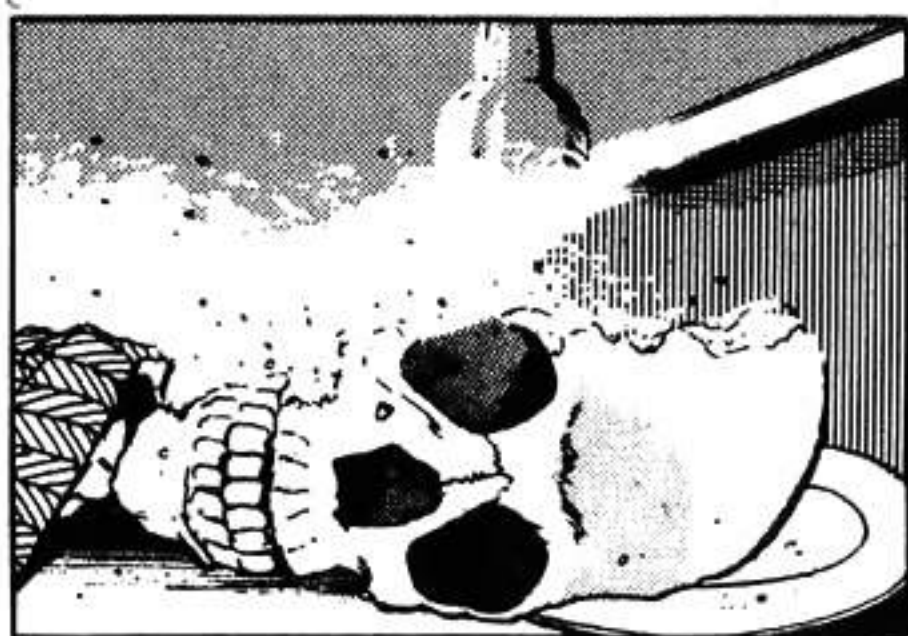
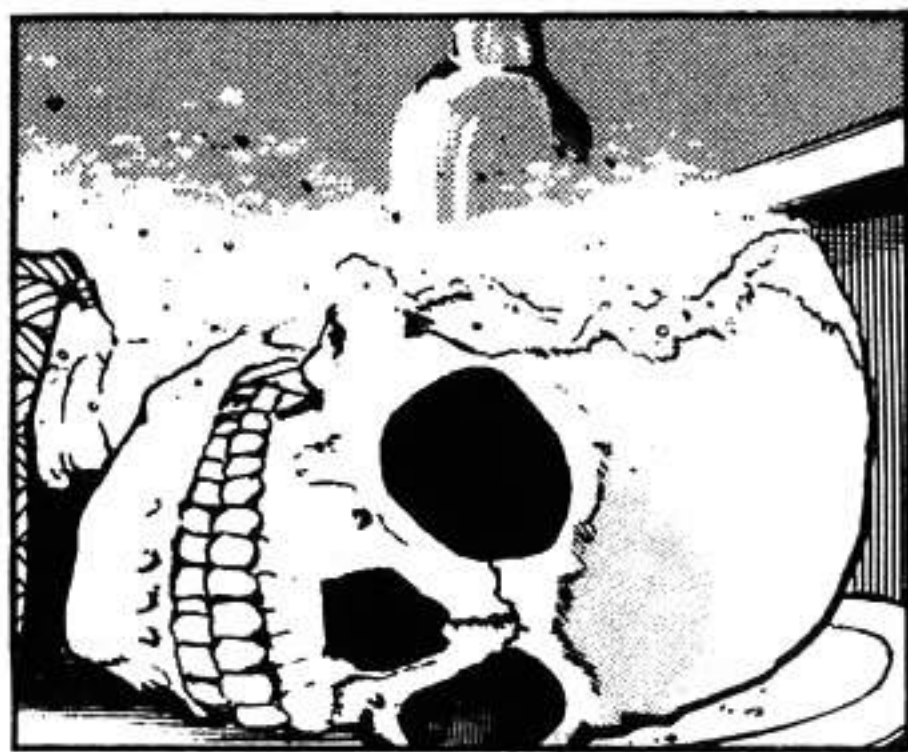




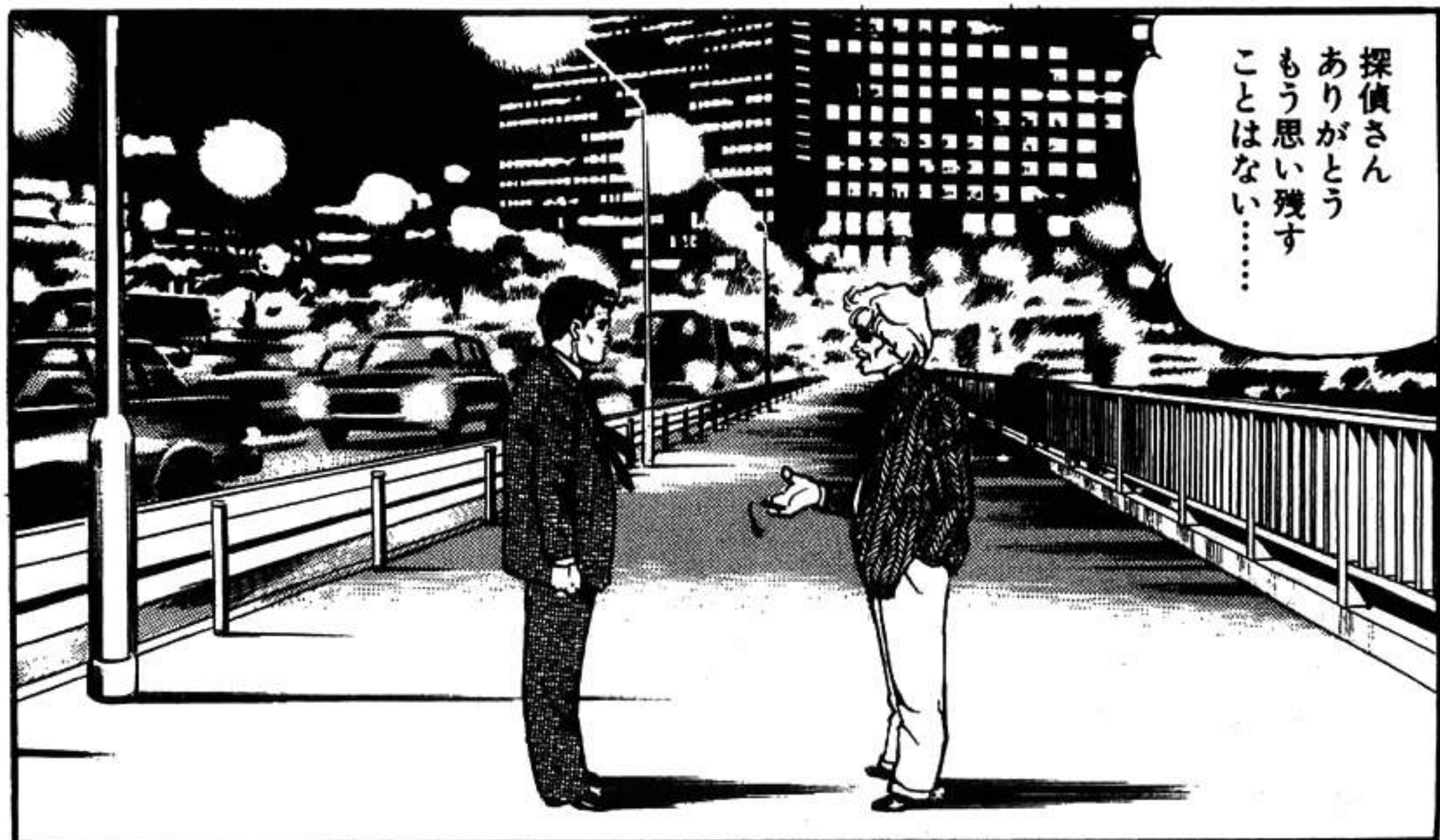
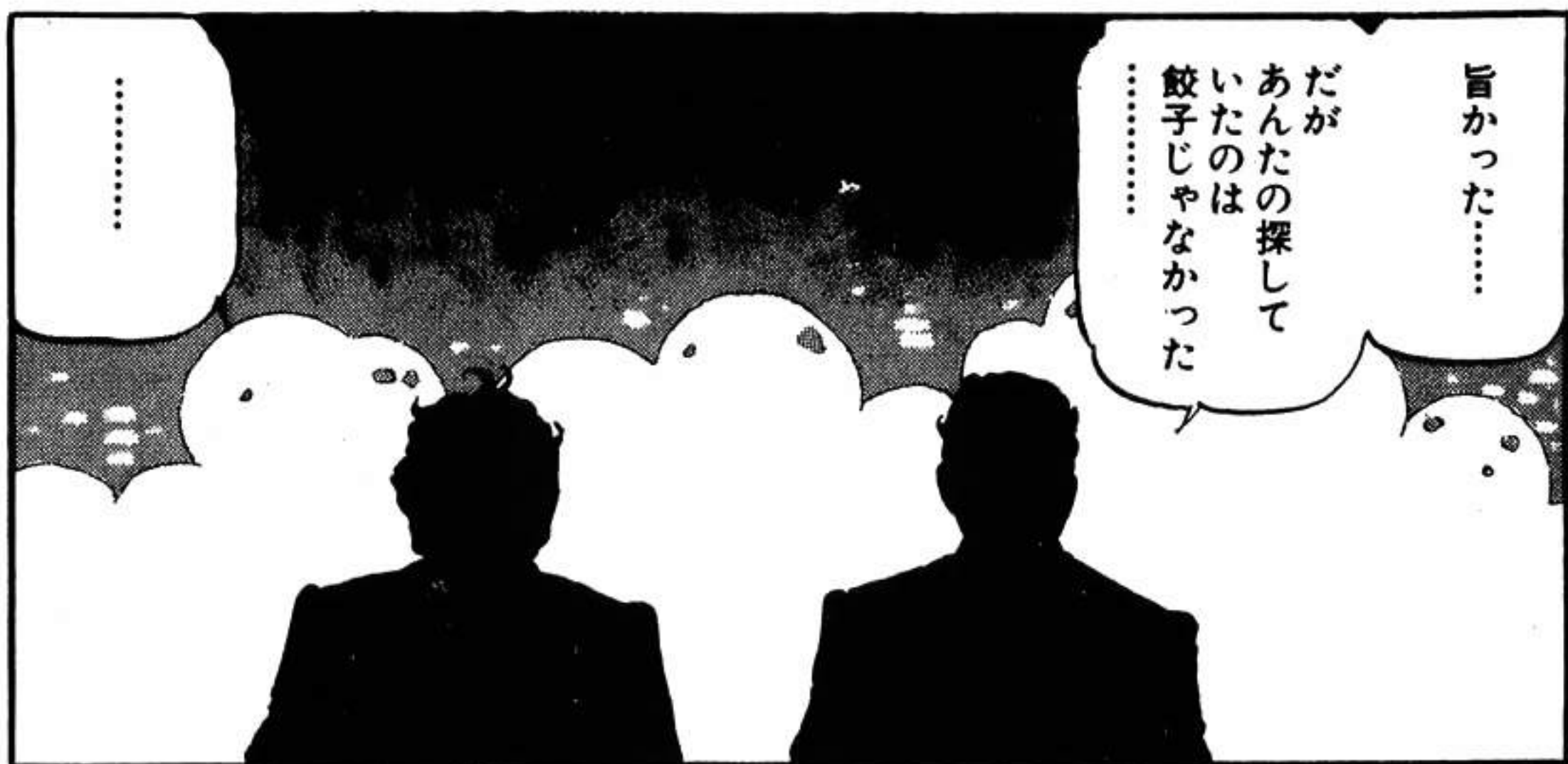




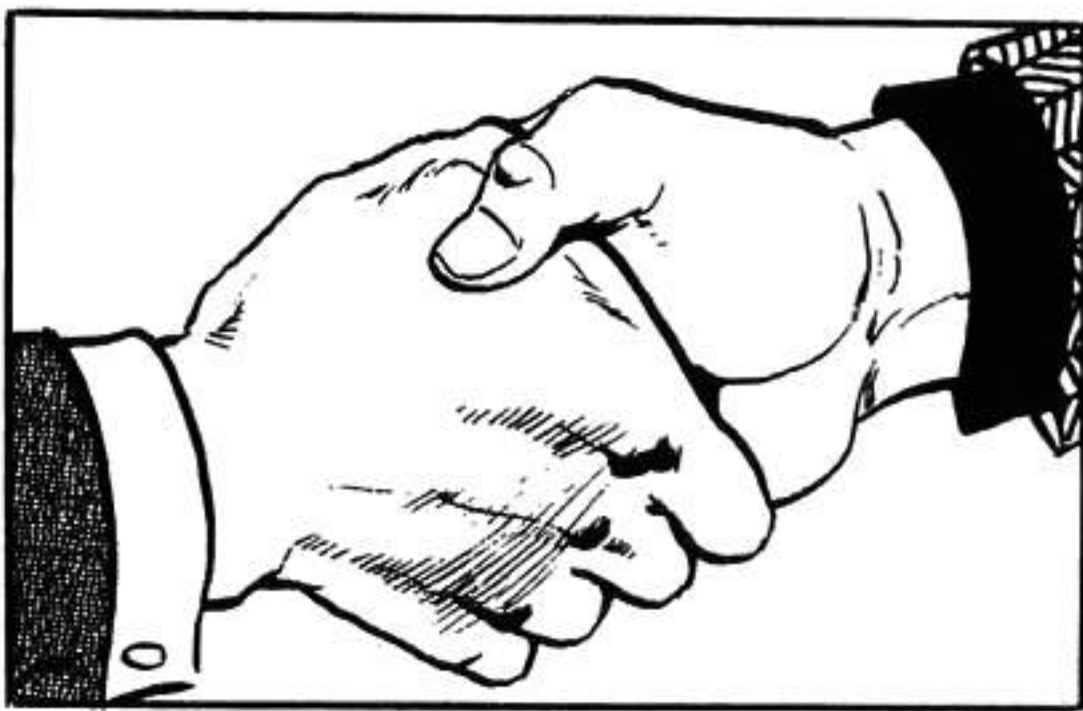
蜜の味《TASTE OF HONEY》











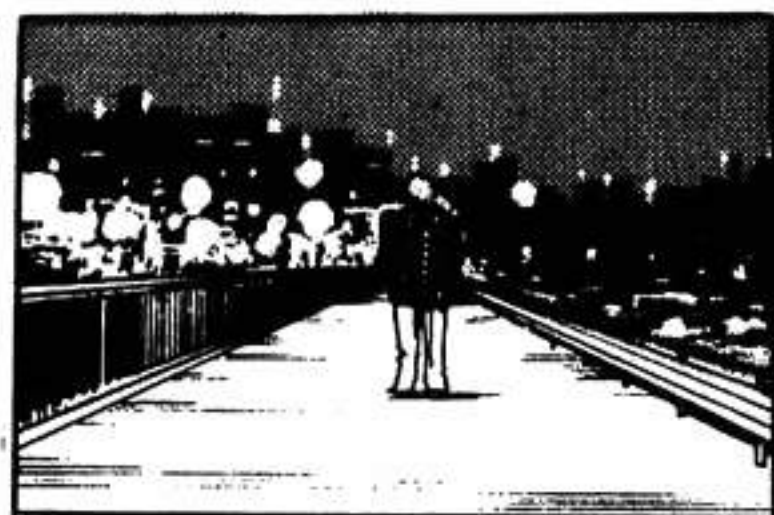




がんばれ  
よ  
ッ



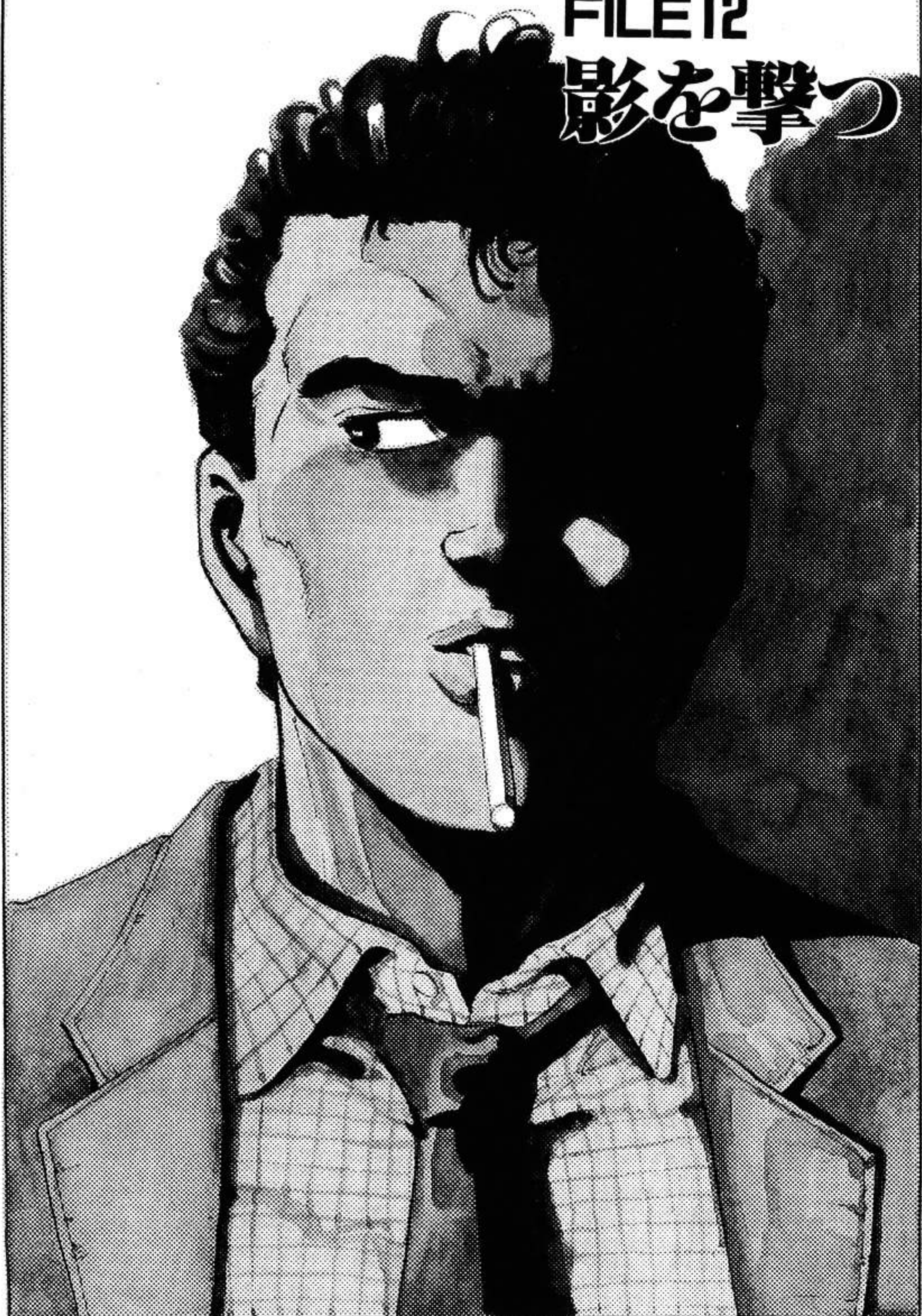
そうさ  
思い出こそが  
蜜の味



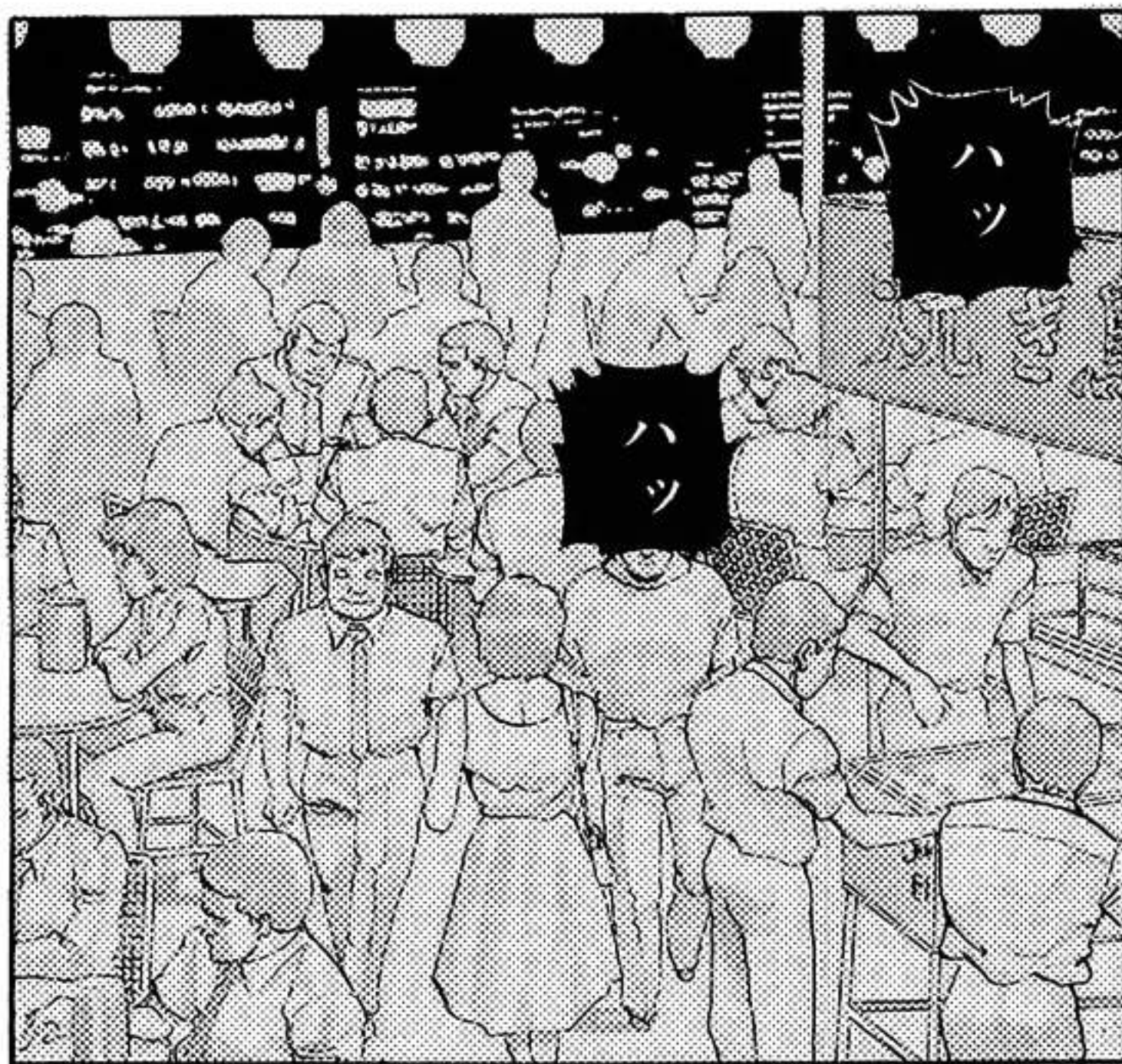
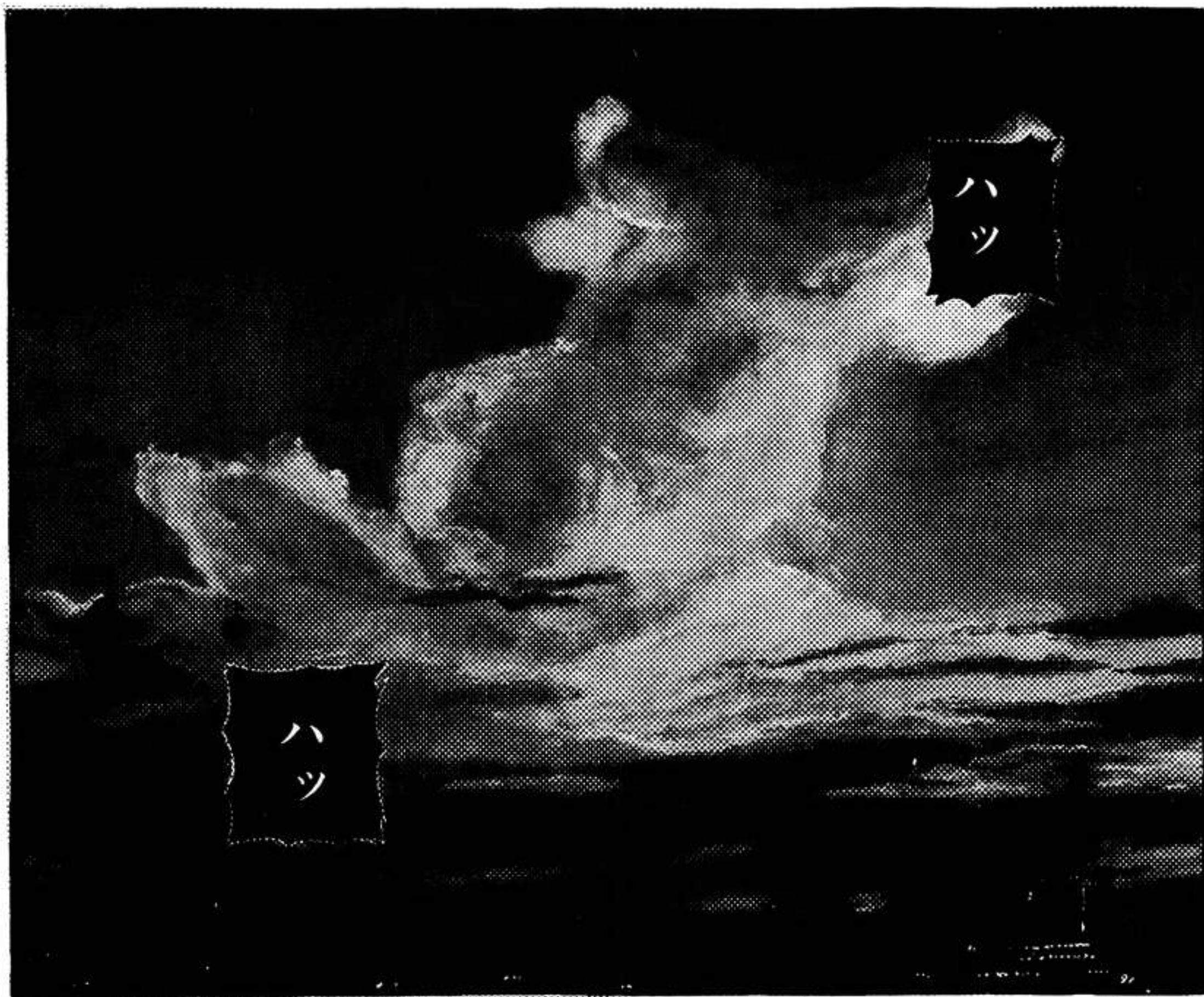


FILE12

影を撃つ

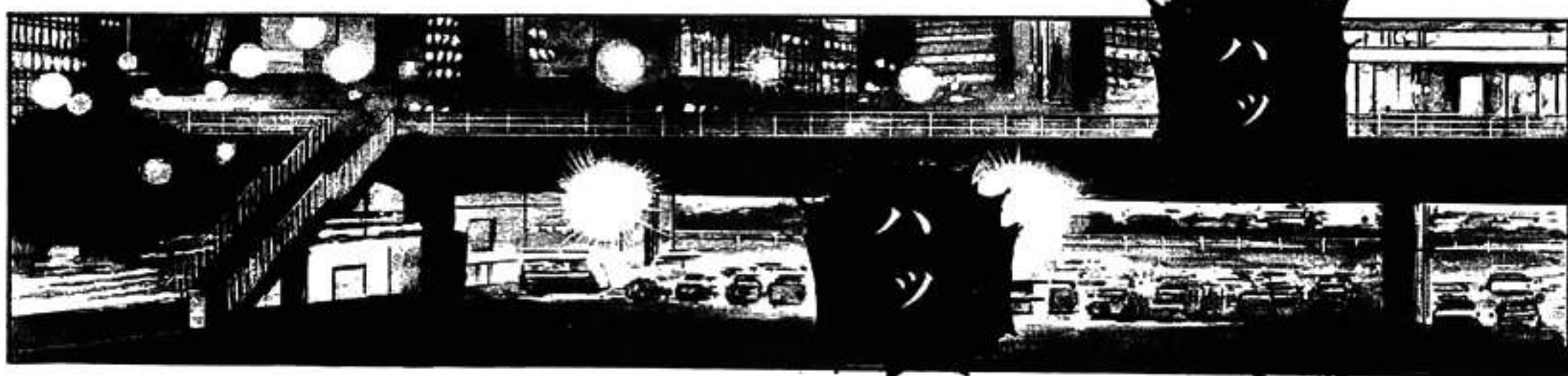
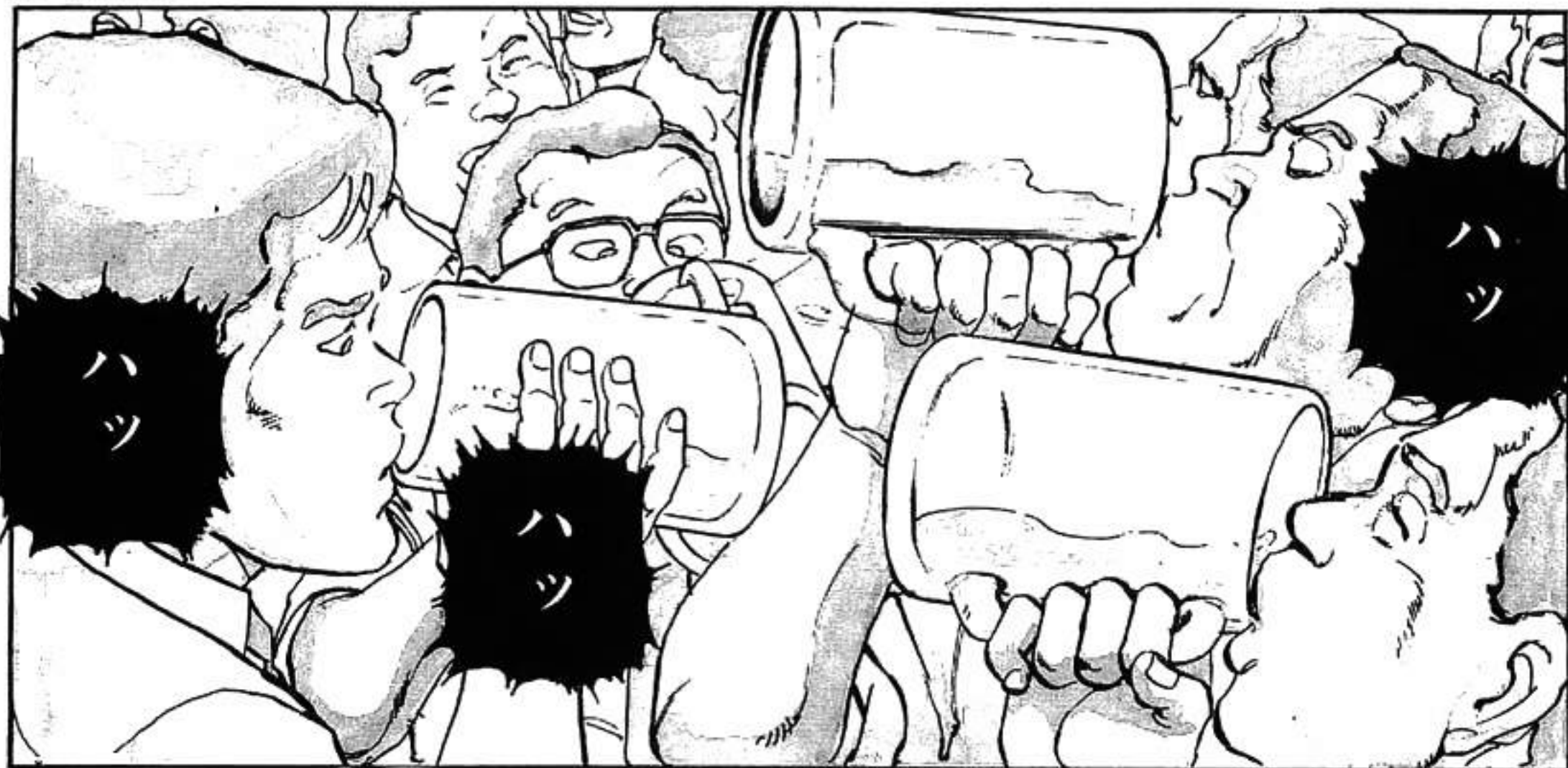




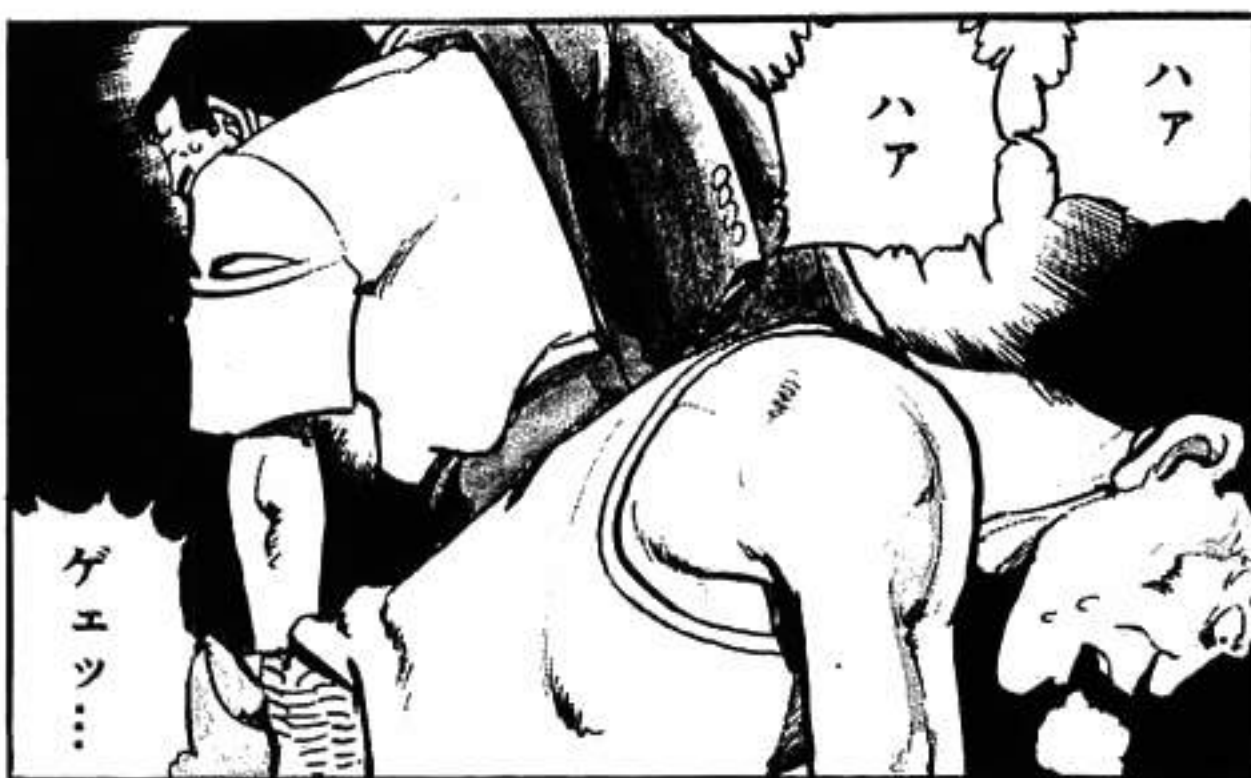
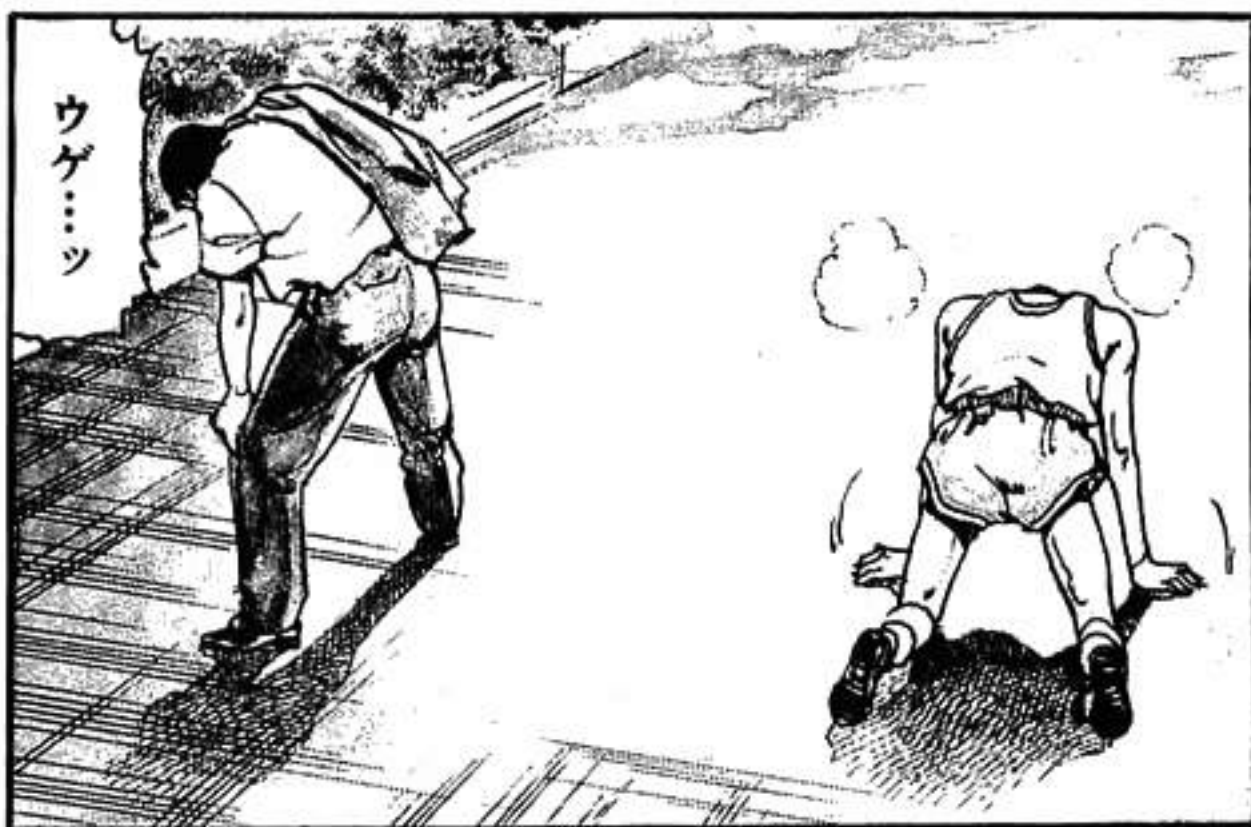




影を撃つ







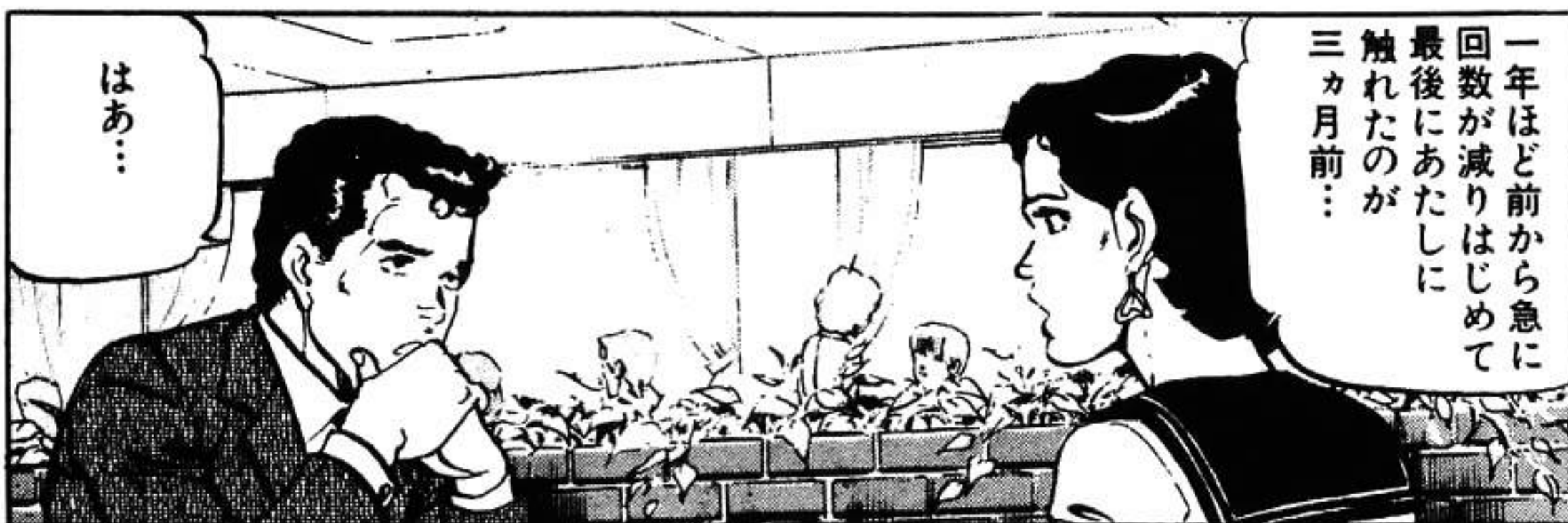




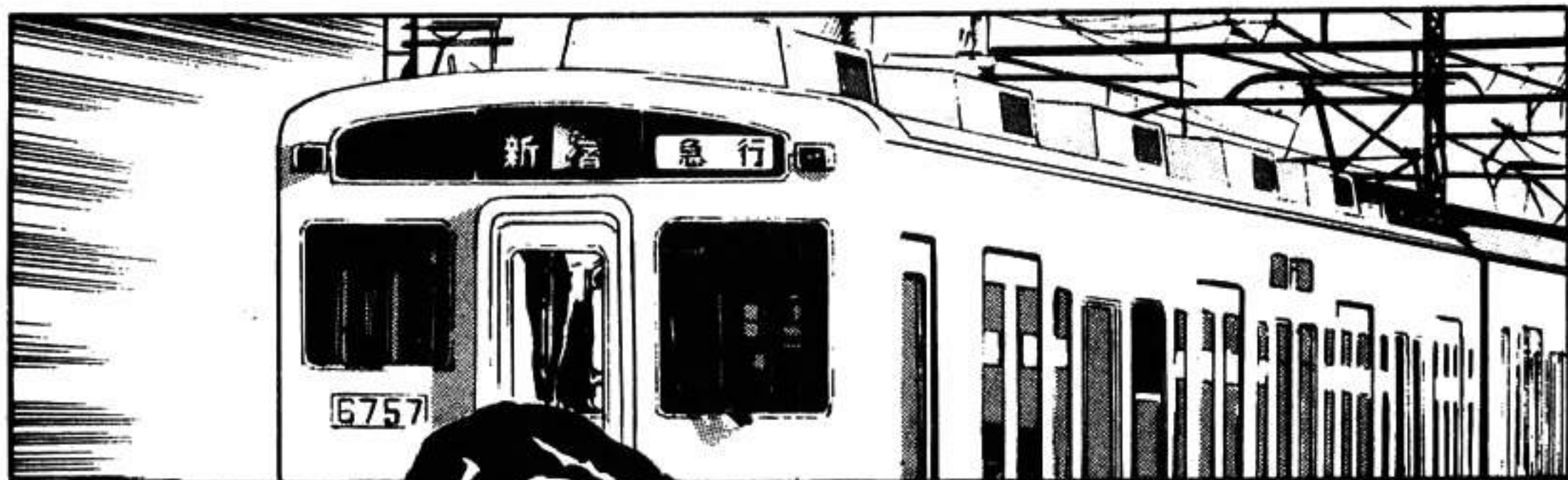




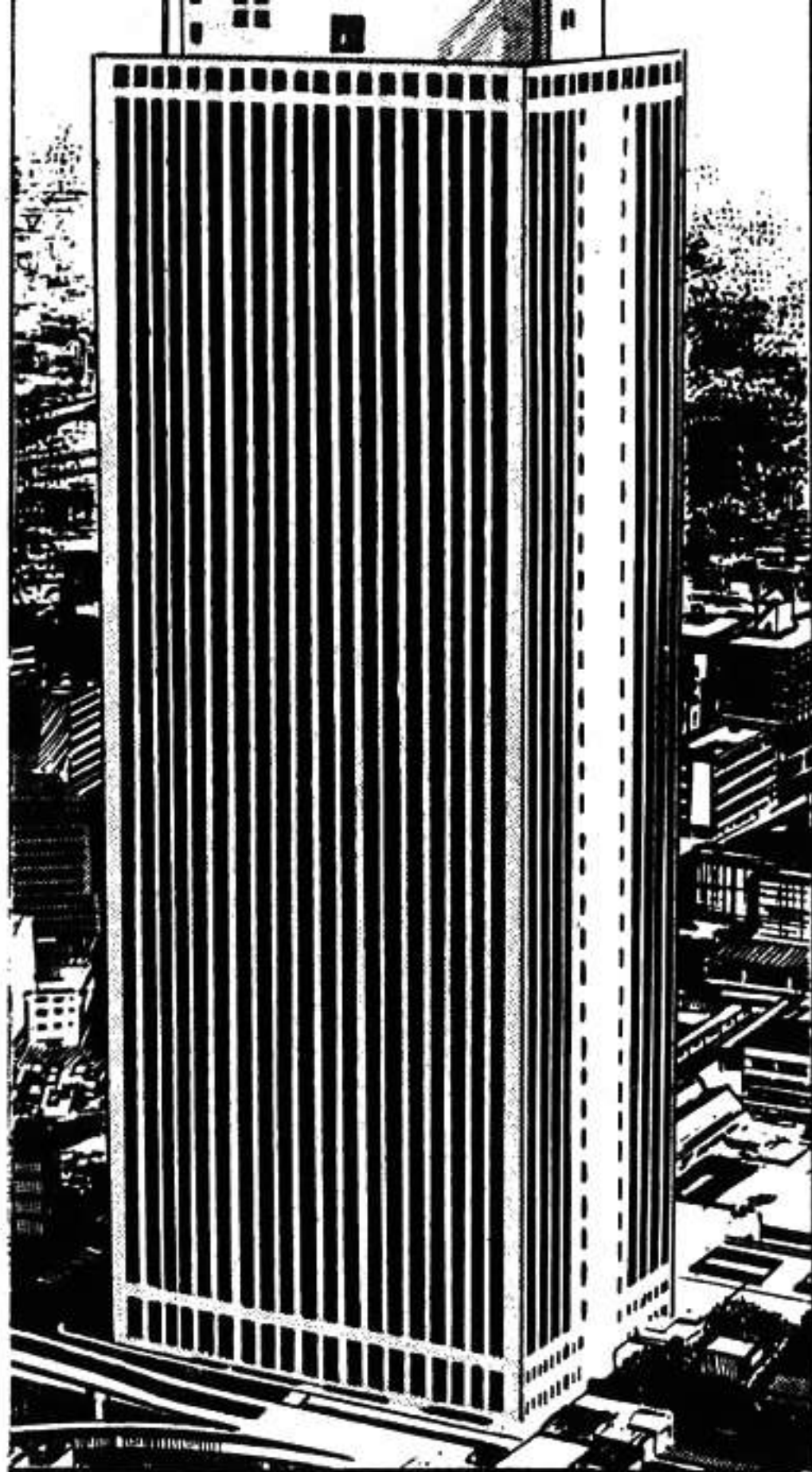








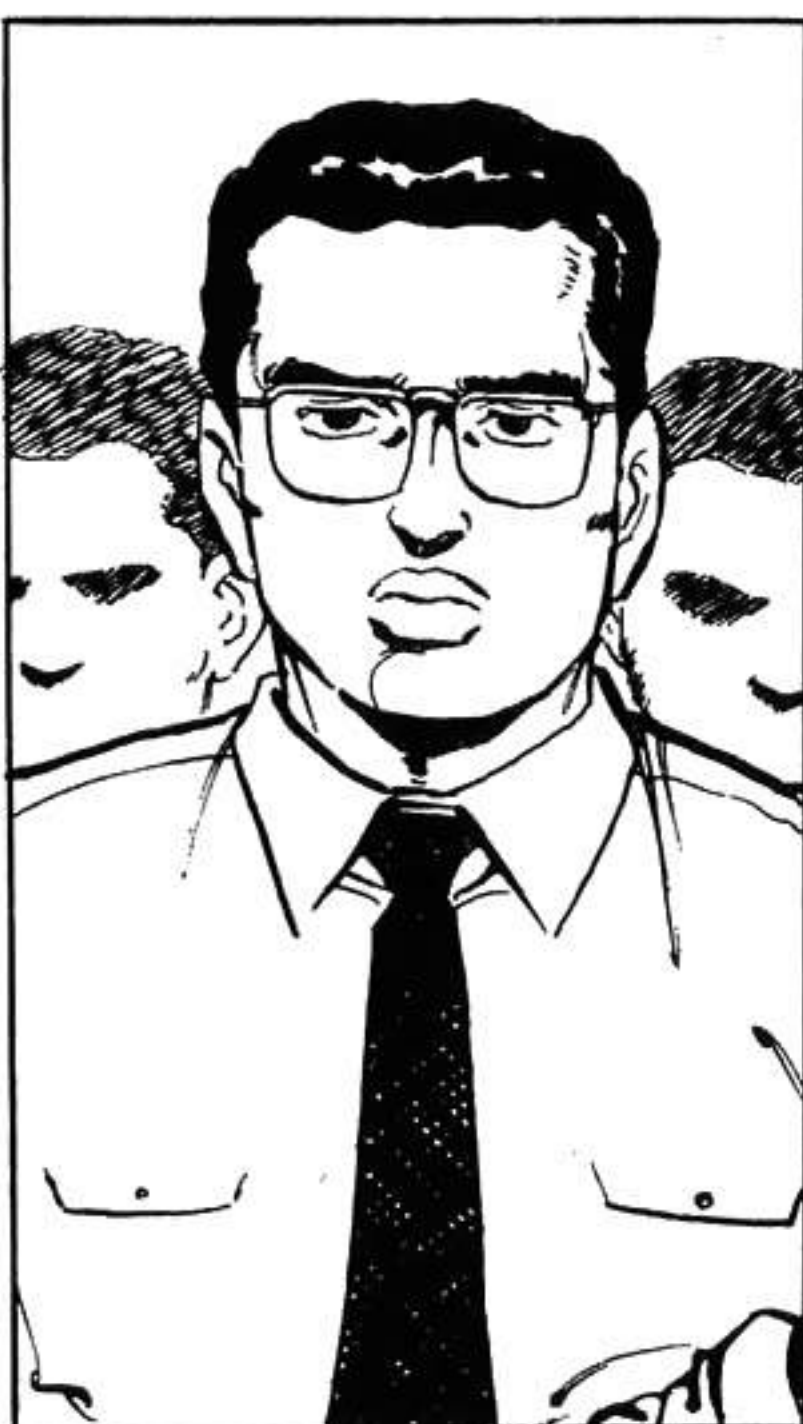
















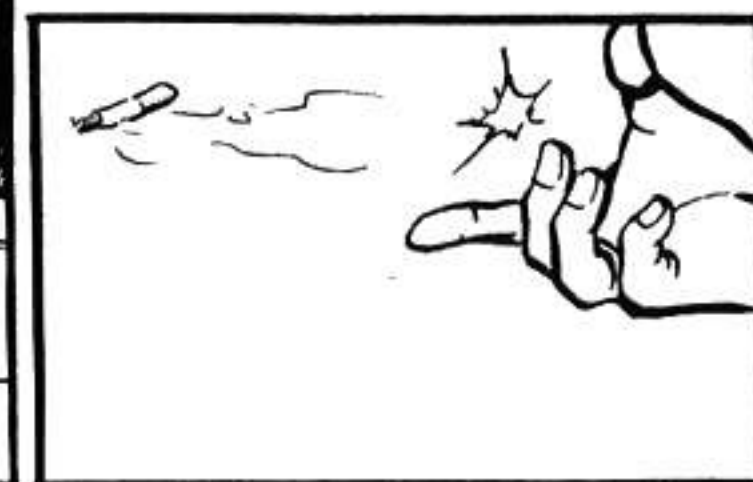








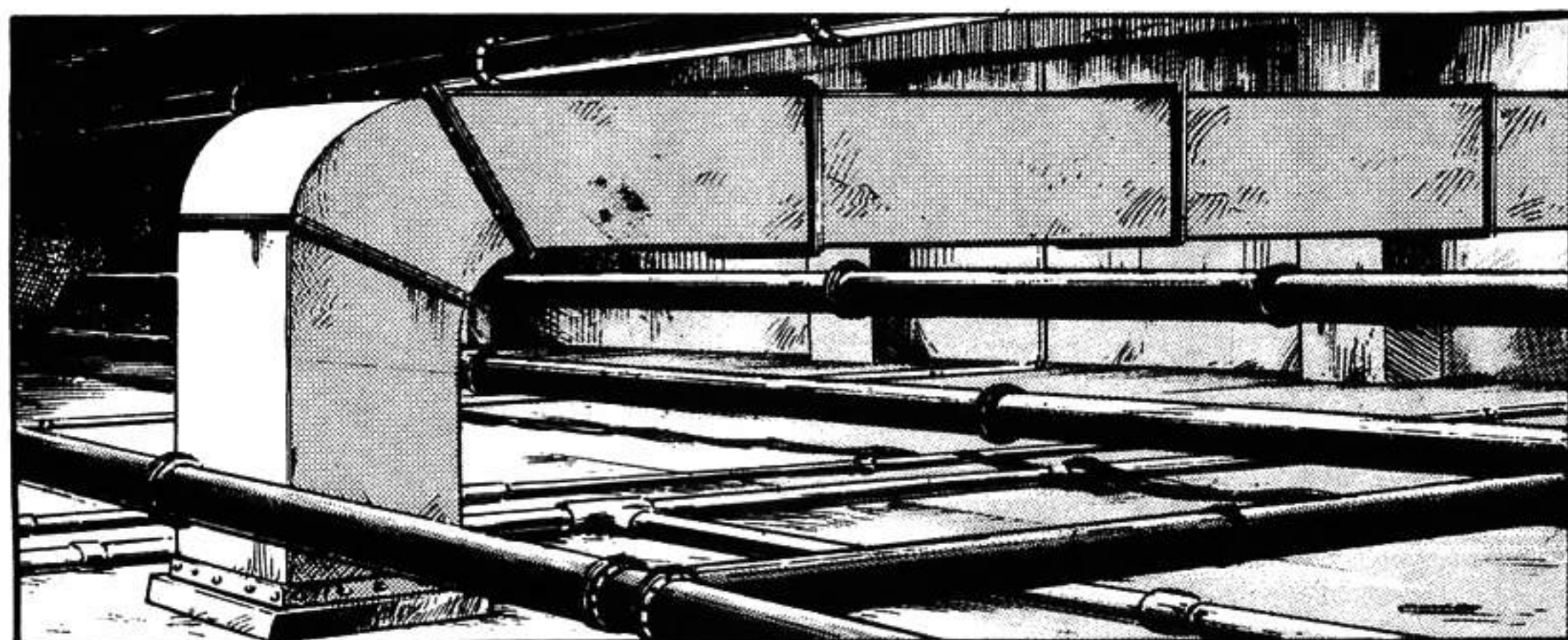


































影を撃つ











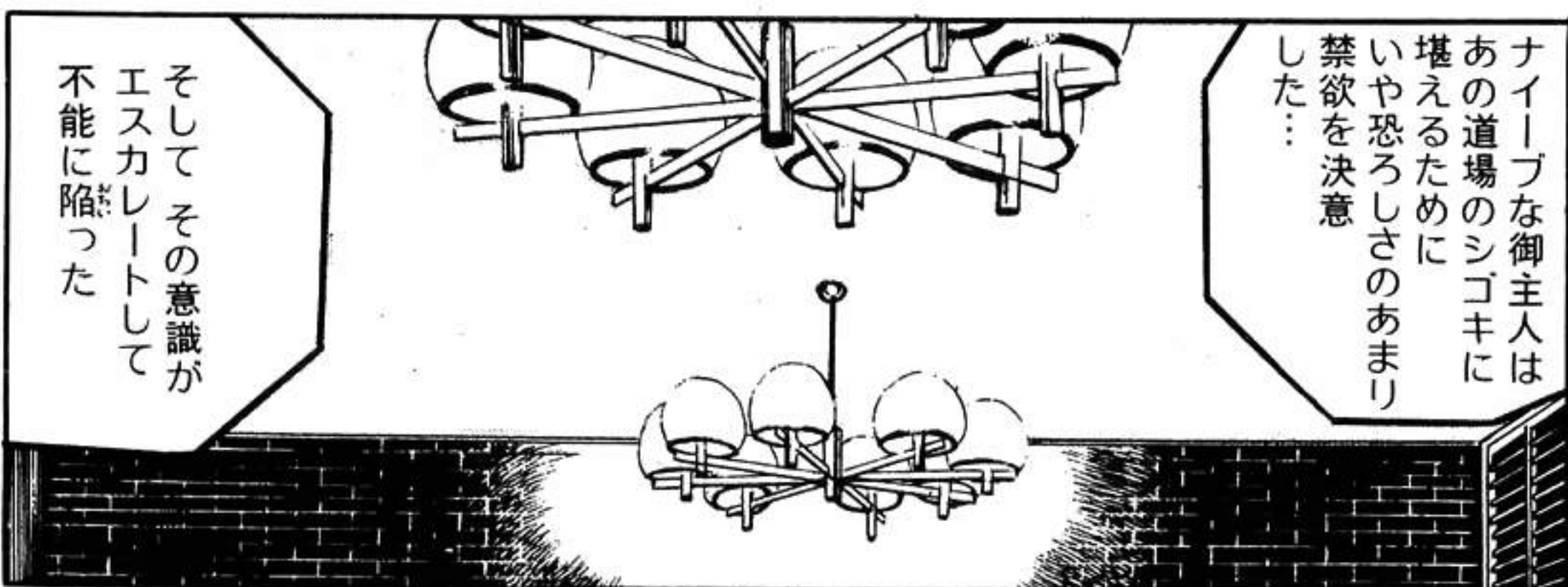




これは  
サービスです  
料金はいらない



あくまで  
推測の域を  
越えないが  
多分当って  
いると思う



ナイーブな御主人は  
あの道場のシゴキに  
堪えるために  
いや恐ろしさのあまり  
禁欲を決意  
した……

そしてその意識が  
エスカレートして  
不能に陥った



悪いけど  
ワタシにはこれ以上  
のことは出来ない

話し合うこと  
です……







84年6月7日  
後楽園ホールにおける  
ジャッカル丸山の敗戦  
はこの時代の比喩で  
あった

もはやオレの美意識  
は勝目のないことが  
ハッキリした

シャドーボクシングは  
オレの日課だ  
ハードにルーズにオレは  
影を撃つ!!

来たるべきケンカ相手の  
保険の効かぬ前歯を  
一撃でへし折るために

▲影を撃つ▼完



FILE 13

# 時を駆ける女たち

















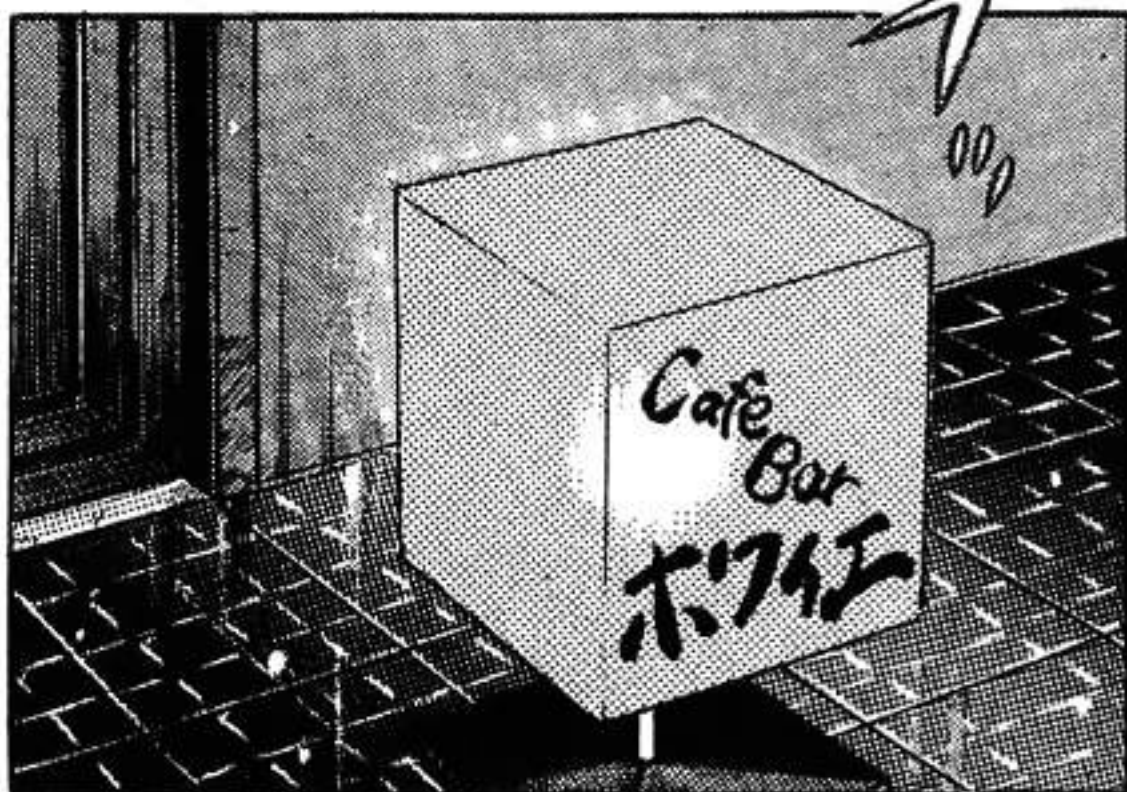








時を駆ける女たち





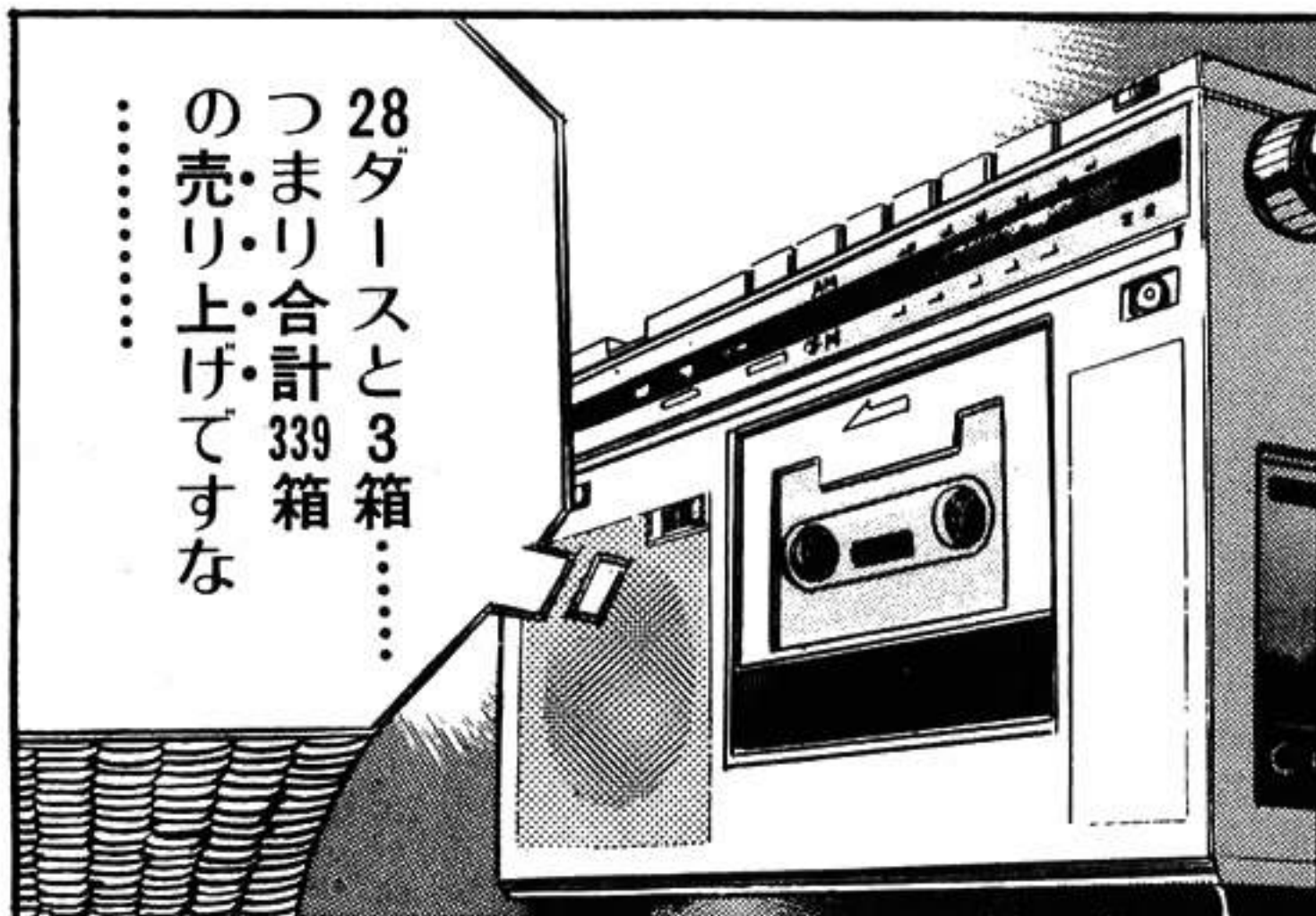
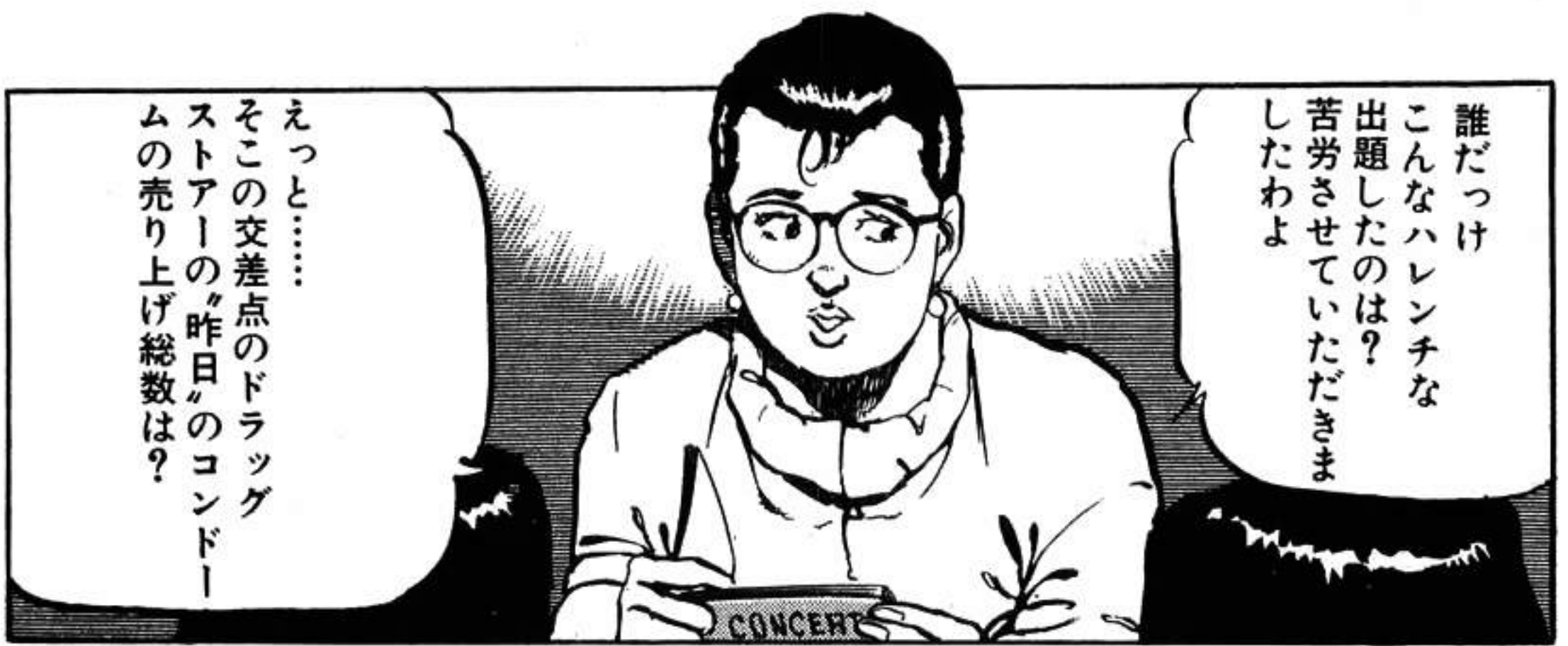




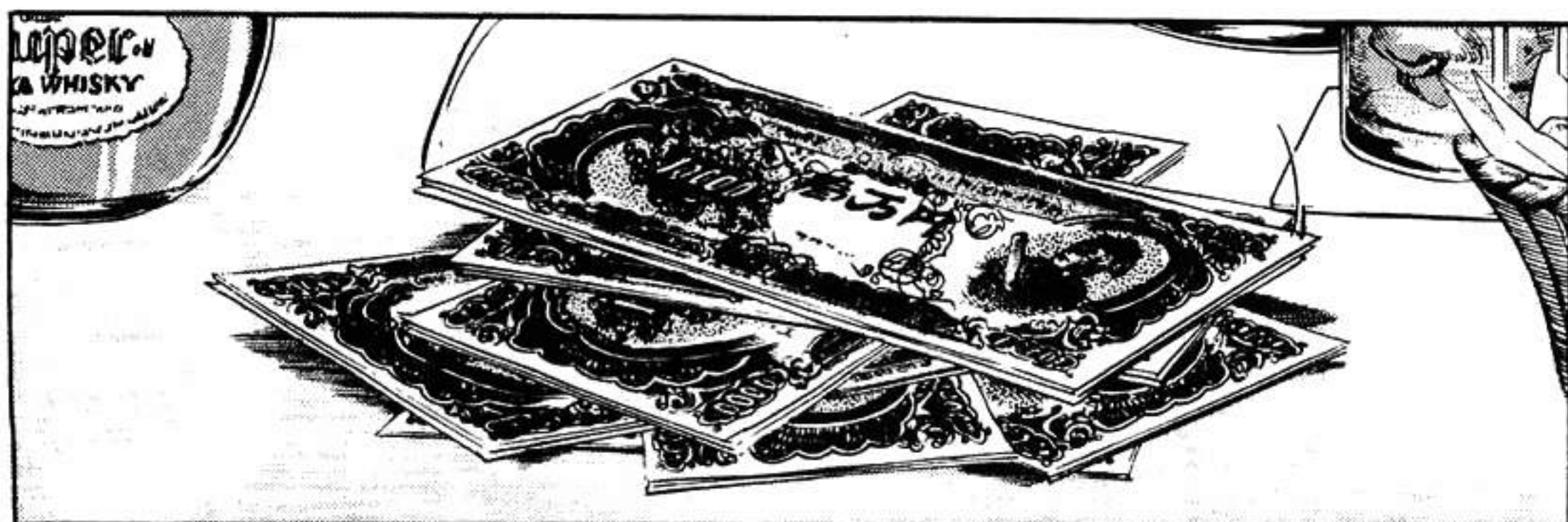
時を駆ける女たち















サイコロ：ポーカー：と  
即物的な賭けに飽きた  
女たちが熱中しはじめたの  
はナンセンスなクイズ形式  
の：数当てゲームだった







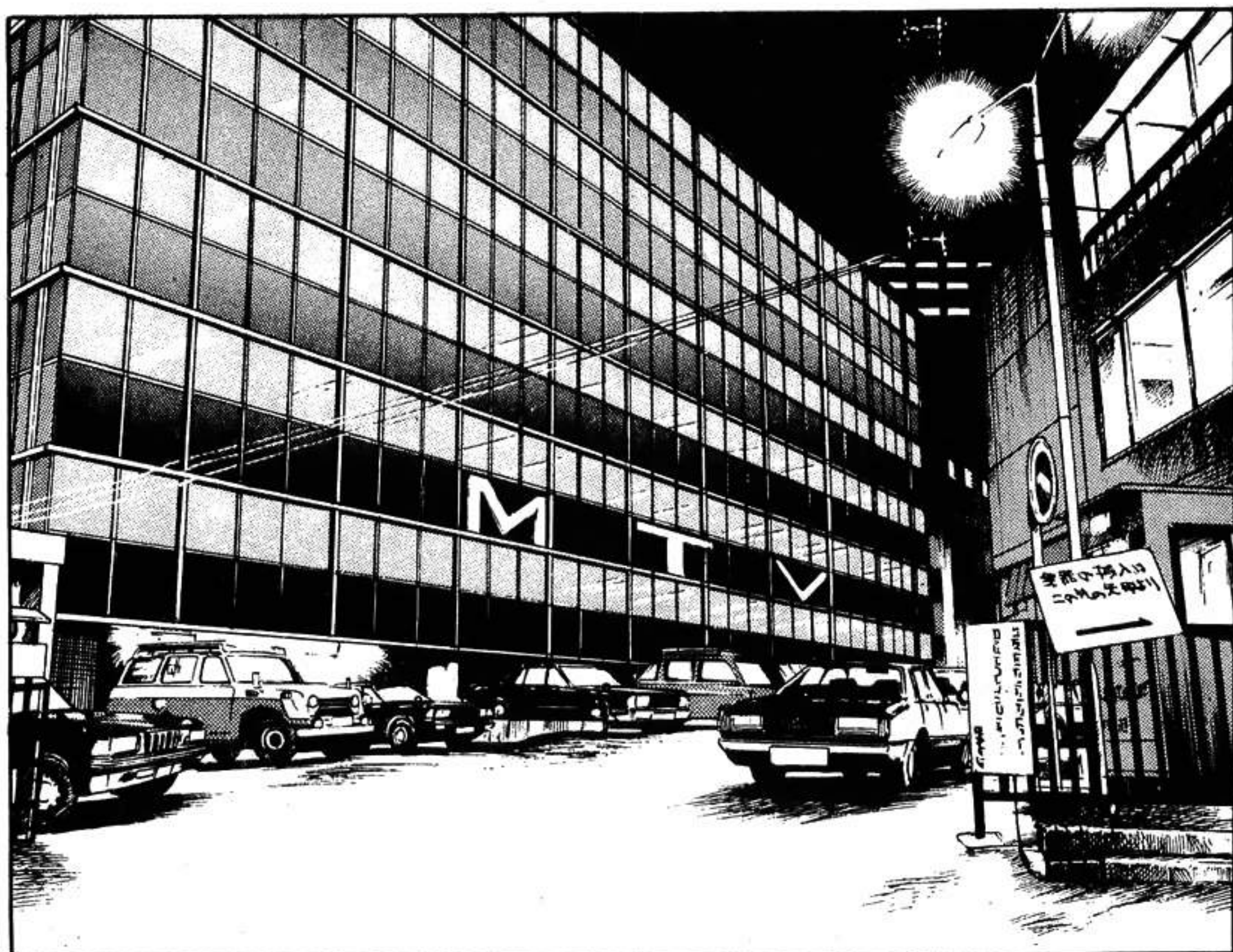




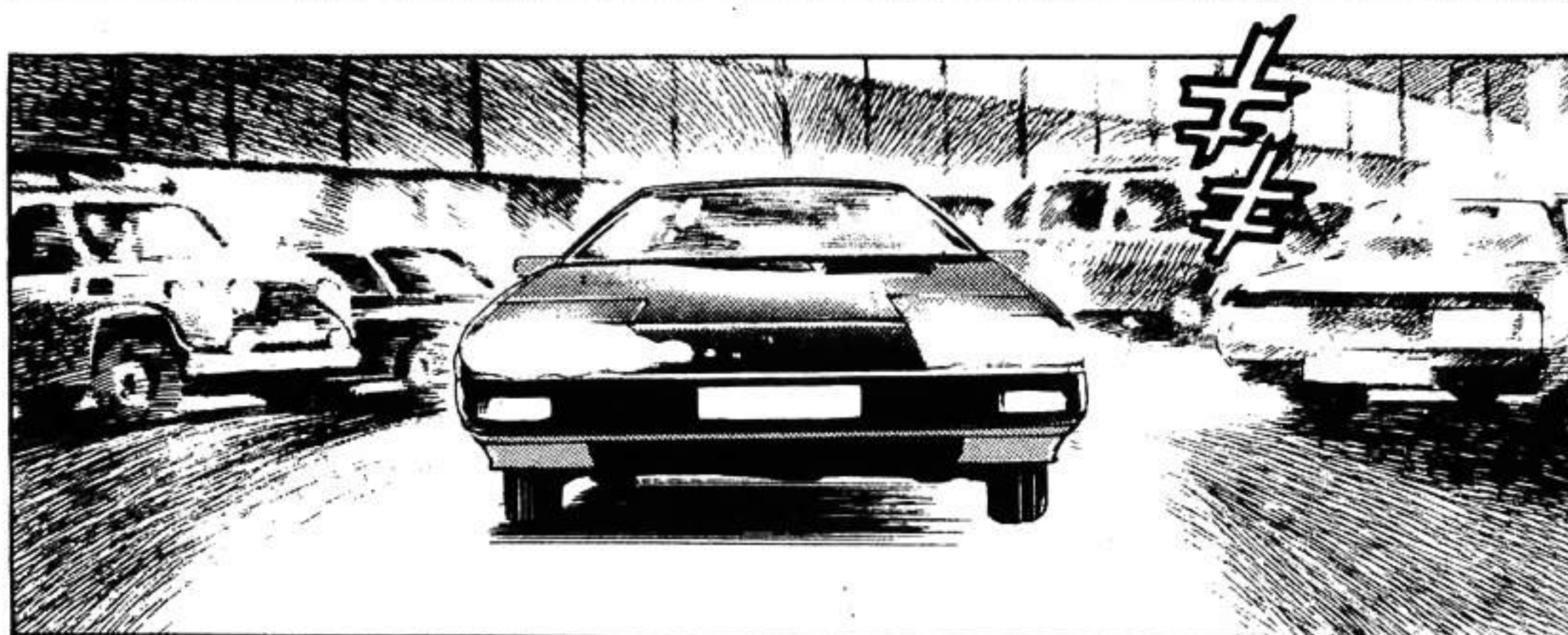




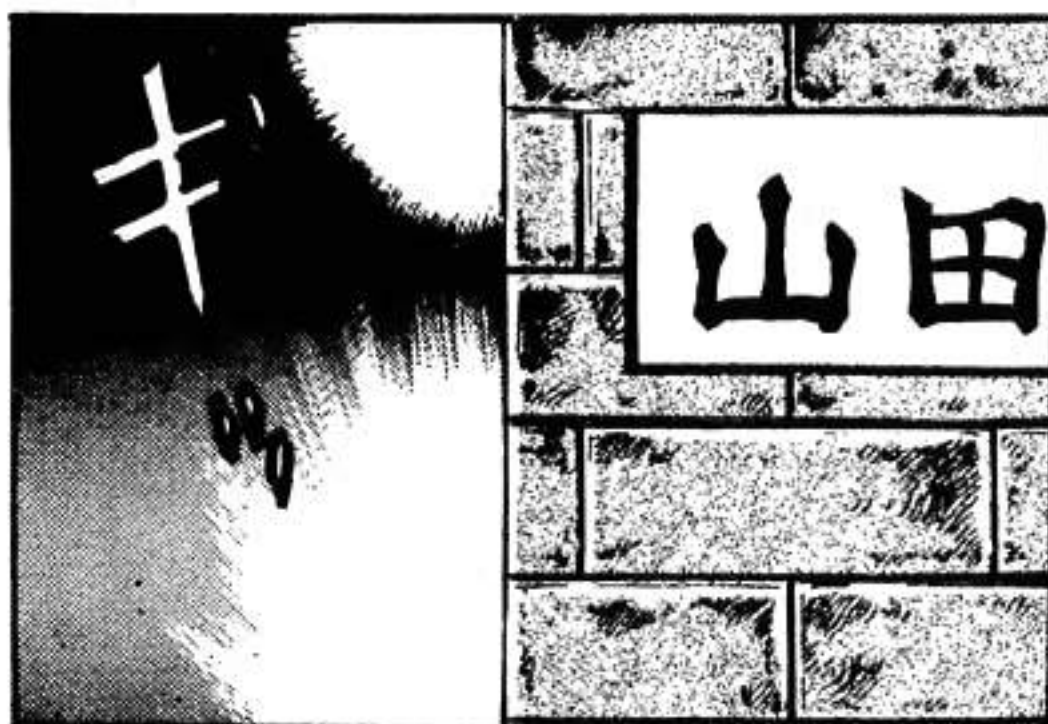




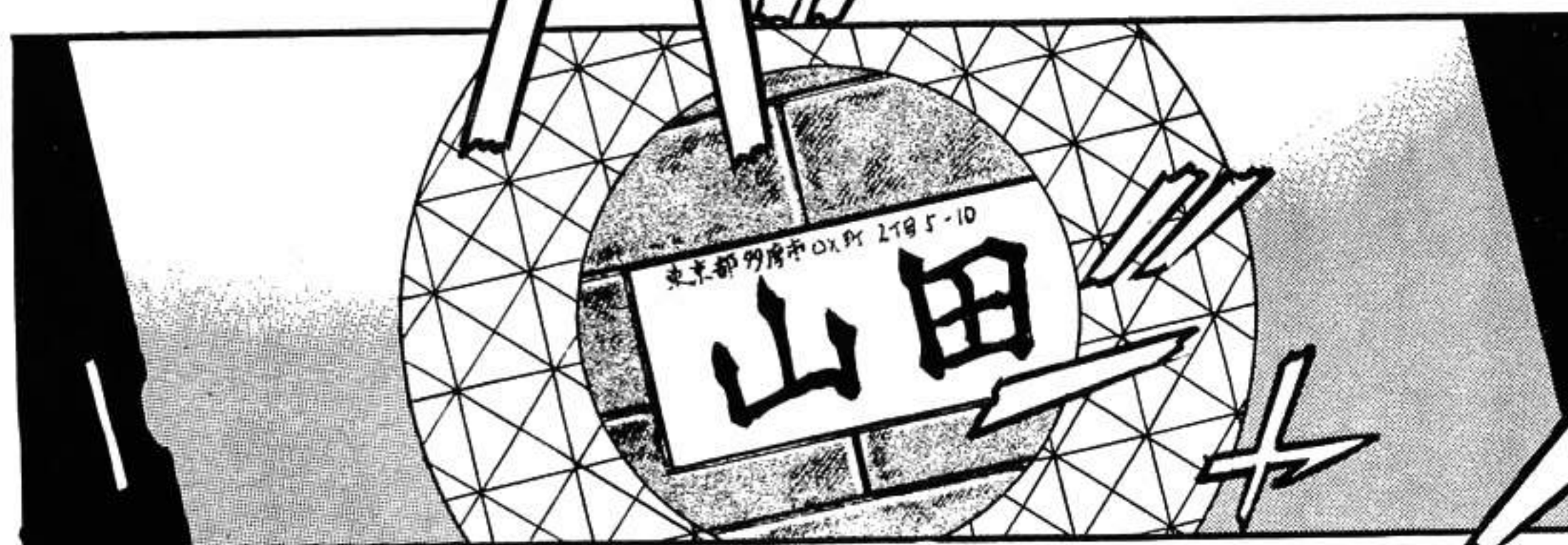
















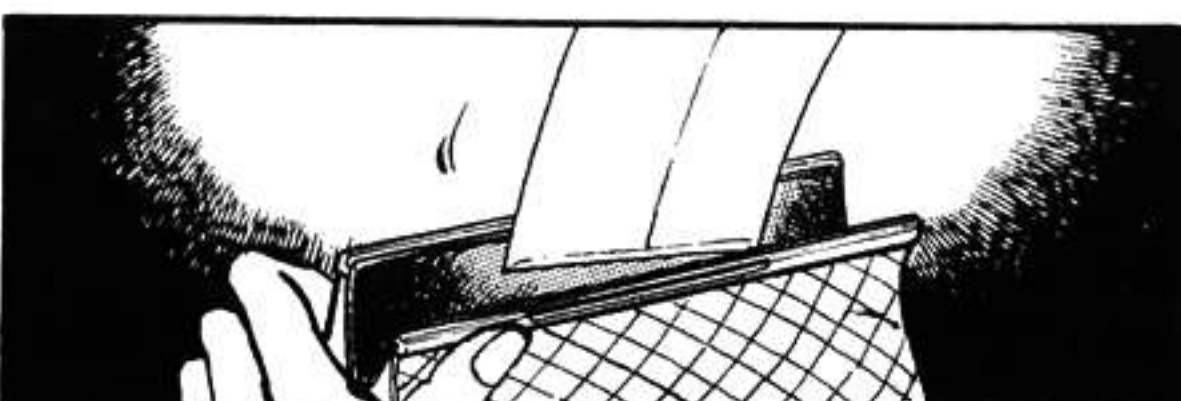




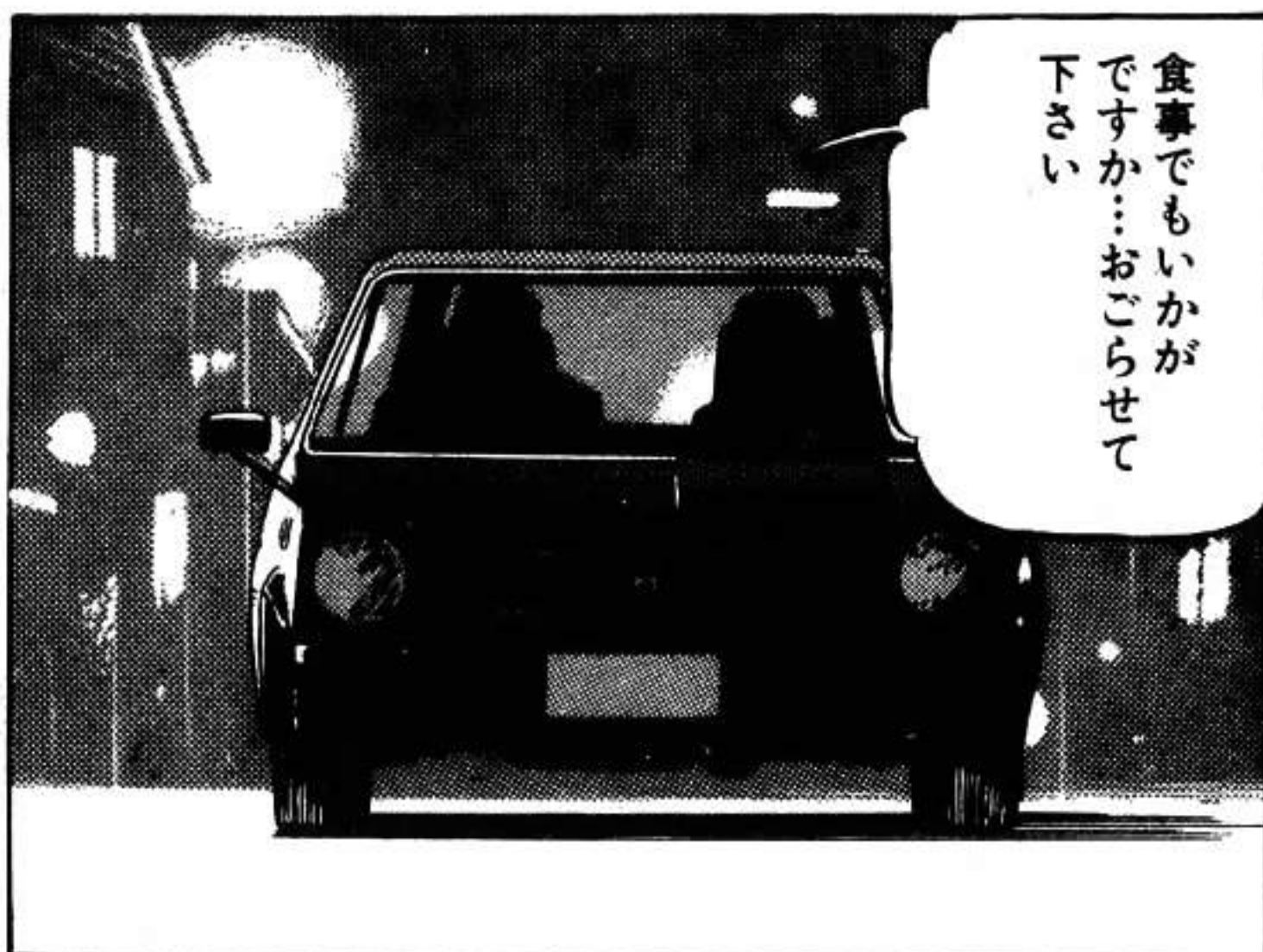




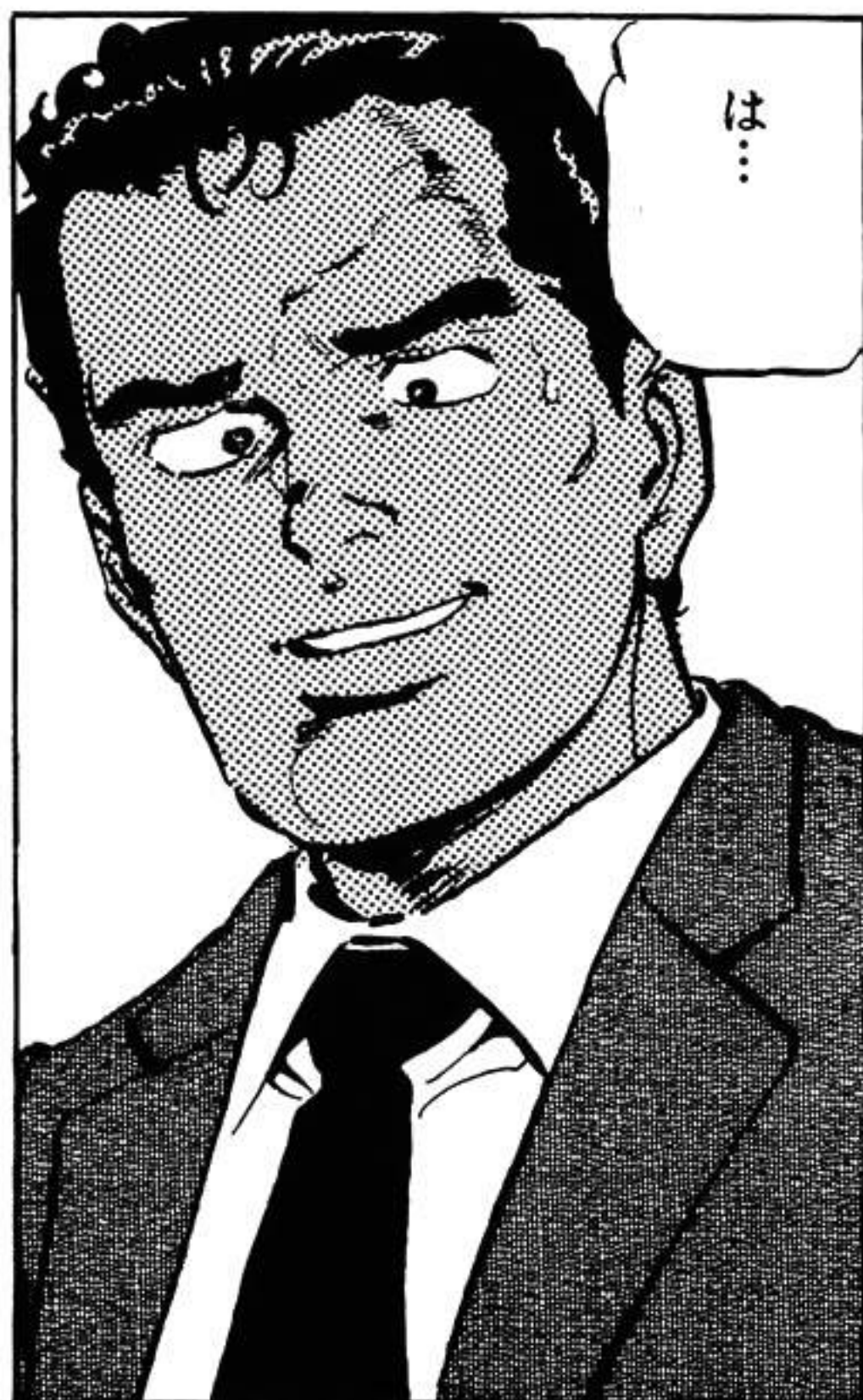




















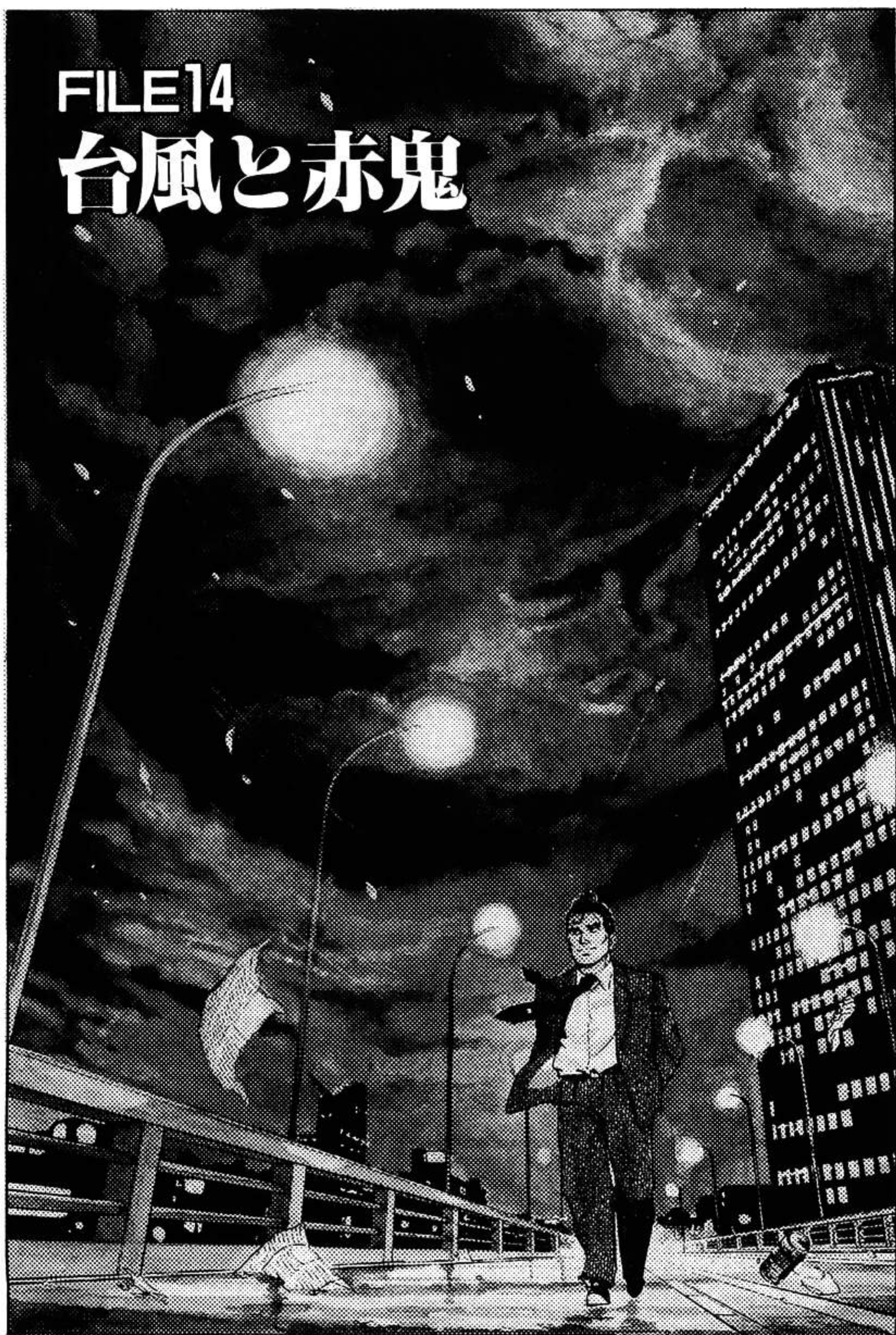




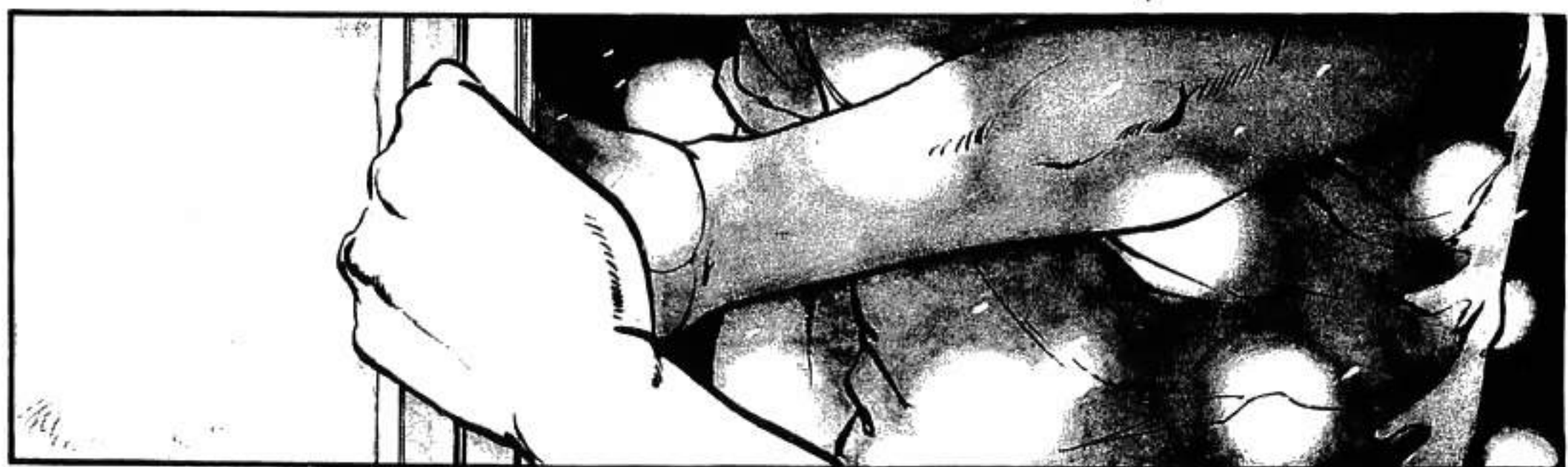
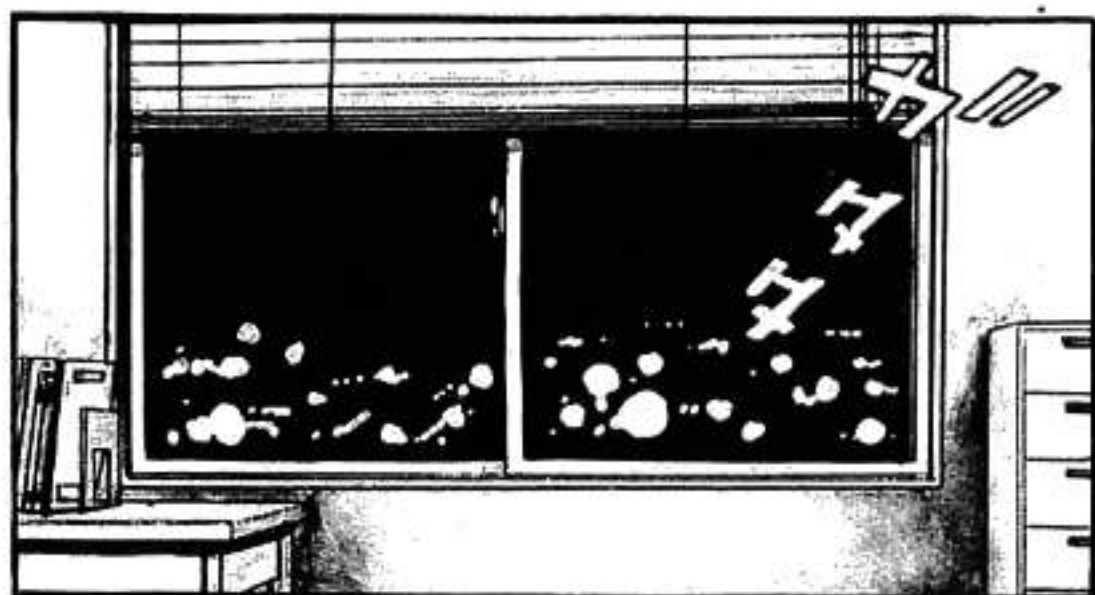


FILE14

# 台風と赤鬼





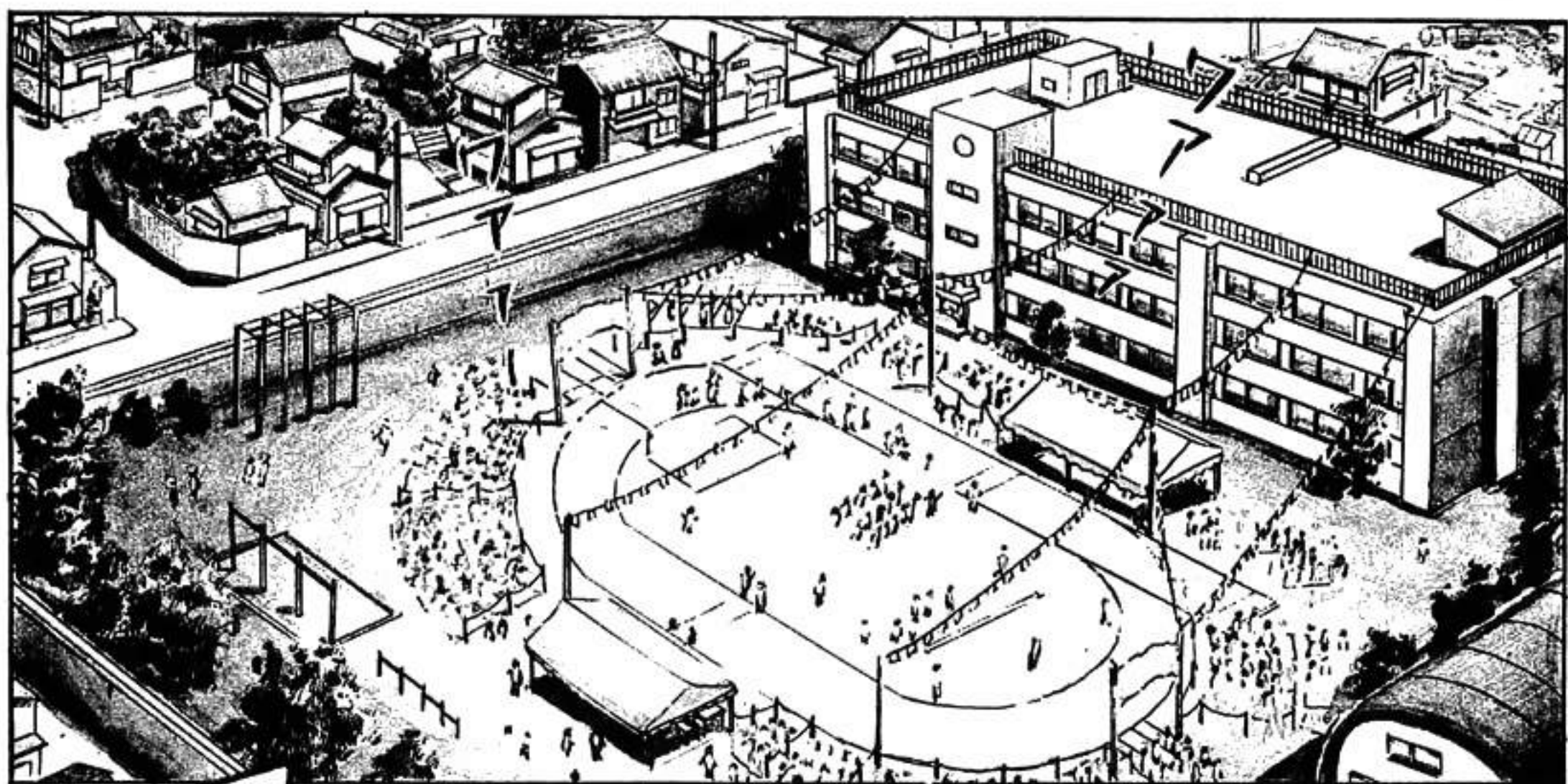




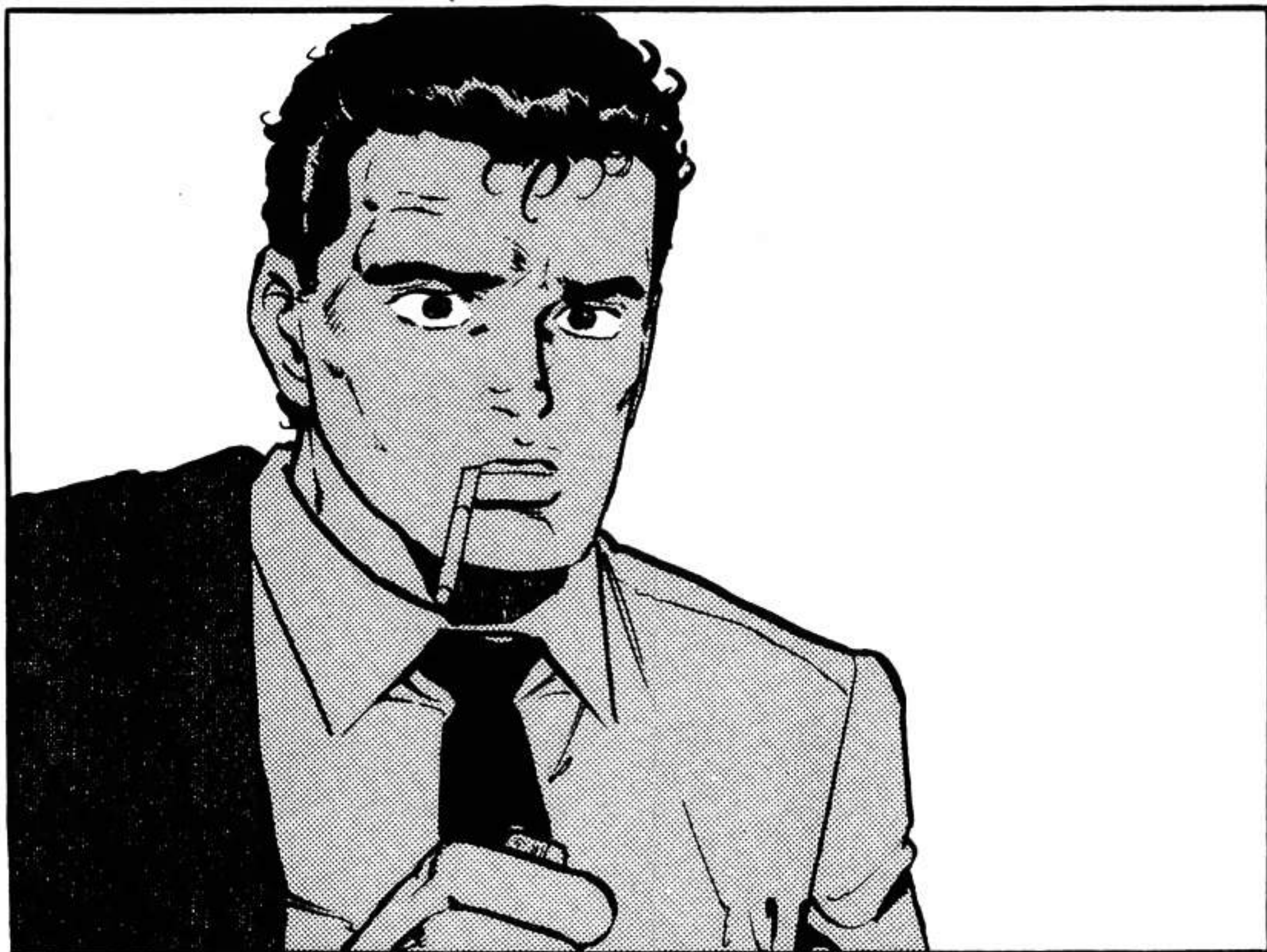


もっと荒れろ！  
吹きすさべ！  
なにもかも  
ぶっ壊せ！！

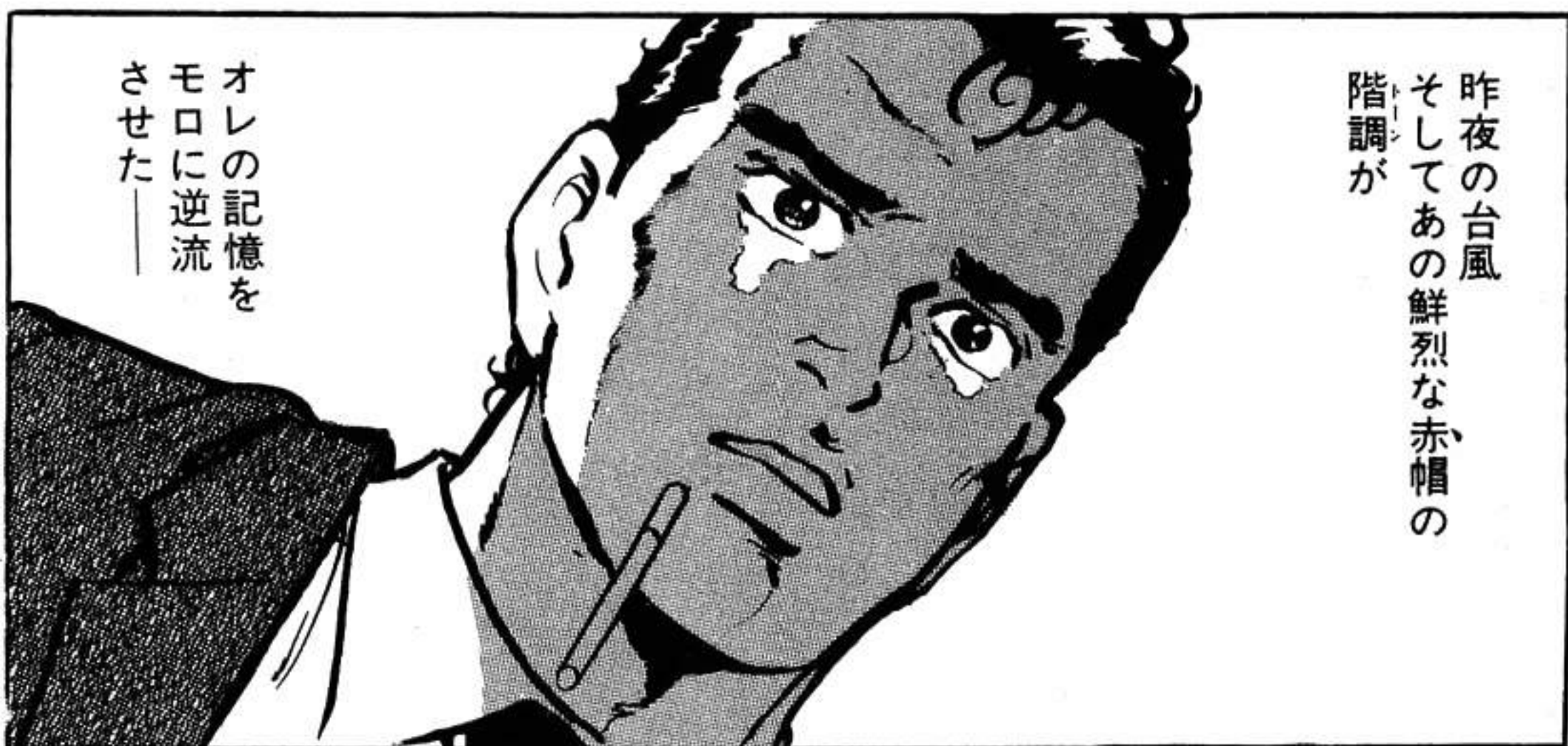




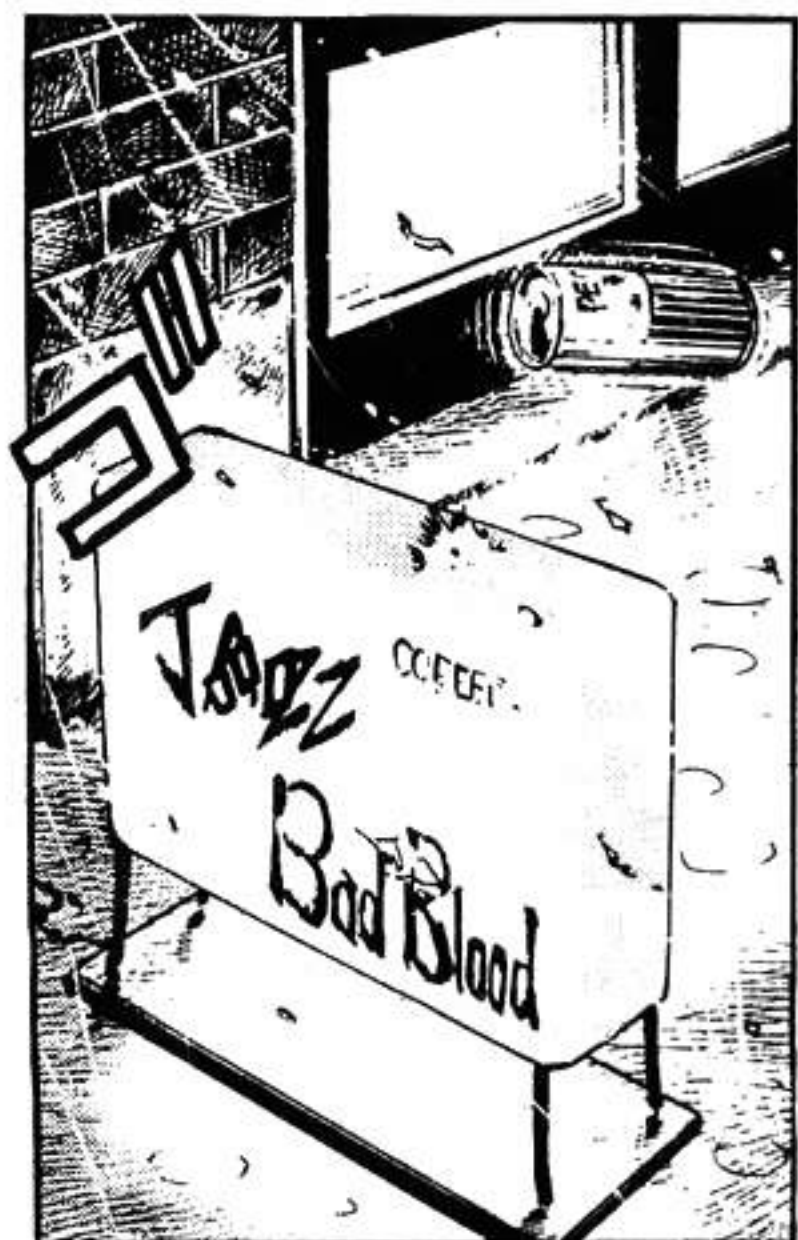




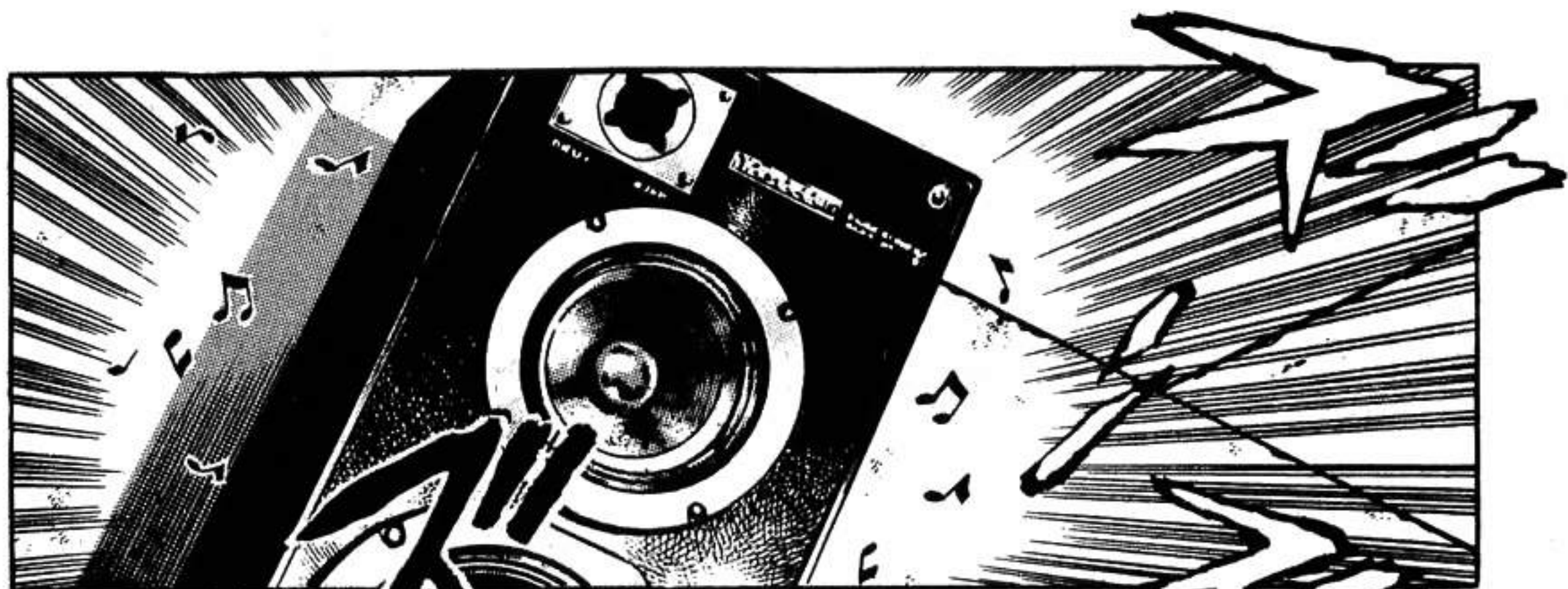




























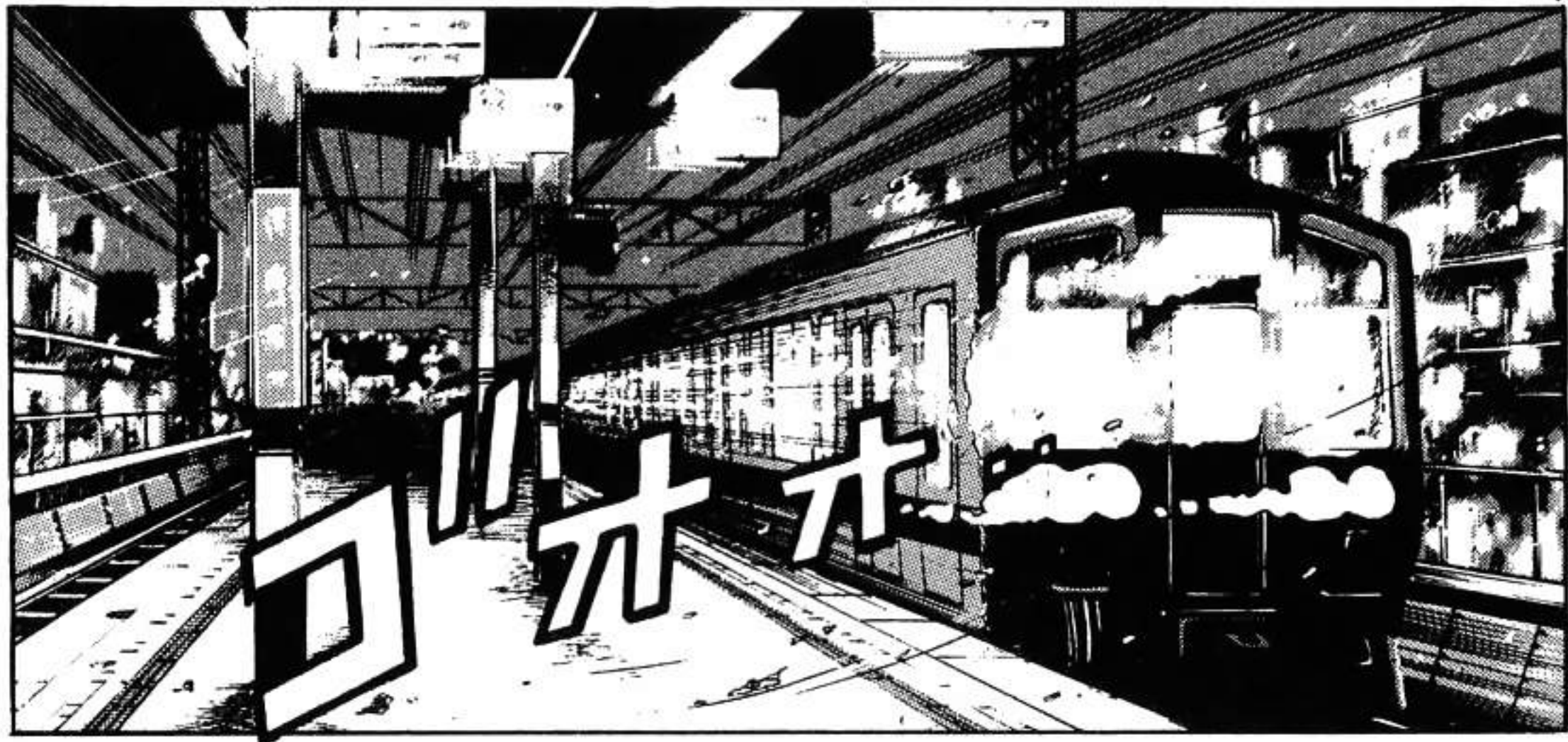
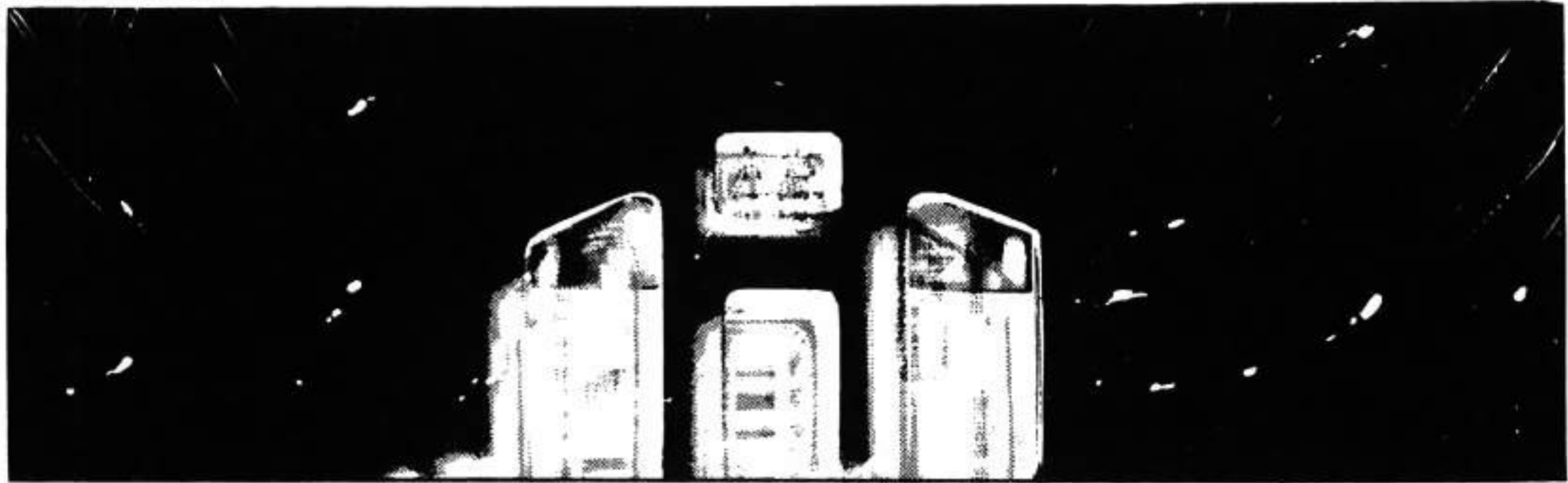






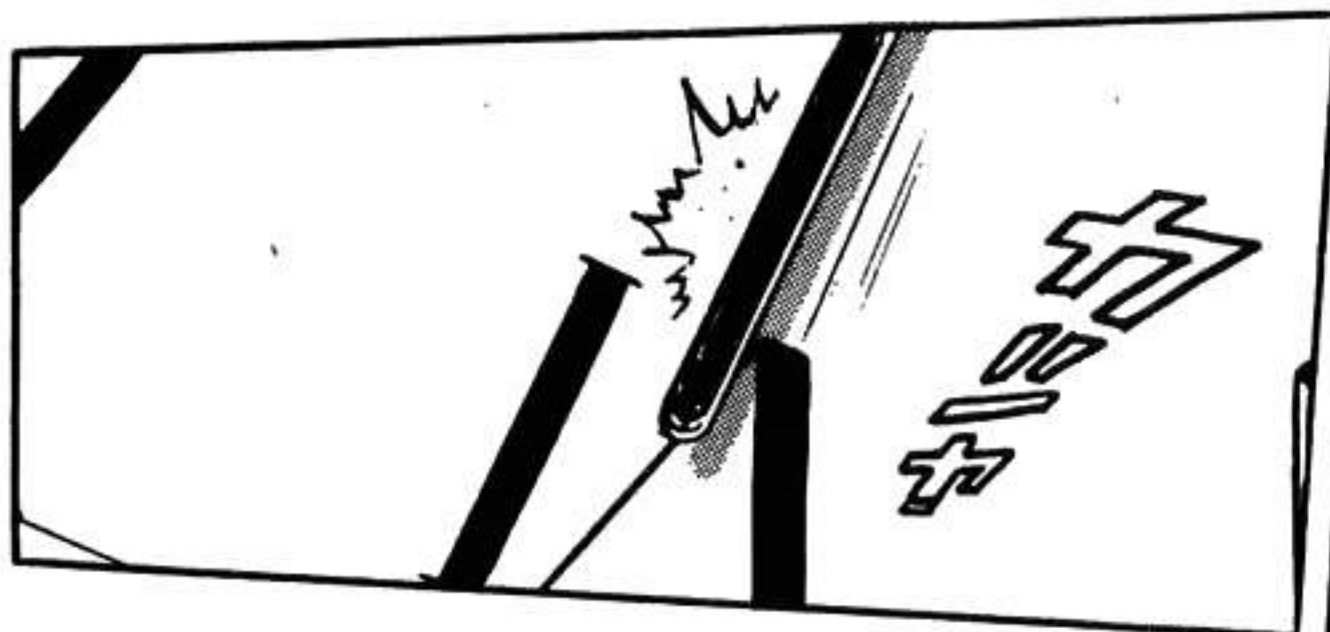








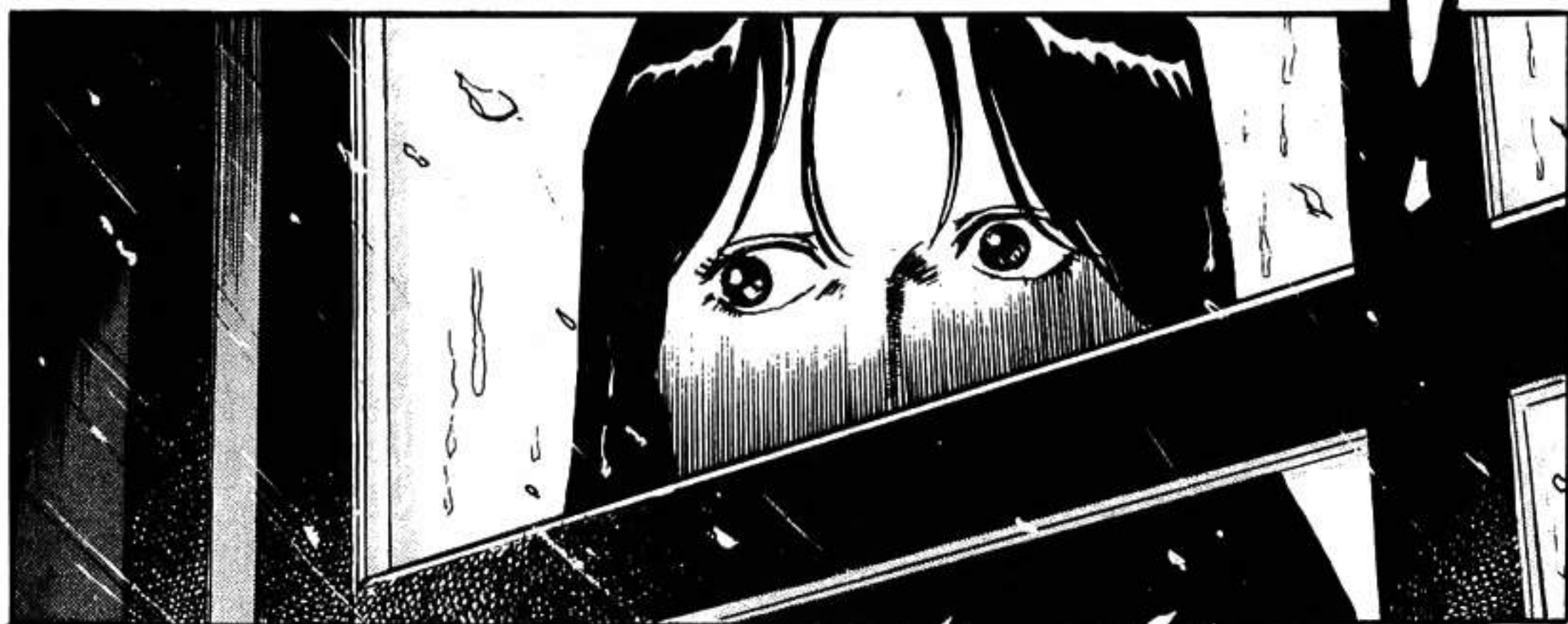
あのころ  
8年前 この二文字を決して  
使用したことはないとしても  
“青春”をもて余していた















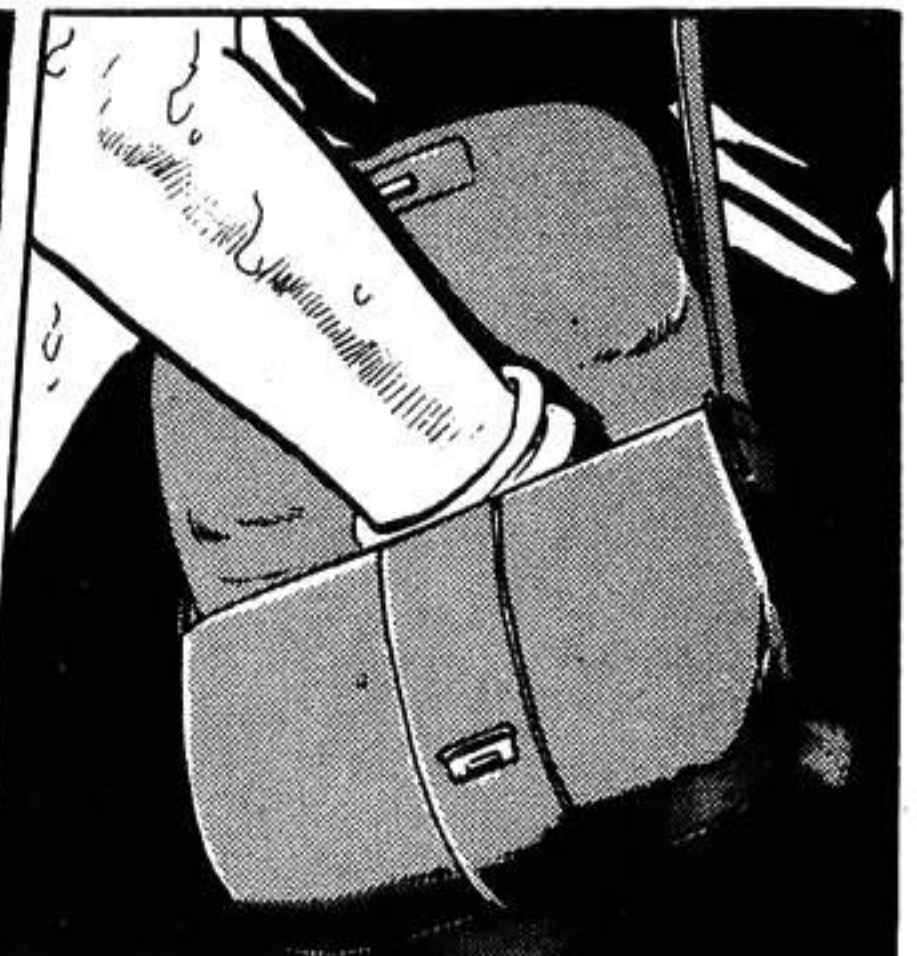




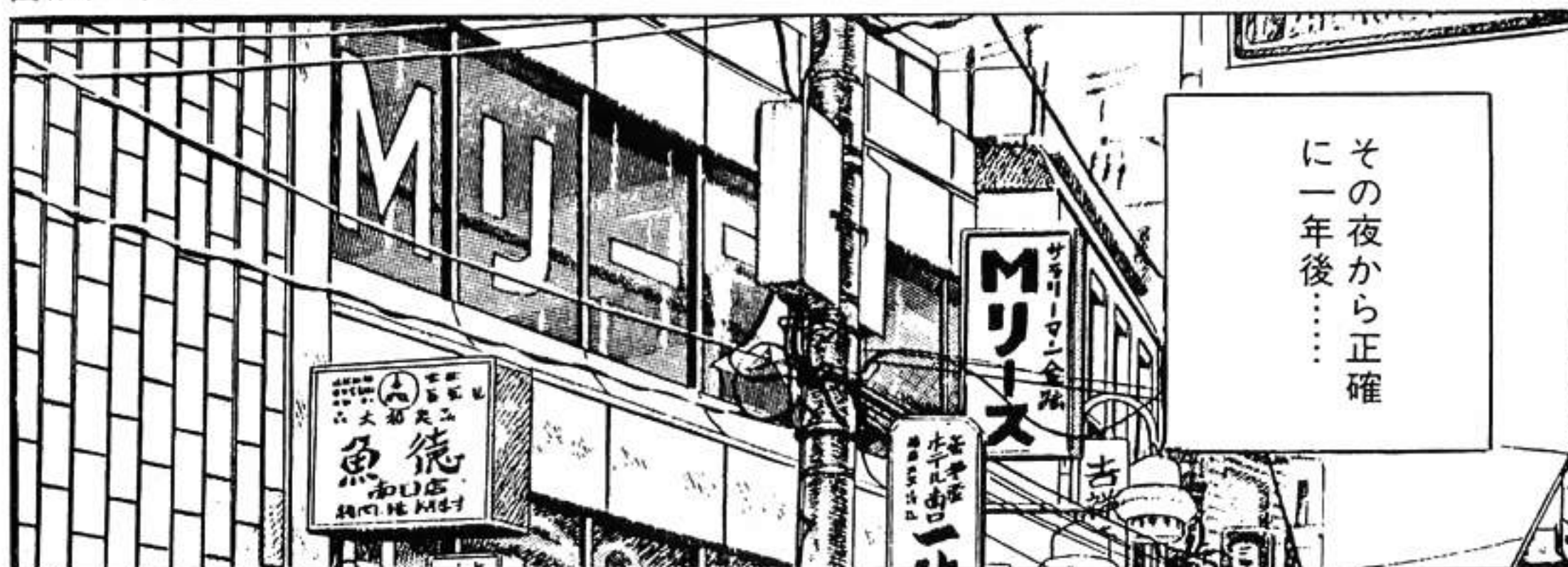




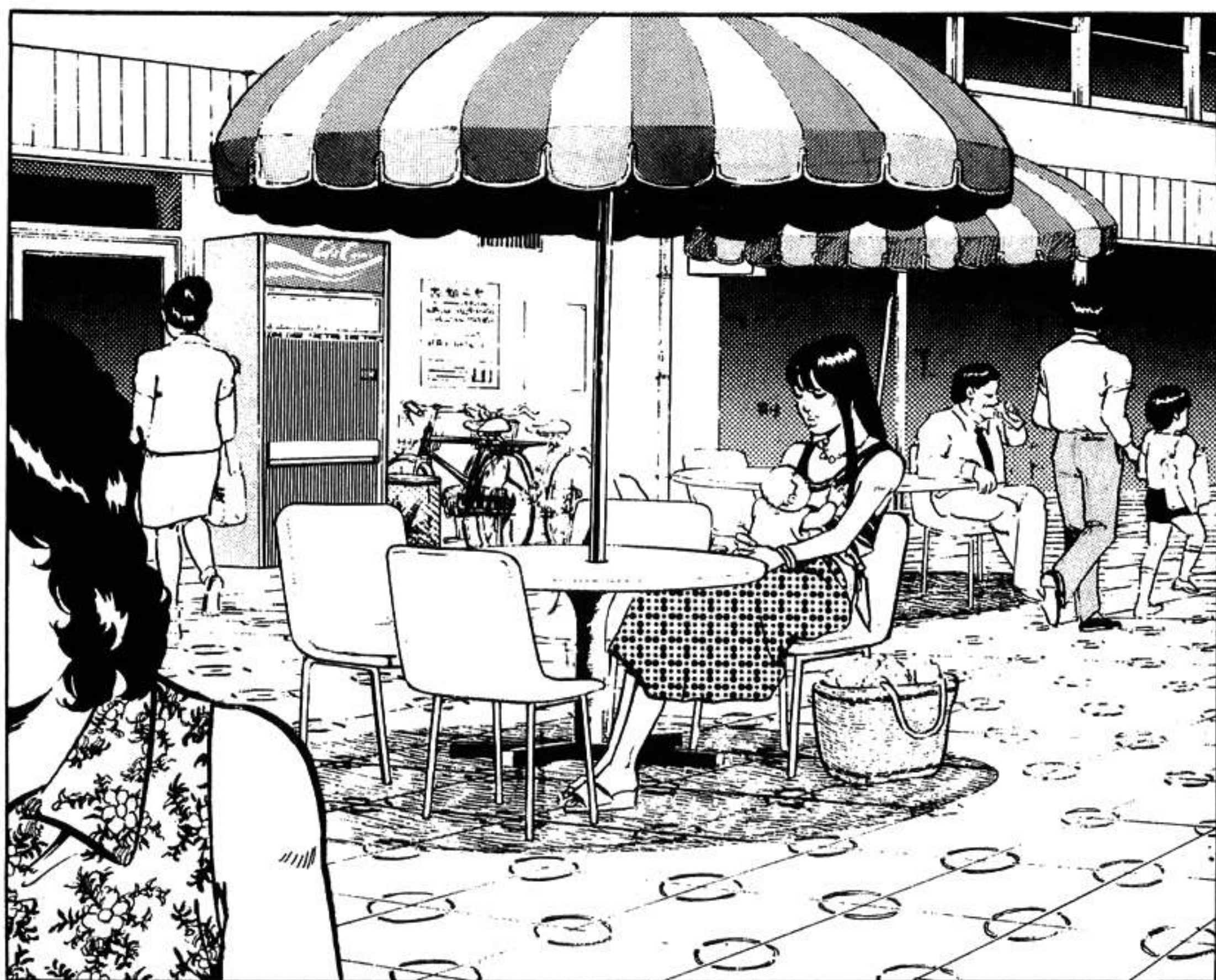








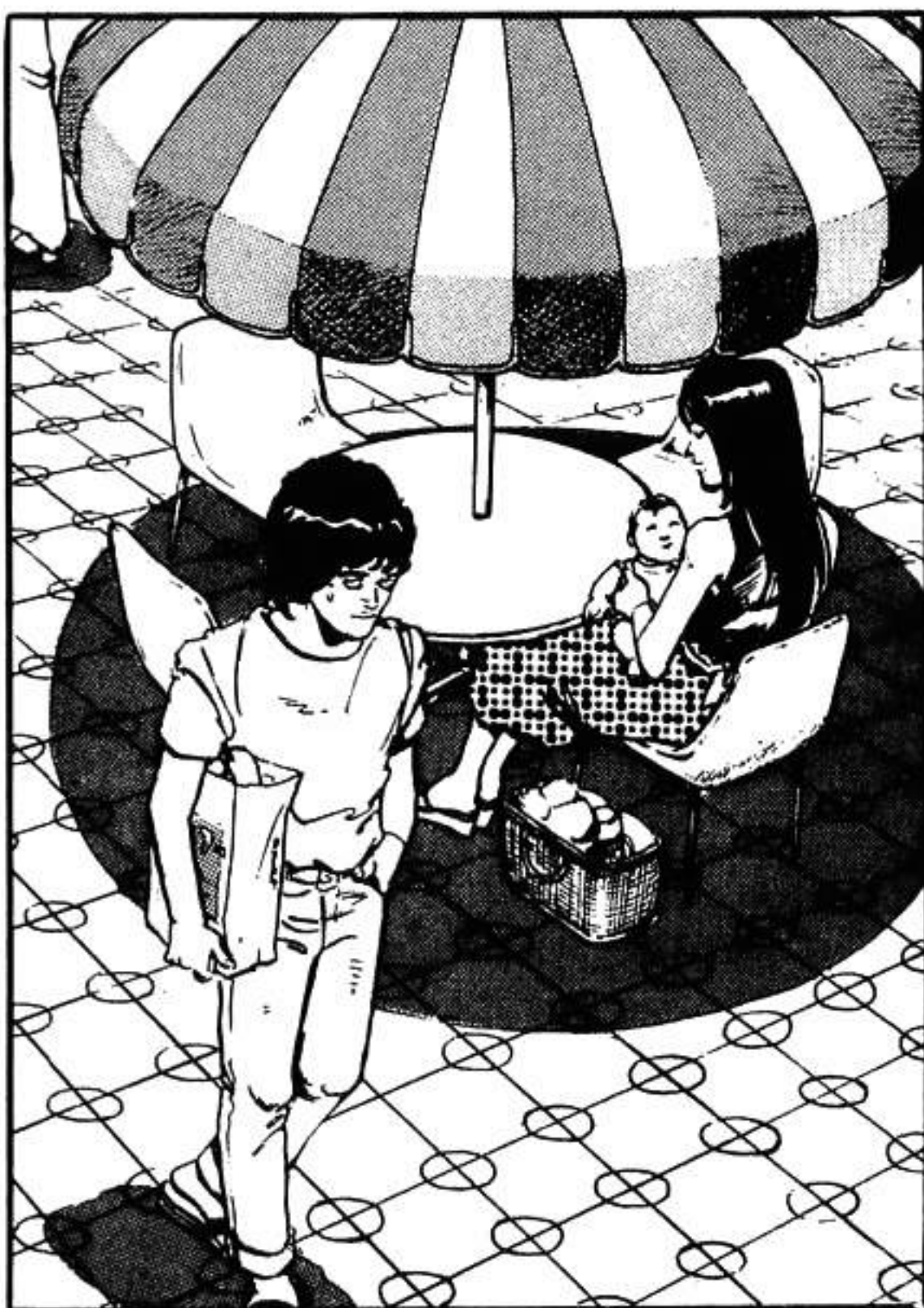




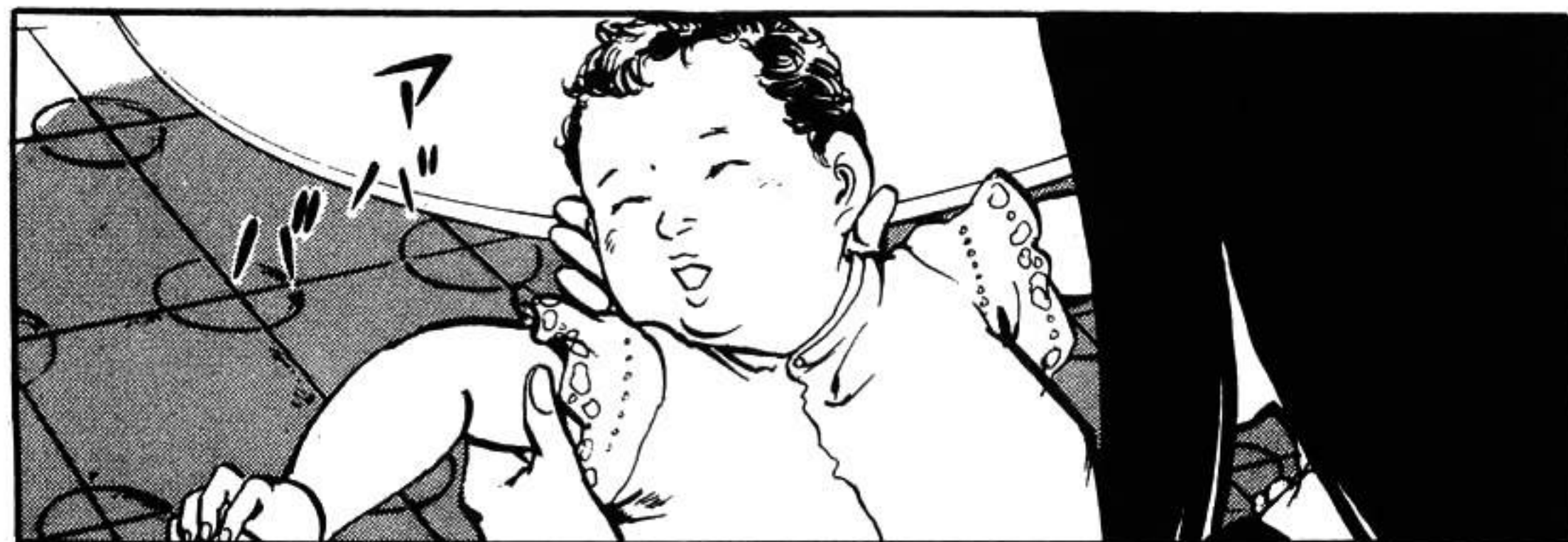




すでに「憑きモノ」は  
落ち枯れたような  
優し気な表情……



あの中年男の  
子供だ……  
間違いなく


















その小説の導入部  
はこうしようでは  
ないか

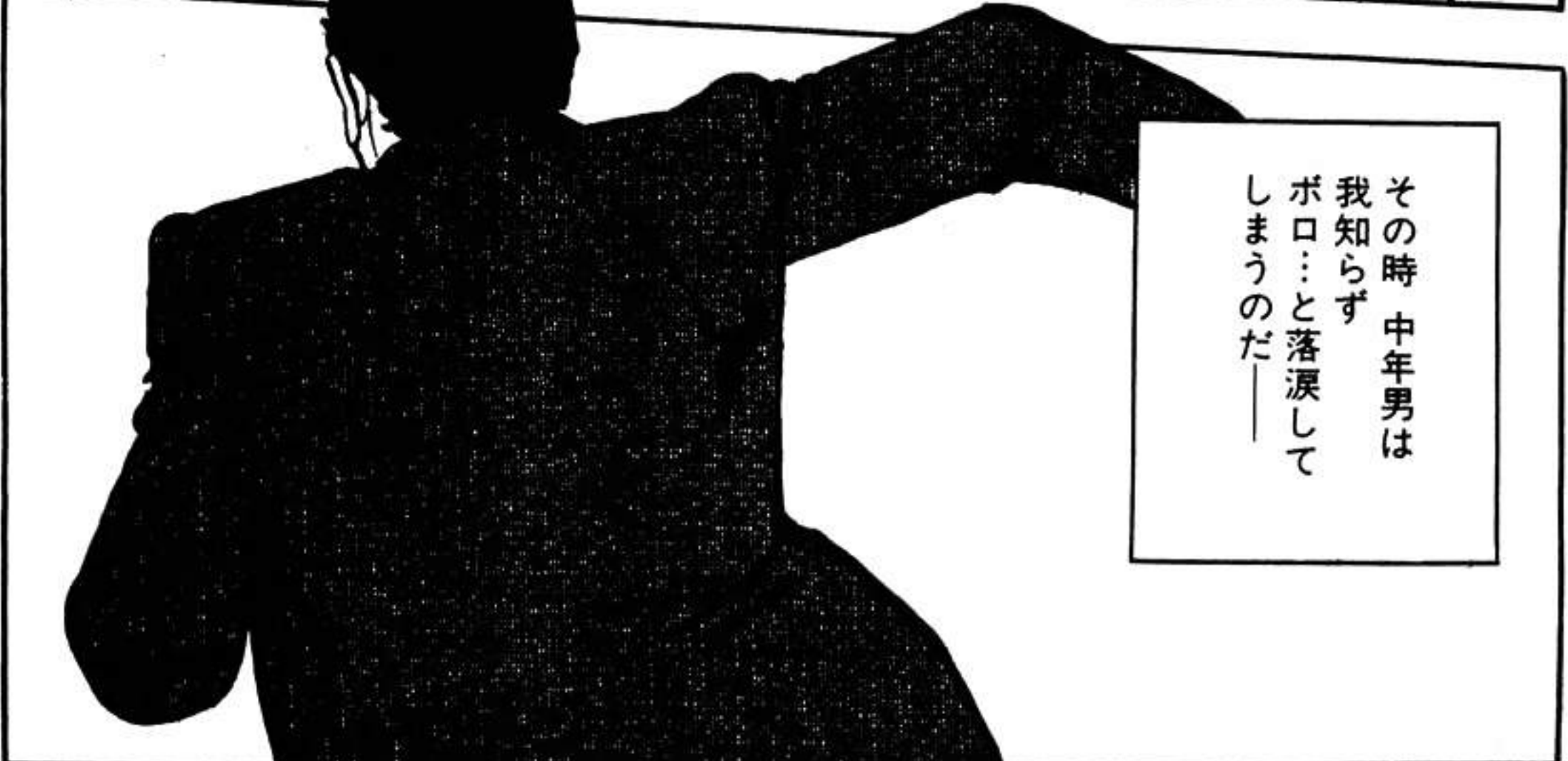
中年の殺し屋が  
生涯最後の仕事に  
おもむく朝……



小学校の運動会に  
出っ食す



台風一過の空の下  
紅白の小さな肉体が  
はじけ駆ける



その時 中年男は  
我知らず  
ポロ…と落涙して  
しまうのだ――

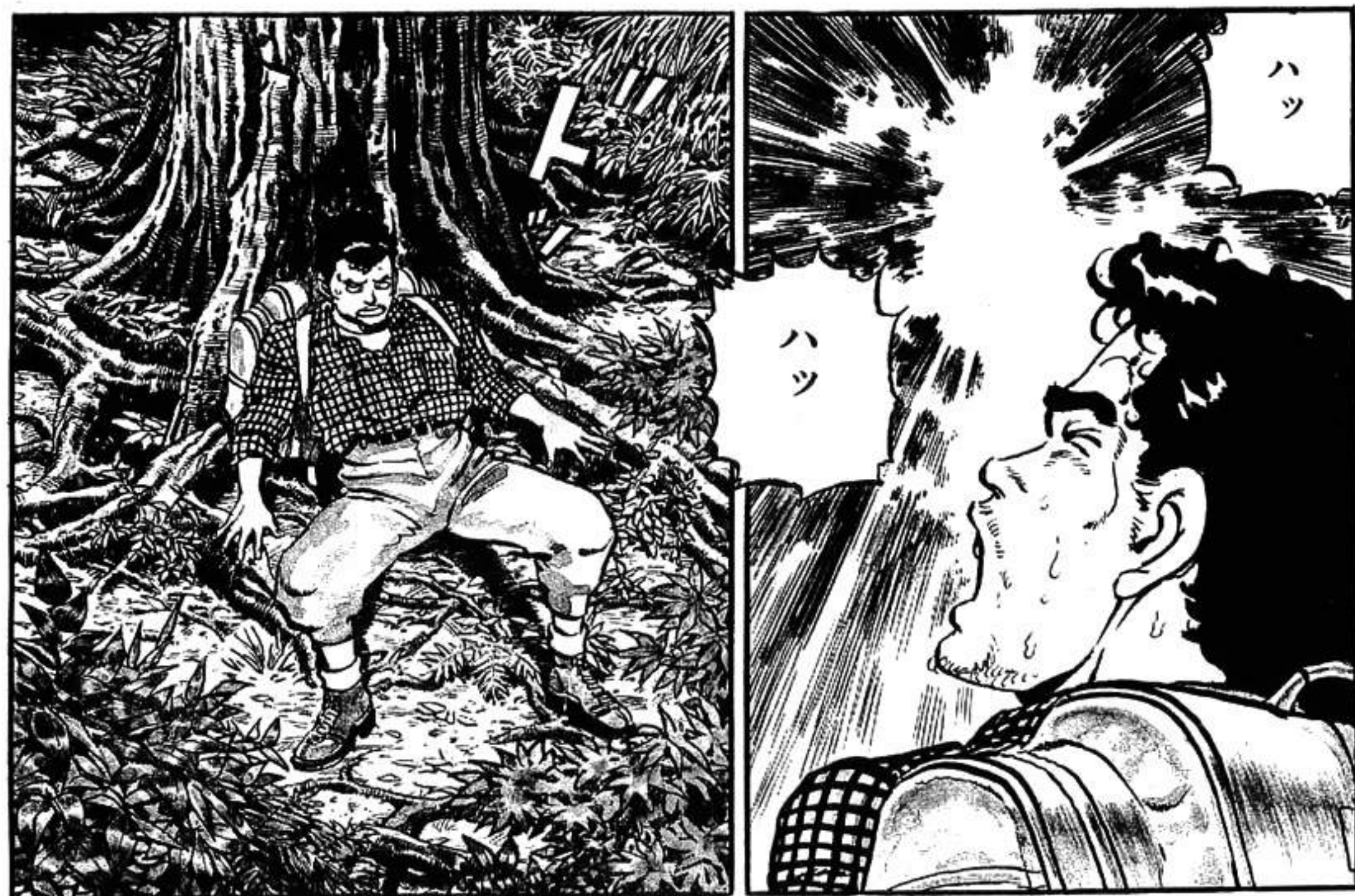
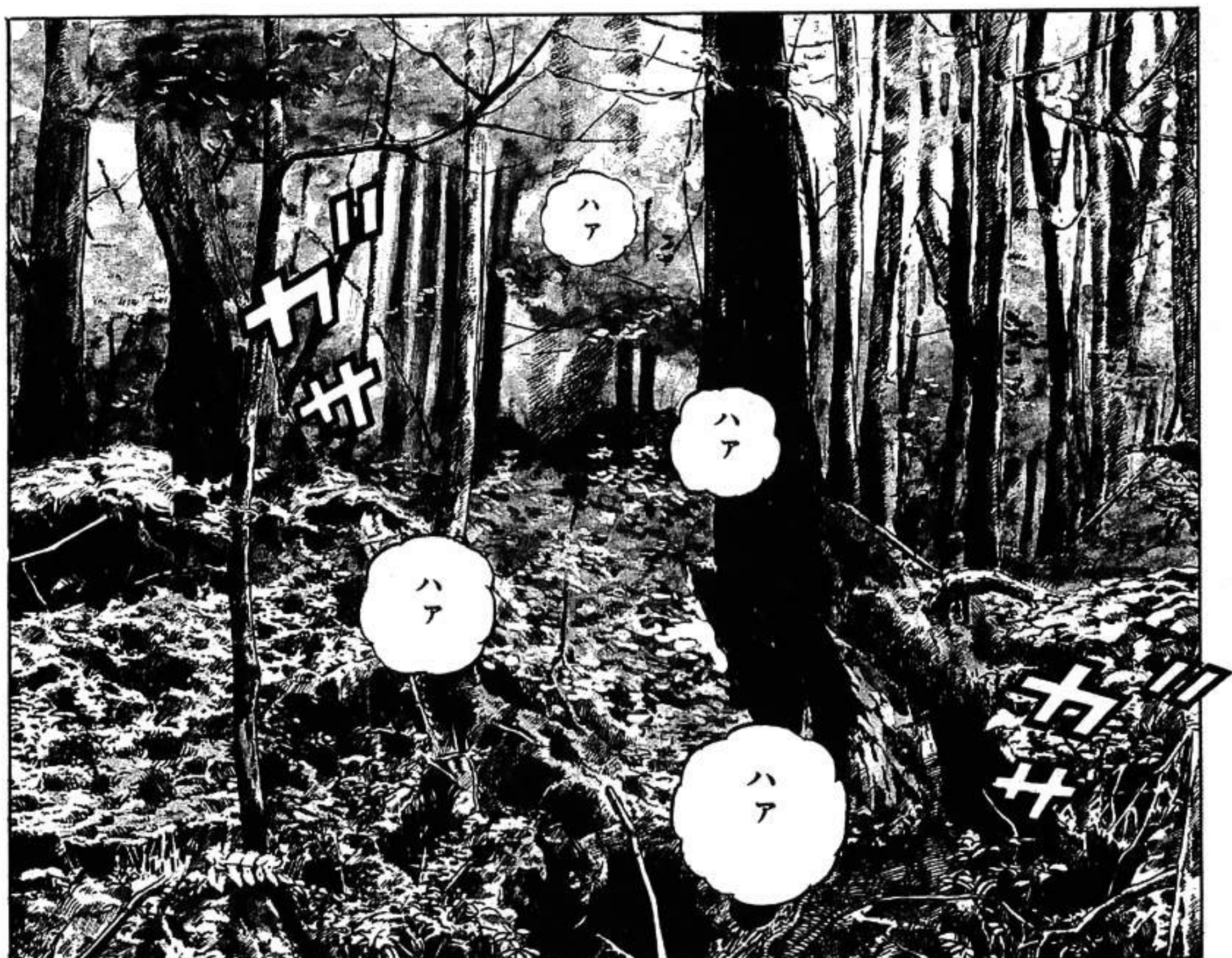


FILE15

# 銀幕の亡命者

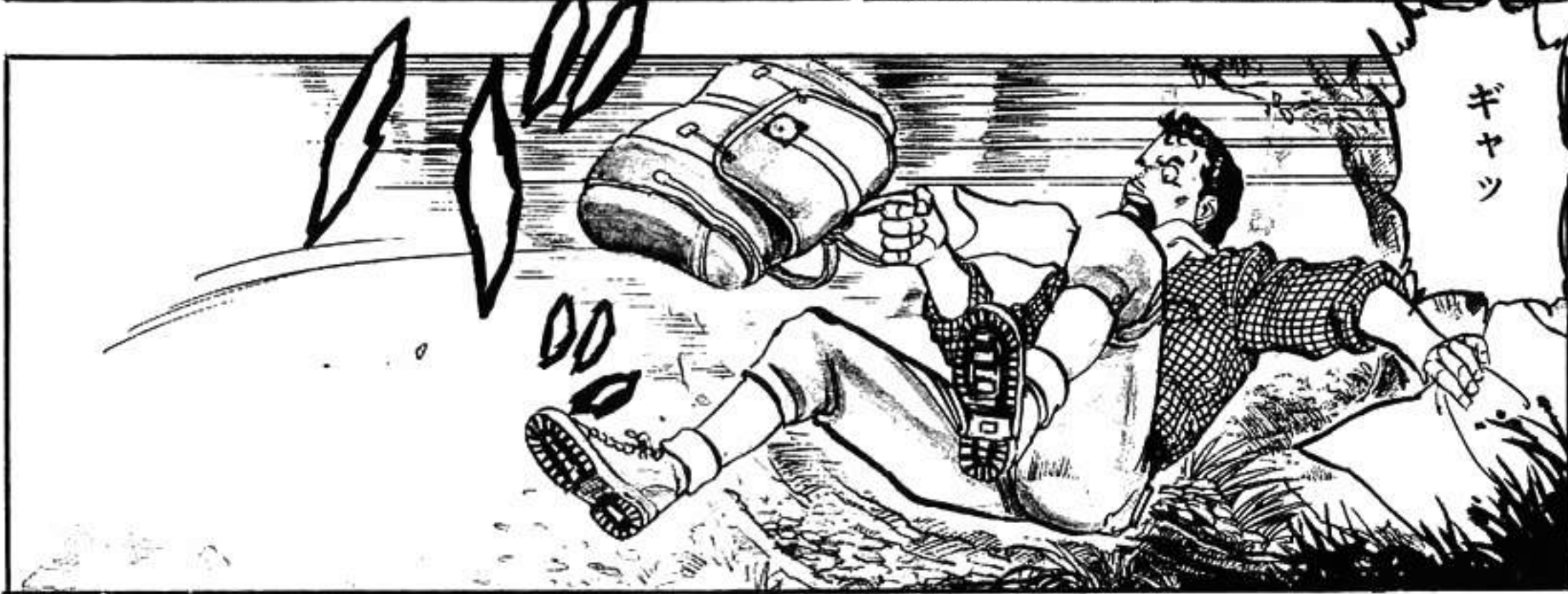
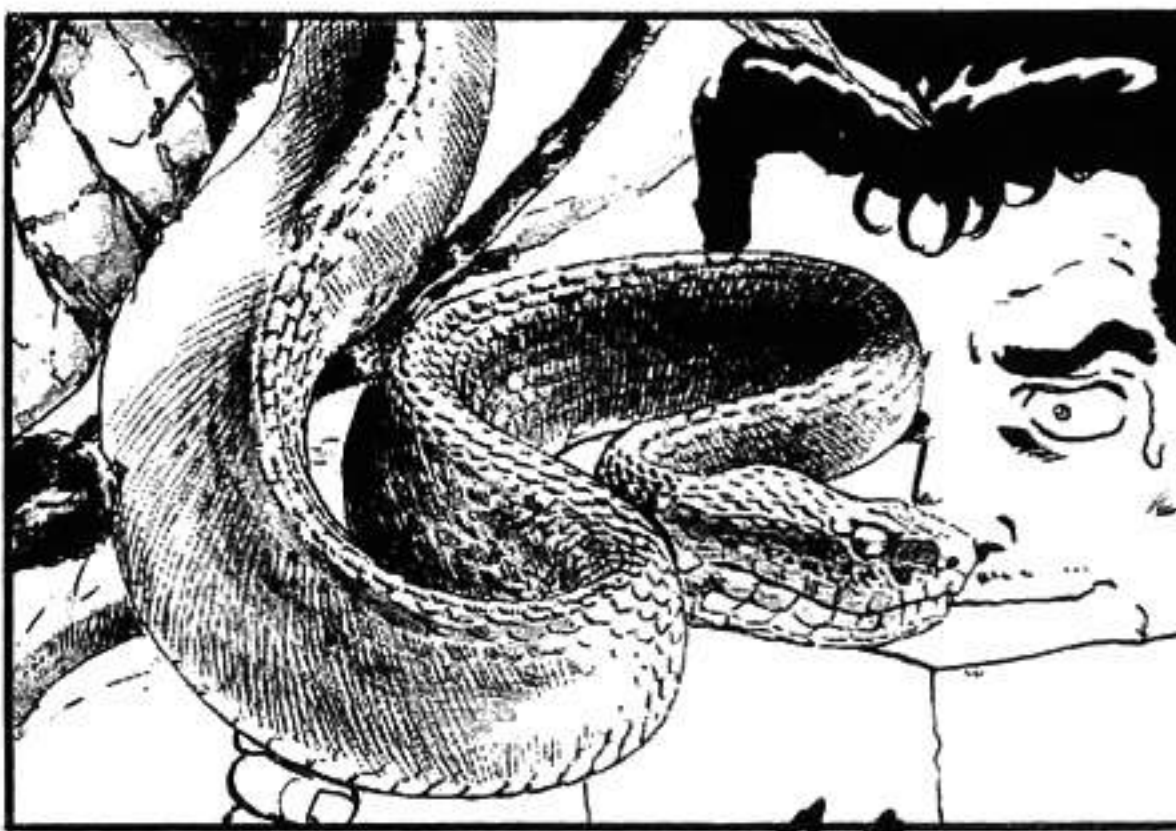








銀幕の亡命者

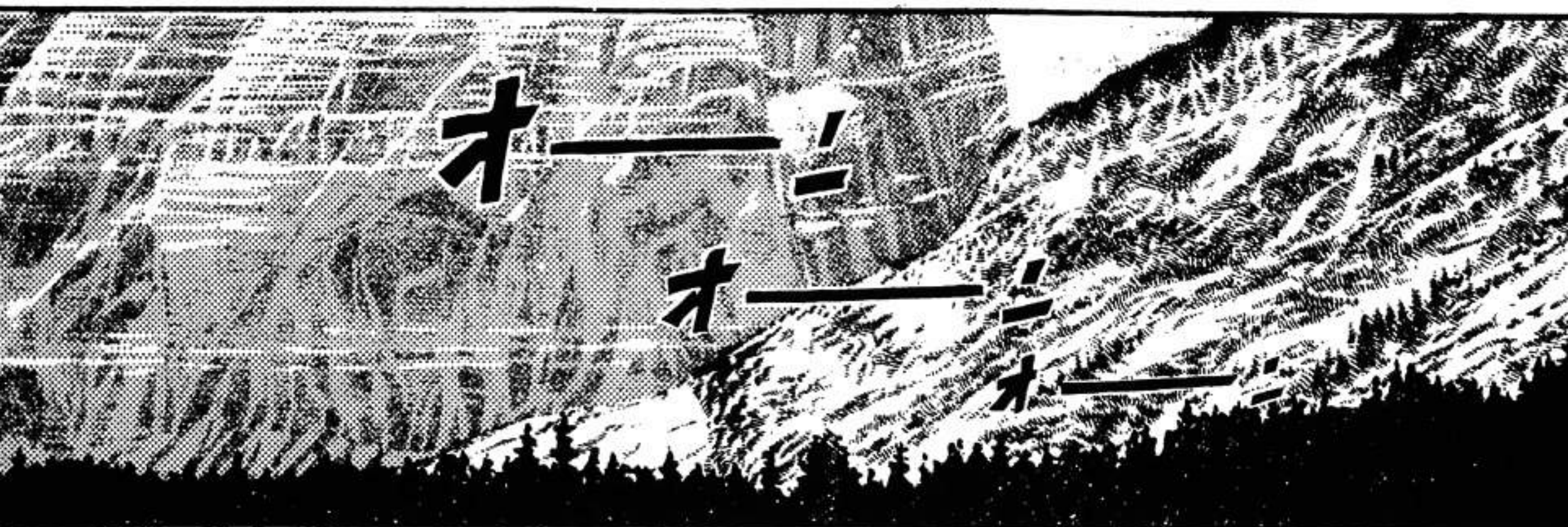
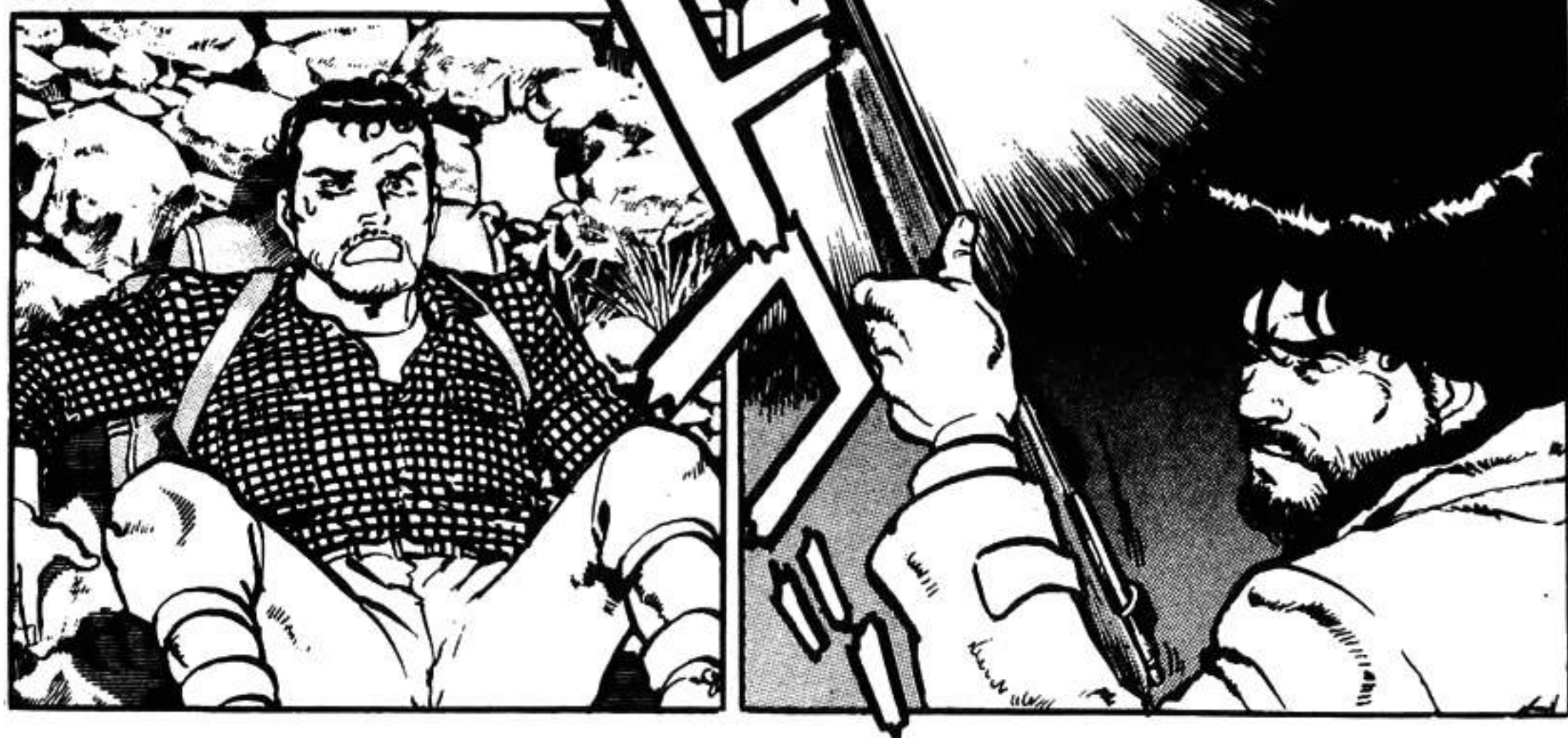






過度の疲労が  
呼び起した  
入眠幻覚か……？

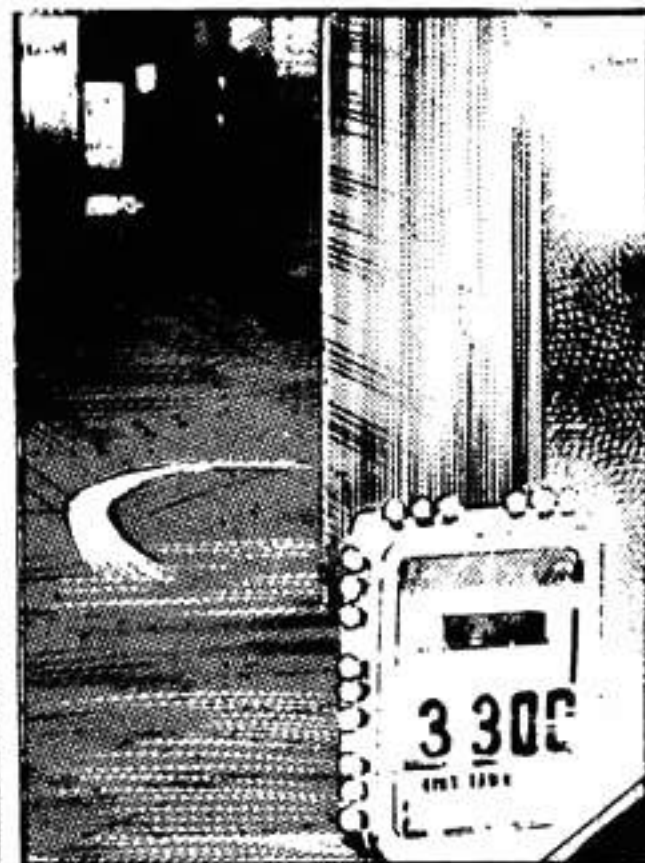






















15年前……「列島」という  
タイトルの青春映画を  
一作残したのみで  
忽然と消息を断った  
毒島洋介……という監督を  
御存知ですか？



引き受けた！



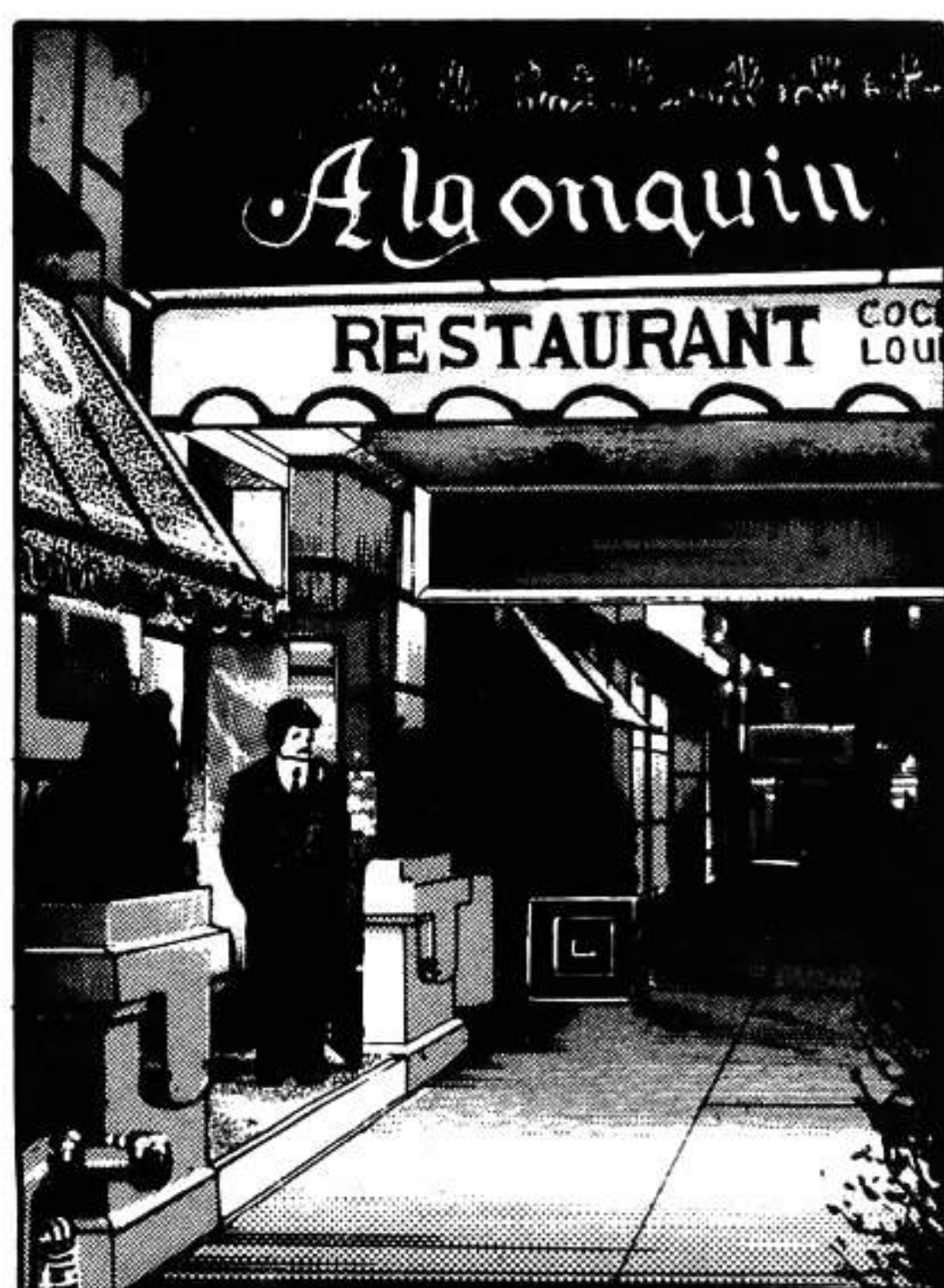
当時 話題には  
ならなかったが「列島」は  
オレの いやワタシの  
秘かな映画ベスト5に  
入る名作中の名作だ



？



















ただし 毒島監督を  
東京に連れ帰った  
場合にのみこの金額を  
支払います

それ以外の場合は  
旅費などの実費のみ  
いが



依頼者から報酬を  
提示されたのは  
始めてだが  
いささか  
ギャンブルめいていて  
気に入りましたさすが  
急成長企業の社長だ



カチ



もう一度 毒島洋介に  
映画を撮ってもらいたい…  
その一念こそが『宅急エクス  
プレス』の成功の総て



それにしても豪気で  
すなア  
この世知がらい世に  
幻の映画監督にポンと  
20億を投資しようとは  
ね

15年前…夫と離婚  
した私の心の支えが  
あの映画だった

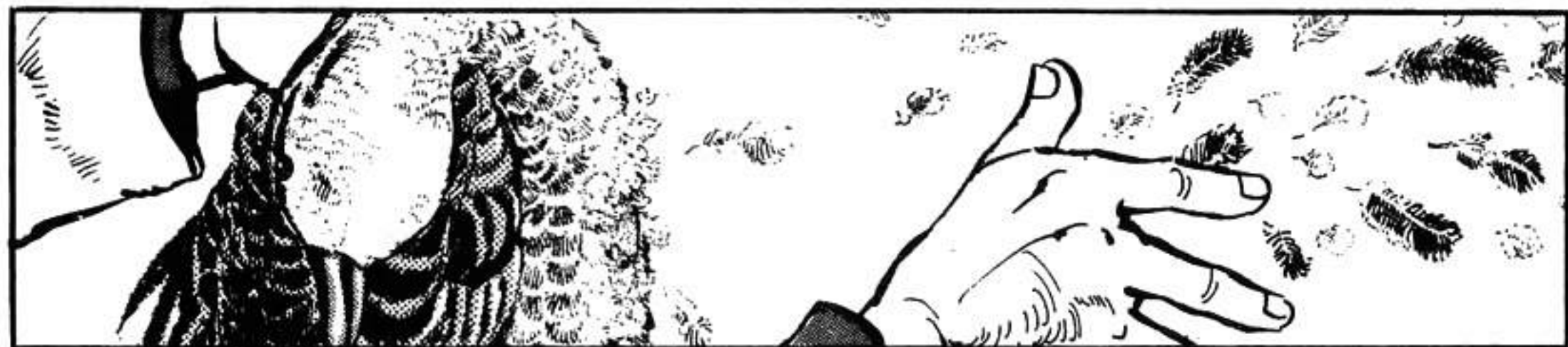




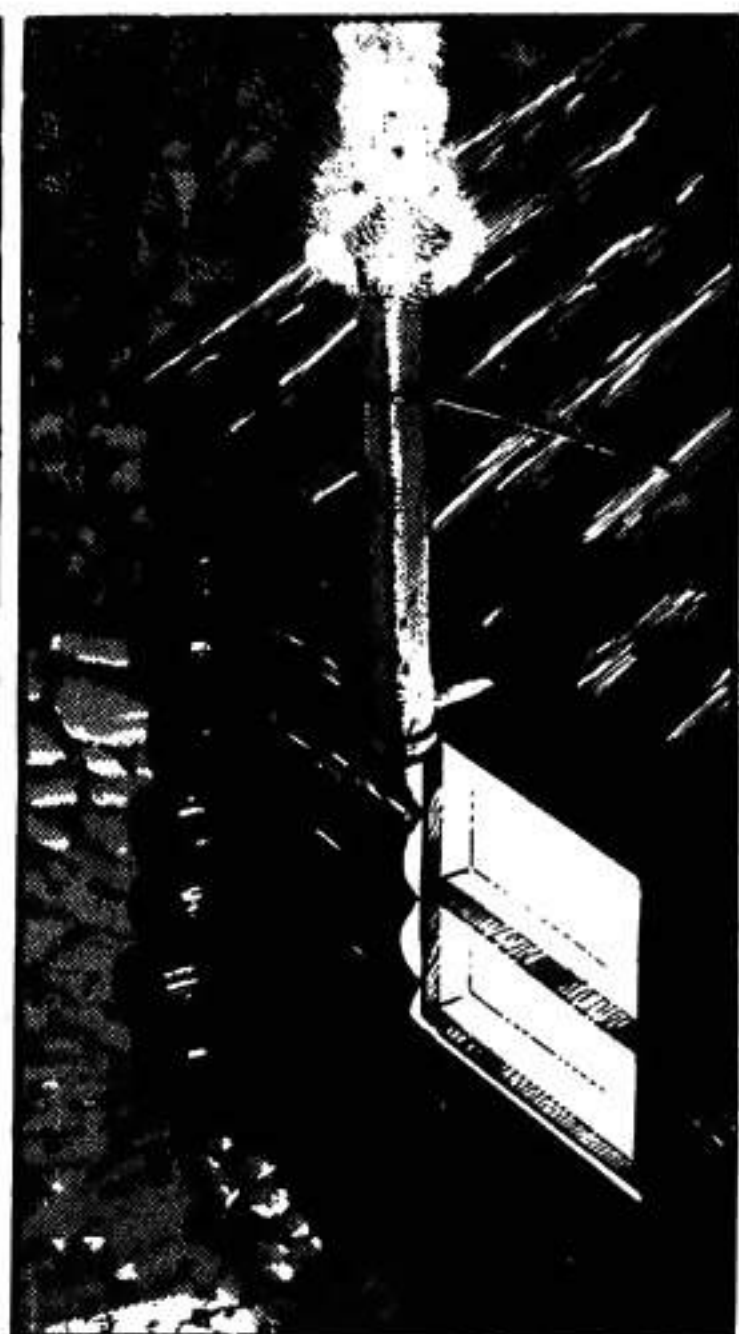











































脳裡を 毒島の映像が  
駆けめぐった……まぎれもない  
名作が……











オレは幻視する……  
あるよく晴れた日  
この列島の総てのブラウン管に  
日の丸の旗が乱れ舞うのだ  
その日を境に  
時代は……

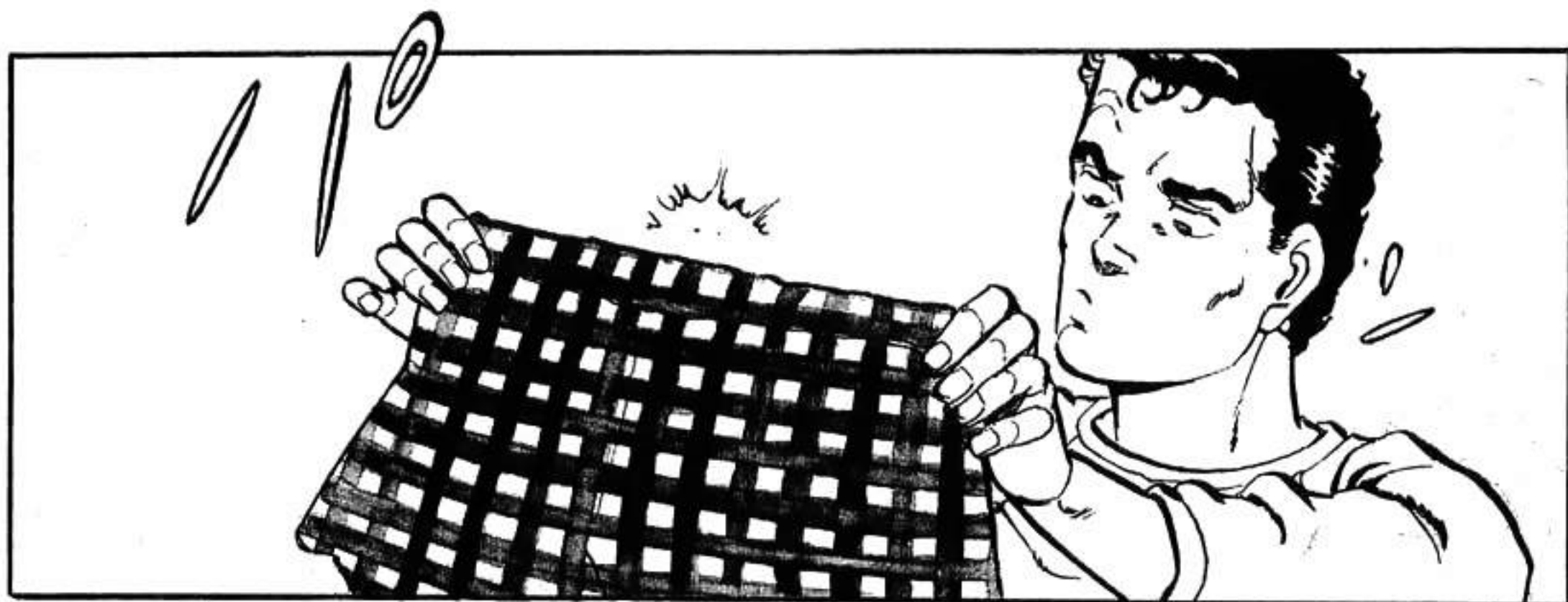
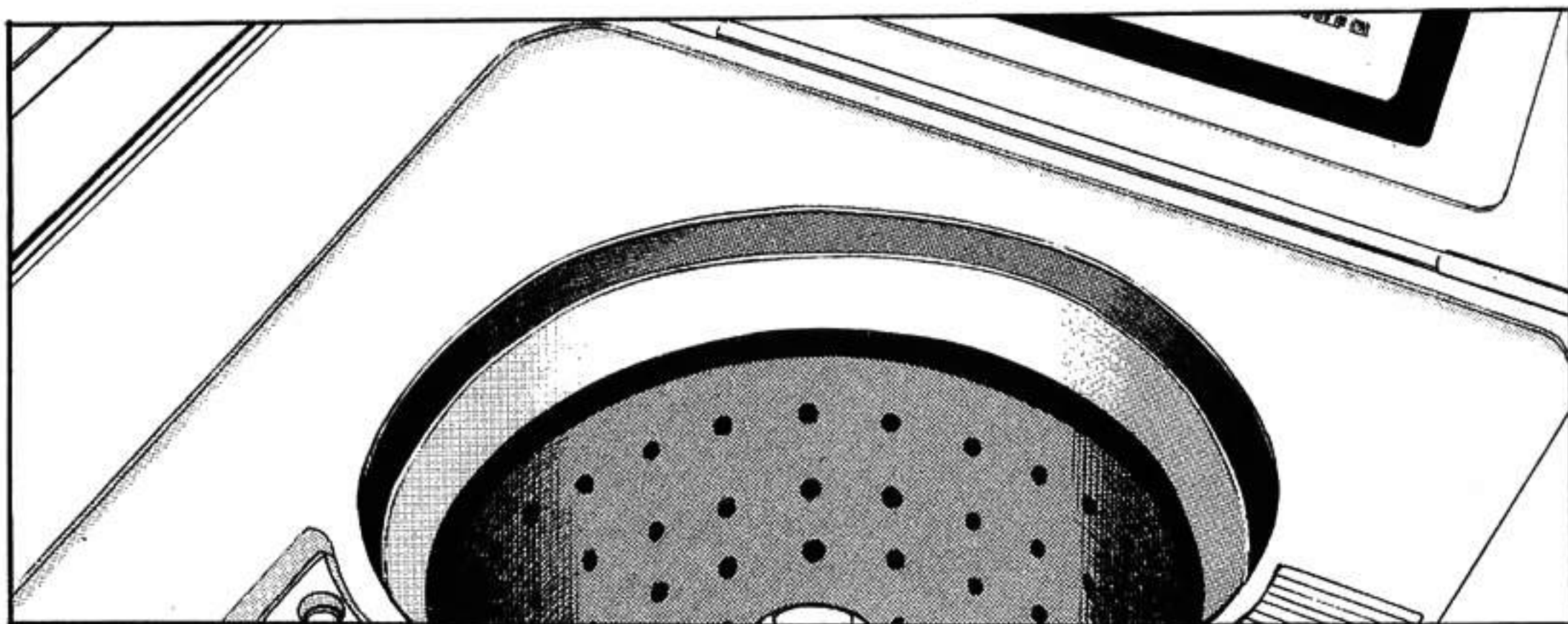


FILE 16

# バビロン・システム

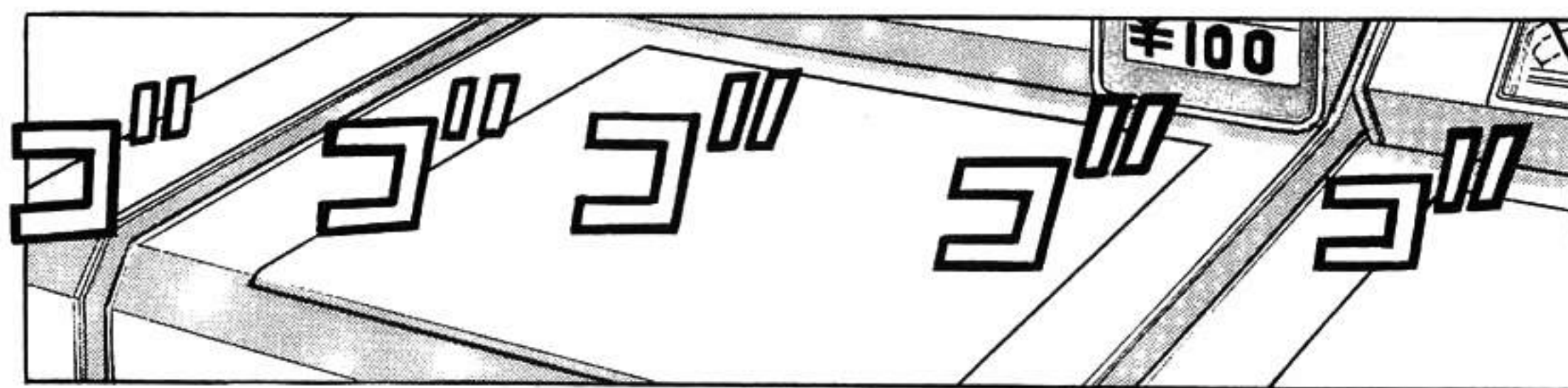




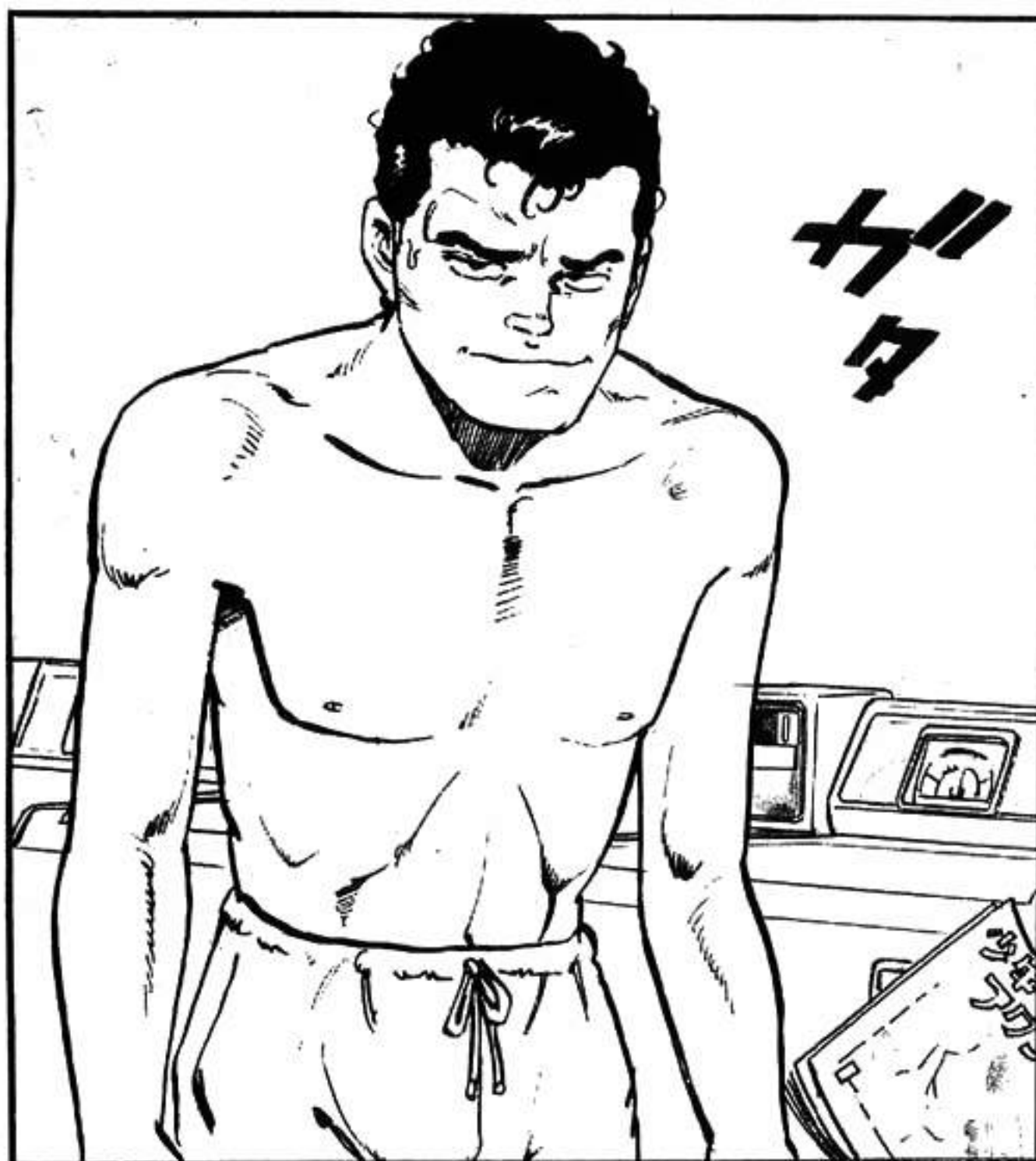
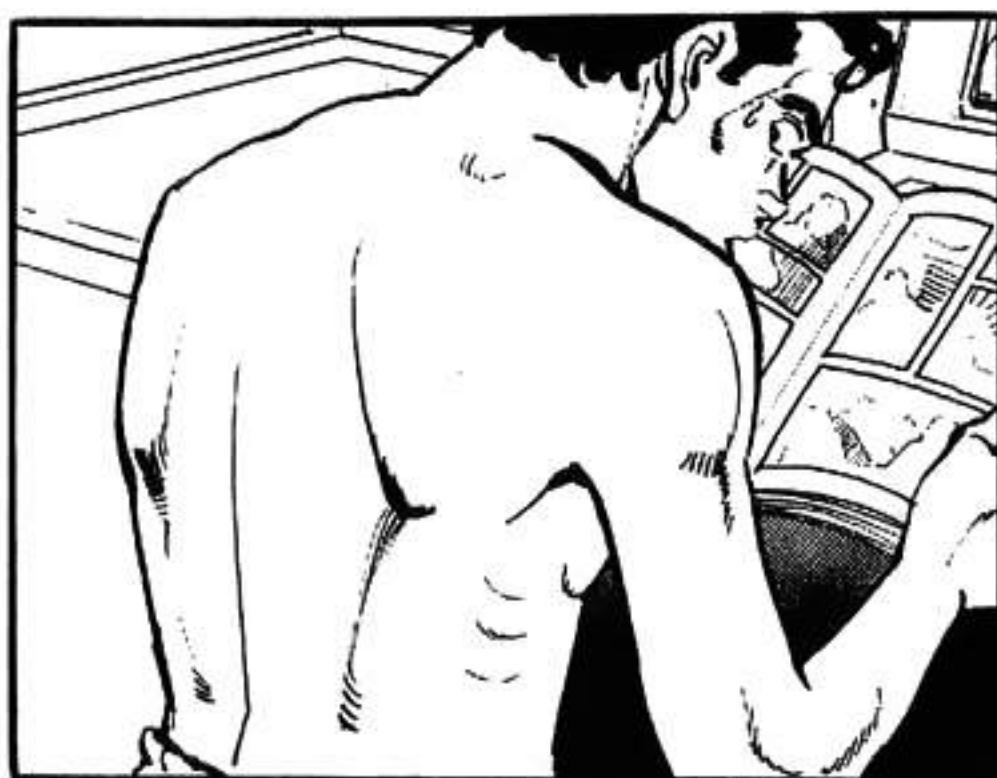




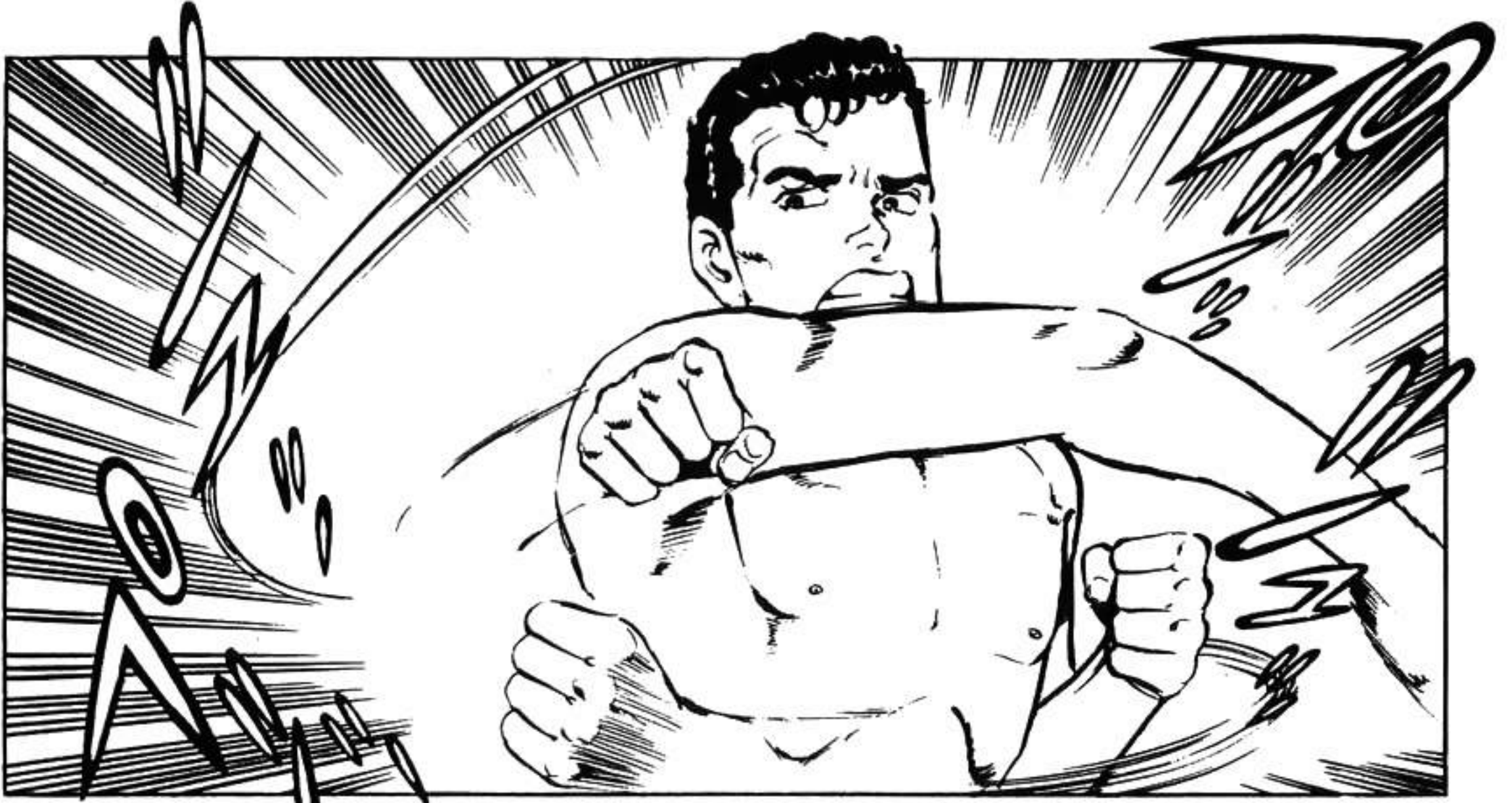
バビロン・システム











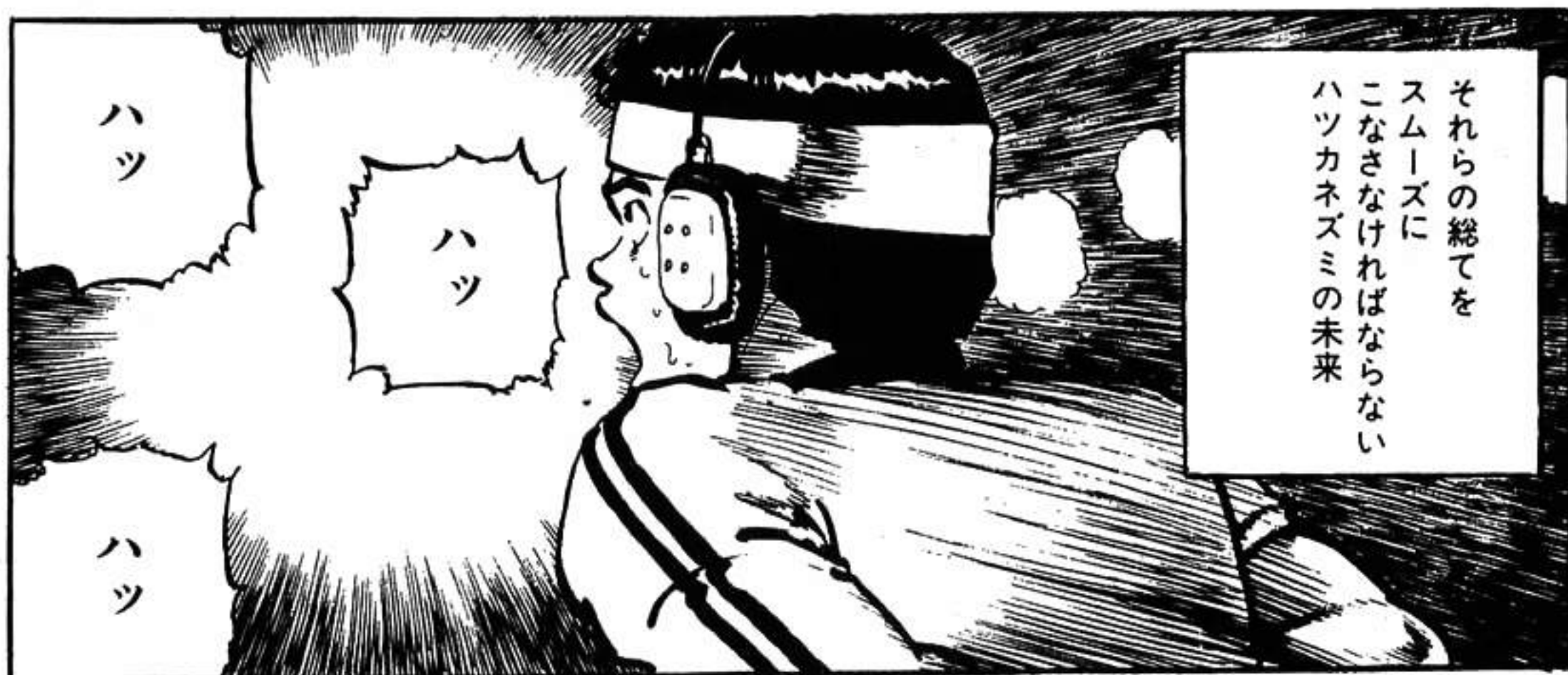










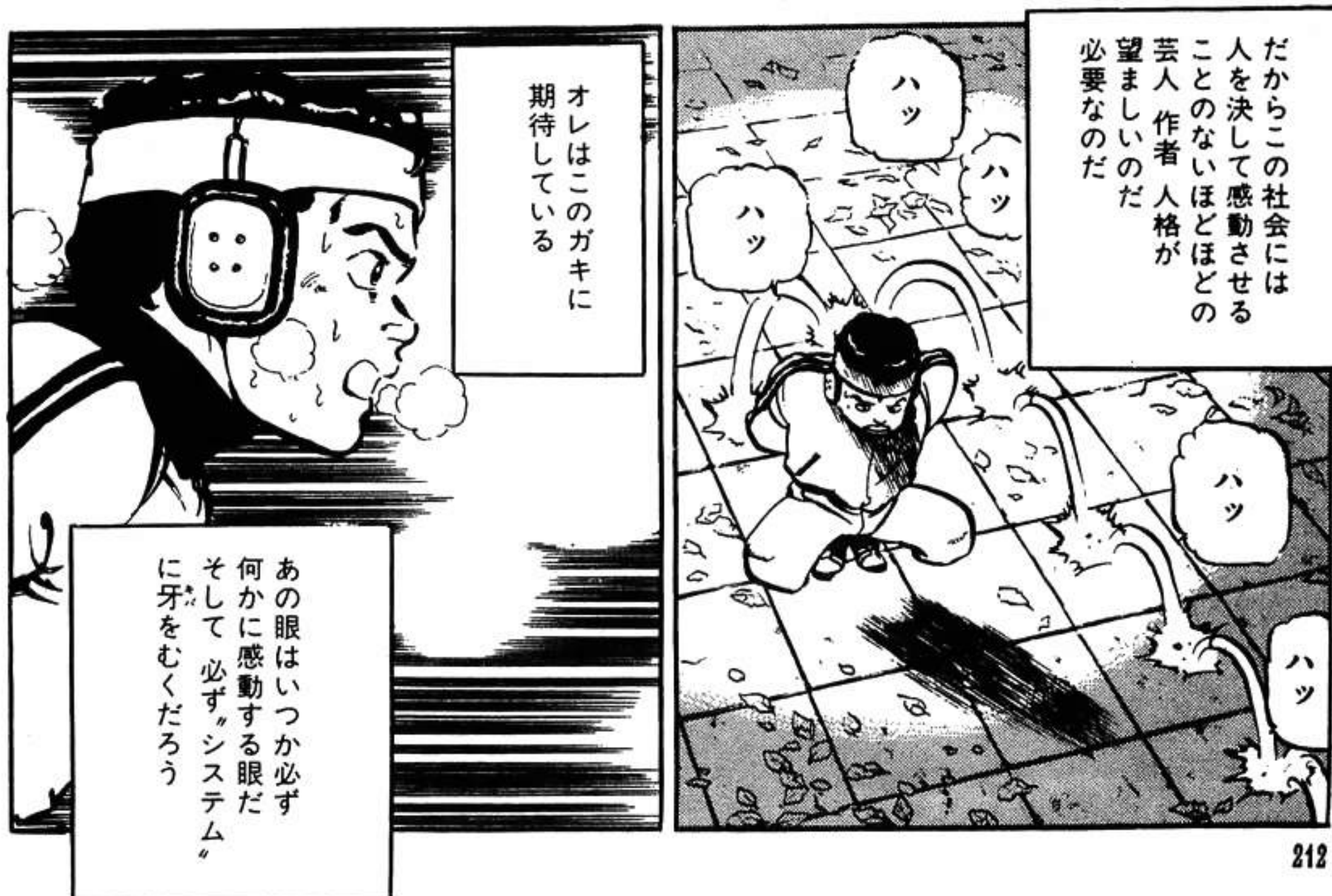


それらの総てを  
スムーズに  
こなさなければならぬ  
ハツカネズミの未来



その「システム」の  
大敵は  
感動である

感動してしまつたら  
人は容易に道を踏み  
外すから

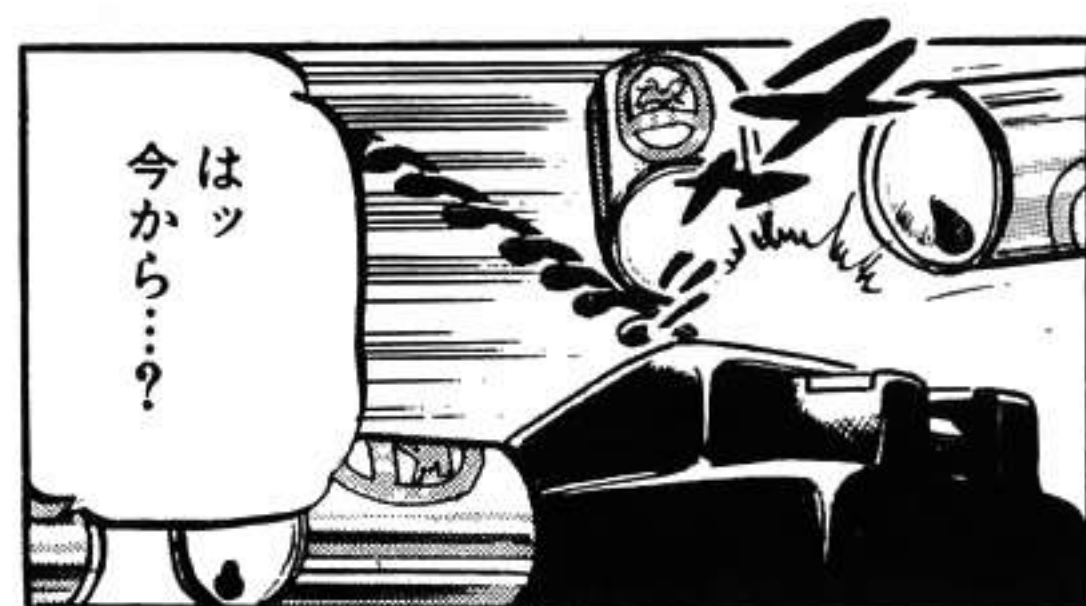
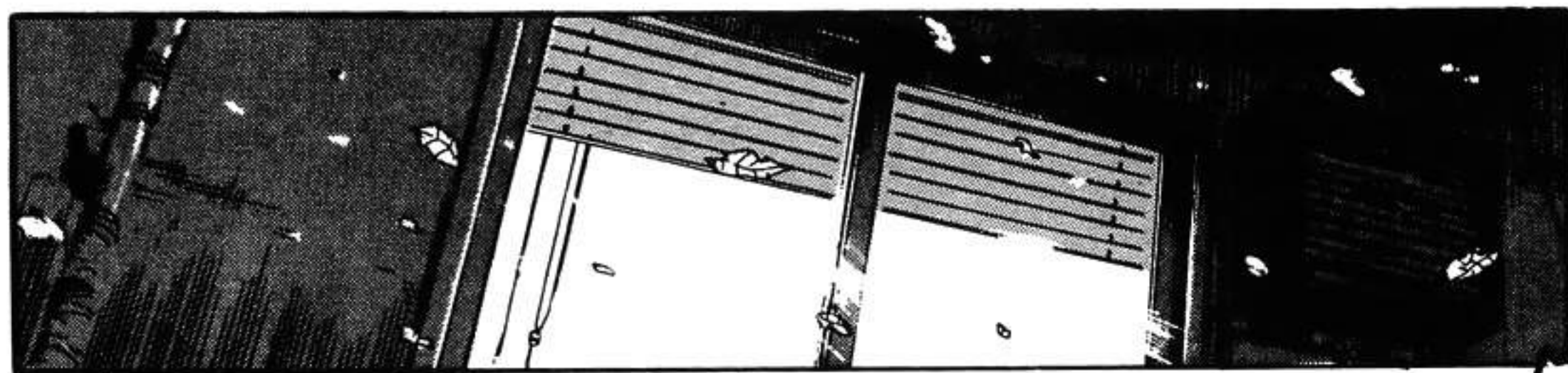
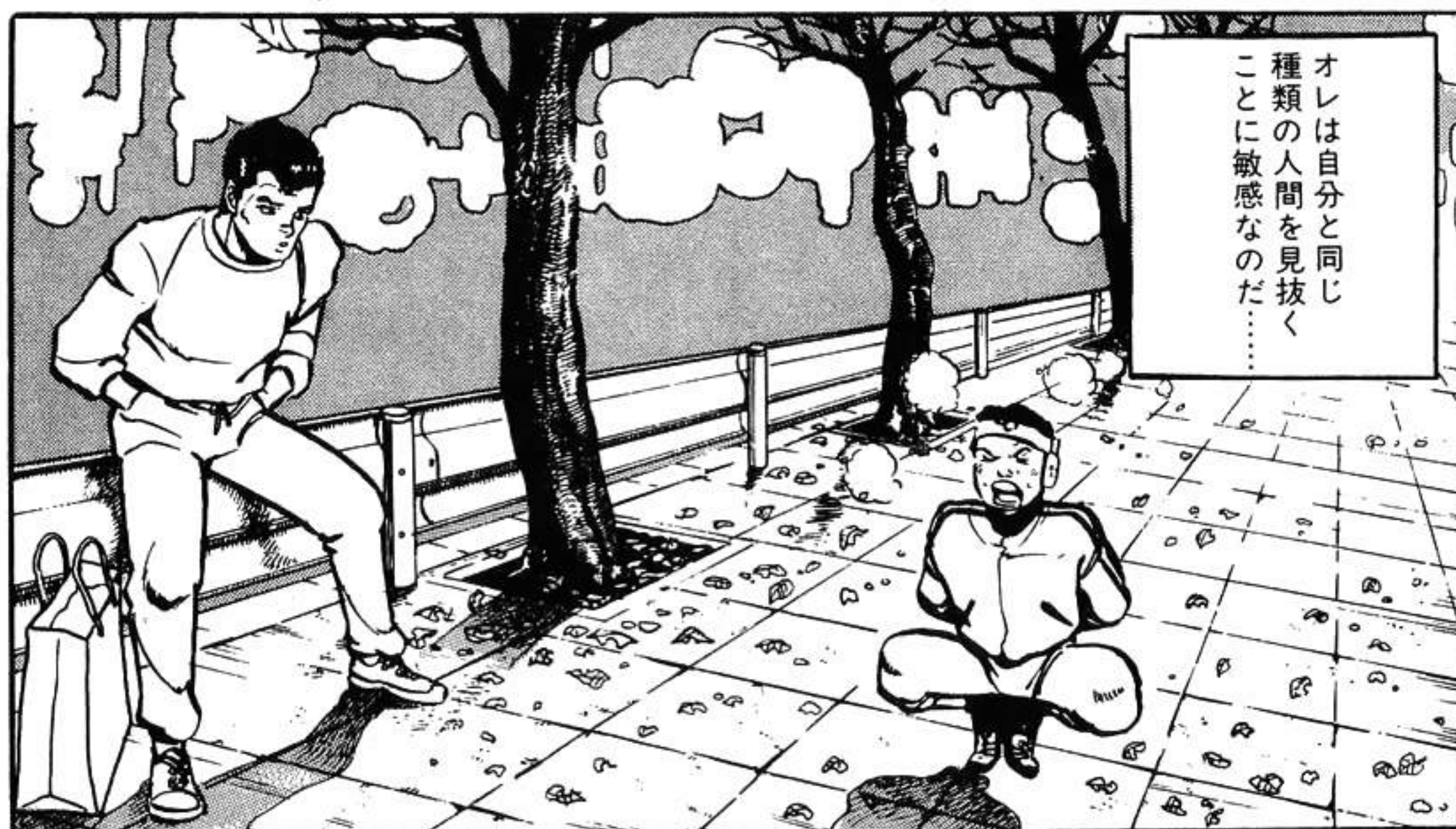


だからこの社会には  
人を決して感動させる  
ことのないほどほどの  
芸人 作者 人格が  
望ましいのだ  
必要なのだ

オレはこのガキに  
期待している

あの眼はいつか必ず  
何かに感動する眼だ  
そして必ず「システム」  
に牙をむくだろう

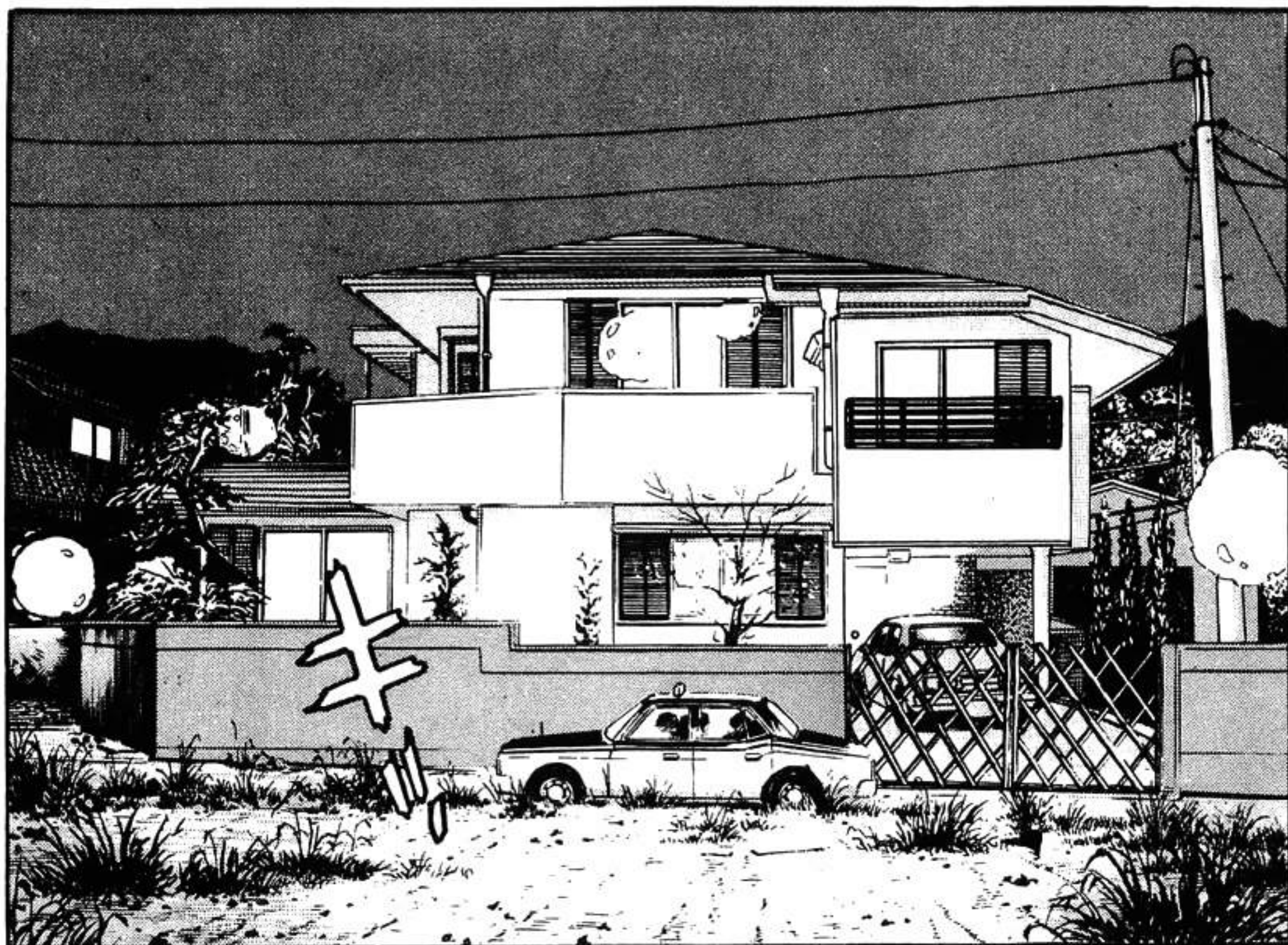






















フ〜ッ  
別に嫉妬とか  
そんなんじゃない  
よ



最近の〇しさんは  
スレツカラシと  
いいますか遊び  
馴れて口の  
軽そうな方たち  
でしょ



もしもこのことが  
上司にでも知れたら  
どーなさるつもり  
なの？



ア…

このヒトなんか  
今の会社に  
しがみついて  
ゆくしか能が  
ありませんもの



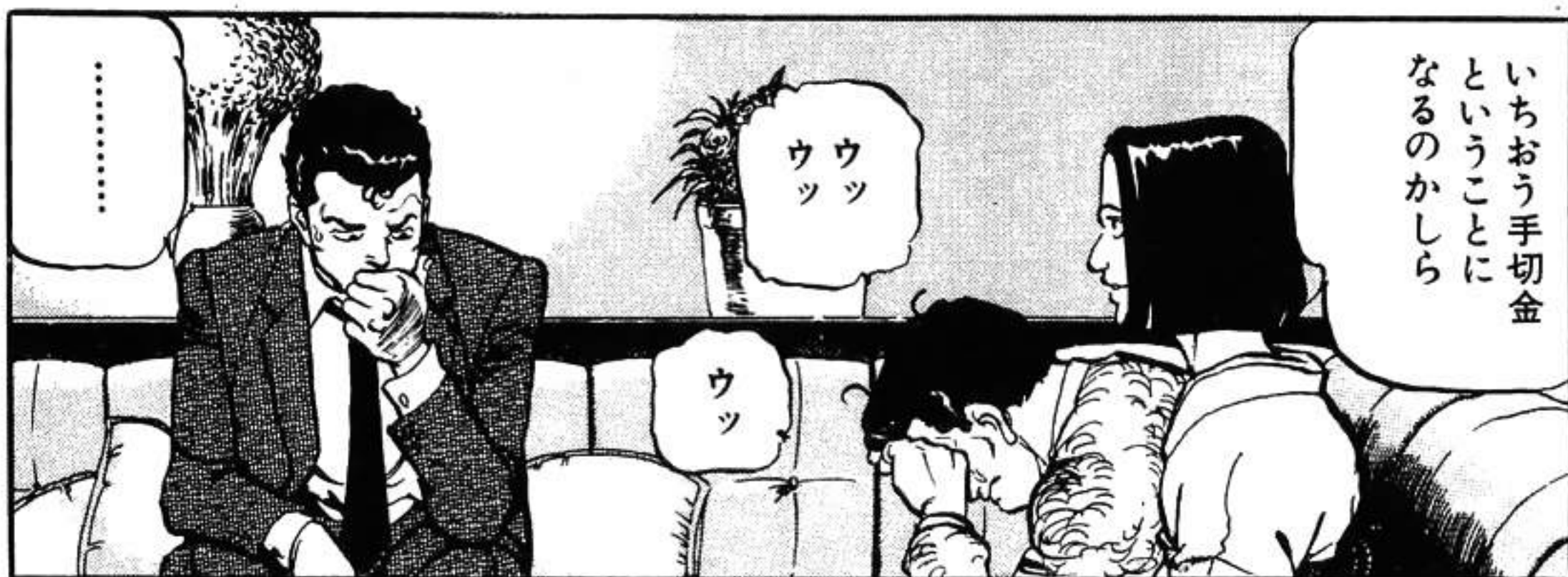
幸いにも一度だけの  
過ちをこのように反省  
しておりますし

善は急げで  
プロの方に  
仲に入っていたいて  
その女との  
別れ話を……と



は…プロ…!?

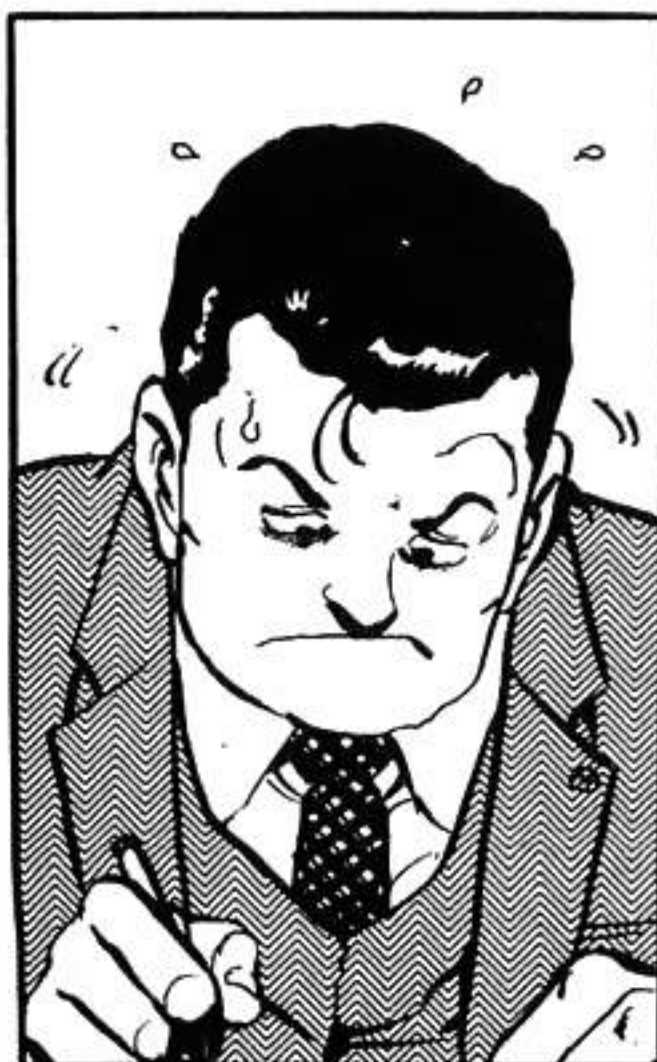








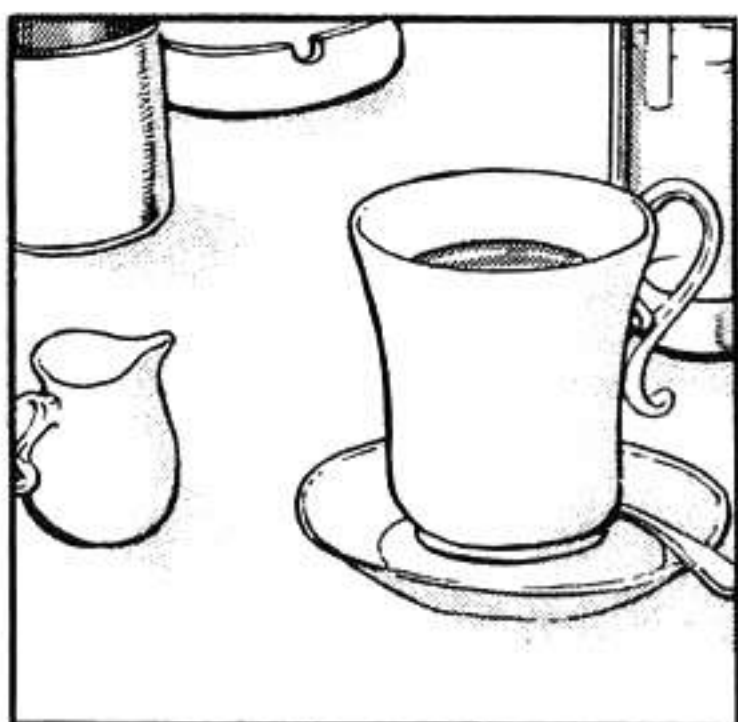
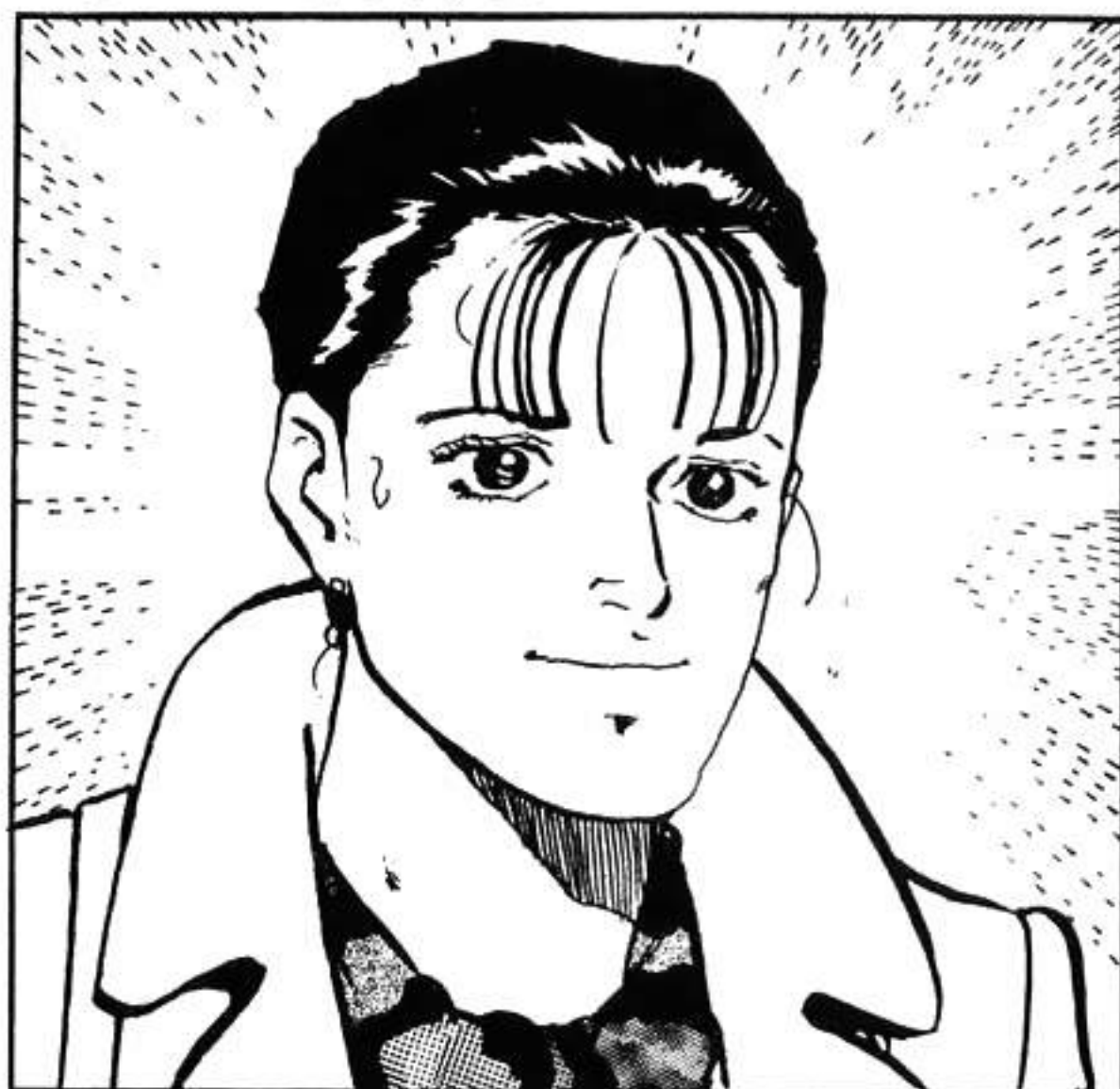






















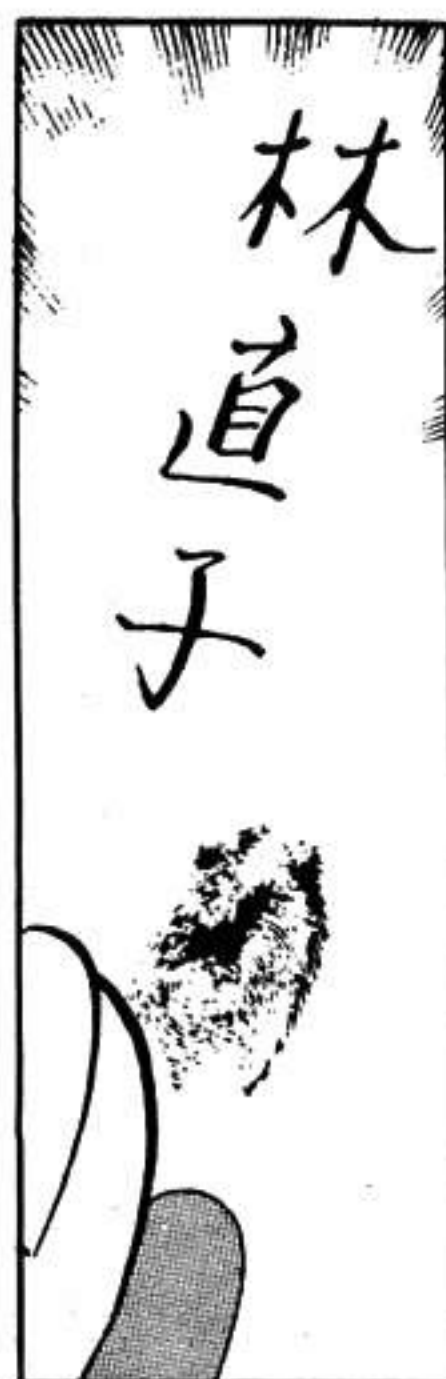








# 100万!!











柔かい肌  
気立てのいい優しい  
性器だった――

あの男は  
家族が寝静まった  
深夜に息を殺して  
裏ビデオを観ながら  
オナニーする姿が  
相応しい



感動すること  
まともに人間と向き合う  
ことを避けてきた者の  
当然の報いのように思える







イメージで欲望を煽りたて  
売り窮しさらに苦肉の商品を  
増殖し続ける……  
ボブ・マレーイは  
その無意味にして  
必然的な悪循環を  
「バビロンシステム」と  
名付けた

この時代を肯定する  
明るい囚人たち

受験戦争の勝者は  
単なる「バビロンシステム」の  
看守にすぎない

「バビロンシステム」の最大の  
敵は「感動」である

感動してしまったら  
人は容易に道を踏み外す







# HARD&

**ACTION COMICS**  
**ハード&ルーズ②**  
1993年6月28日第1刷発行(検印廃止)

著者©……狩撫麻礼✦かわぐちかいじ  
発行者……井上功夫  
発行所……株式会社双葉社  
〒106 東京都新宿区東五軒町3-28  
電話:03-5261-4818(営業)  
03-5261-4851(編集)  
振替:東京8-117299  
装 幀……関善之✦星野ゆきお(VOLARE inc.)  
印刷所……暁印刷株式会社

©FUTABASHA Printed in Japan.  
ISBN4-575-81875-5 C0079

落丁・乱丁の場合は本社にてお取りかえいたします。  
定価はカバーに表示してあります。

# LOOSE